

江の川水系下流支川域  
河川整備計画

【第2回変更】  
(原案)

付属資料

令和4年2月

島根県

赤文字：素案作成時に変更した箇所

青文字：原案作成時に変更した箇所

## 目次

1. 新しい河川整備の計画制度について	1
1.1 河川法改正の流れ	1
1.2 河川整備の理念	1
1.3 河川整備計画の位置付け	2
1.4 江の川水系下流支川域河川管理区間	3
2. 流域の自然環境	7
2.1 地形	7
2.2 地質	8
2.3 気候	10
2.4 自然公園等の指定状況	13
2.5 生物	17
3. 人口及び産業構造	23
3.1 人口・世帯数の推移	23
3.2 産業構造の変遷	27
3.3 交通	29
4. 景観及び観光	30
4.1 景観	30
4.2 観光	31
5. 歴史及び文化	33
5.1 歴史	33
5.2 文化財	34
5.3 伝統芸能	37
6. 土地利用	38
7. 治水の概要	41
7.1 主な水害	41
7.2 治水事業の経緯	47
7.3 被害軽減対策	49
8. 水利用の現状	51
8.1 流況	51
8.2 水利権	53
8.3 漁業権	54
9. 水環境の概要	55
9.1 河川水質	55
9.2 汚水処理施設の整備状況	59
10. 河川空間の利用	61
10.1 景観形成ガイドライン	61
10.2 河川空間の利用状況	63
10.3 官民協働の取り組み	64

# 1. 新しい河川整備の計画制度について

## 1.1 河川法改正の流れ

わが国の河川制度は、明治 29 年に旧河川法が制定されて以来、幾度かの改正を経て現在に至っている。特に昭和 39 年に制定された新河川法では、水系一貫管理制度の導入など、治水、利水の体系的な制度の整備が図られ、今日の河川行政の規範としての役割を担ってきた。

しかしながら、その後の社会情勢の変化等により、近年、河川制度をとりまく状況は大きく変化し、現在では河川は治水、利水を担うだけでなく、うるおいのある水辺空間や生物の生息・生育環境等として捉えられ、また、地域の風土と文化を形成する重要な要素としてその個性を活かした川づくりが求められるようになってきた。

これらに伴い、平成 9 年 6 月に既存の河川法に「環境」に対する項目が追加された河川法の改正（平成 9 年 12 月施行）がなされている。

さらに、近年になり、全国各地で集中豪雨等による水災が多発する一方、水災の発生を防ぐ堤防等の河川管理施設は老朽化が進行しており、良好な状態に保つためには維持管理を図る必要がある状態となってきている。また、クリーンエネルギーの必要性も高まっていることから、水力を活かした再生可能エネルギーの導入促進も求められている。

このような諸課題に対応するため、平成 25 年 6 月に河川管理施設等の老朽化対策、民間による河川環境の保全等の活動促進、従属発電（かんがい用水や水道用水などの既許可の他の水利使用に完全に従属する発電）に係る登録制の導入等に関する河川法の改正（平成 25 年 12 月施行）が行われた。

河川法改正の流れの概要を図 1-1 に示す。

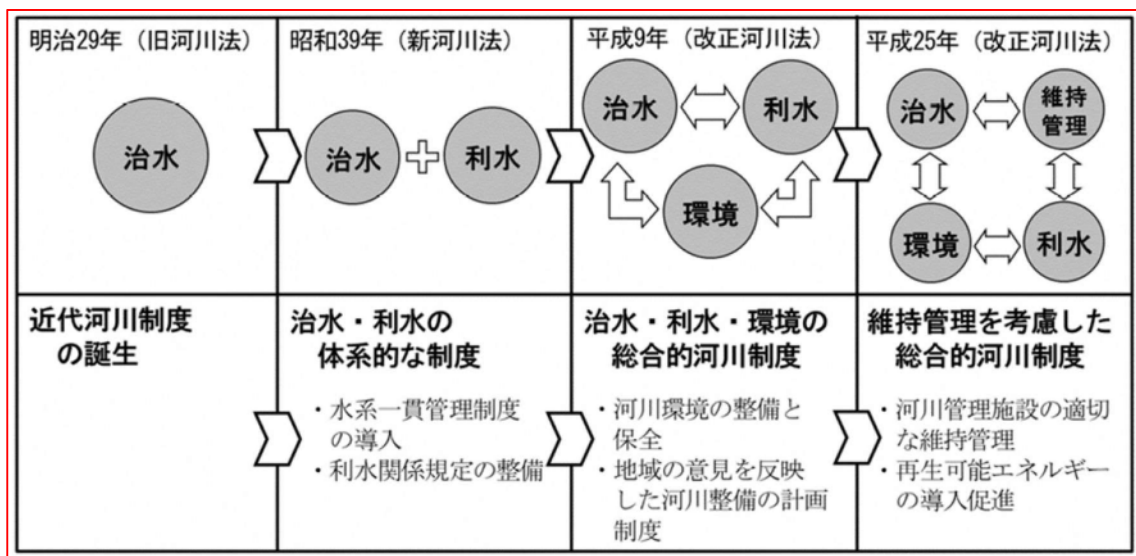


図 1-1 河川法改正の流れ

## 1.2 河川整備の理念

川づくりは、流域の視点に立って人と水との関わりを再構築を図りながら災害に強く、渇水にも安全で平常時を見据えた川づくりを行い、そこに住む人々の地域づくりを支援するものとなる必要がある。また、整備にあたっては自然環境の保全に努め、水と緑の空間を提供する河川環境の創造を図っていく必要もある。そこで「安全で自然豊かなふるさとを目指して」をスローガンに

掲げて治水、利水、環境を総合的に捉えた河川整備を目指し、「住みよいまち」、「住みたいまち」の実現に寄与する川づくりに取り組んでいく。また、地域住民との密接な連携を図りながら河川整備に対するニーズを的確に応え、河川の特性と地域の風土・文化等の実情に応じた河川整備を推進することとする。

### 1.3 河川整備計画の位置付け

河川整備基本方針（河川法第 16 条）は洪水、高潮等による災害を防止する治水計画、濁水の解消に努め安定的な水道用水、かんがい用水等を供給する利水計画及び自然豊かな河川の空間利用と保全を目指した環境計画について、河川整備の基本となるべき方針に関する事項を長期的な計画として定めたものである。江の川水系では、江の川本川を管理する国土交通省が平成 19 年 11 月に「江の川水系河川整備基本方針」を策定している。

また、河川整備計画（河川法第 16 条の 2）の位置付けとしては、河川整備基本方針に沿った上で今後 20～30 年後を目途とした整備内容を定めたものであり、他の関連計画等との整合を図るとともに、具体的「川づくり」の姿を地域に提示しつつ地域の意見を反映しながら策定・推進するものである。

本計画は現時点の課題や河道状況等に基づき策定されたものであり、河道状況や社会環境の変化等に応じ適宜見直しを行うものとする。

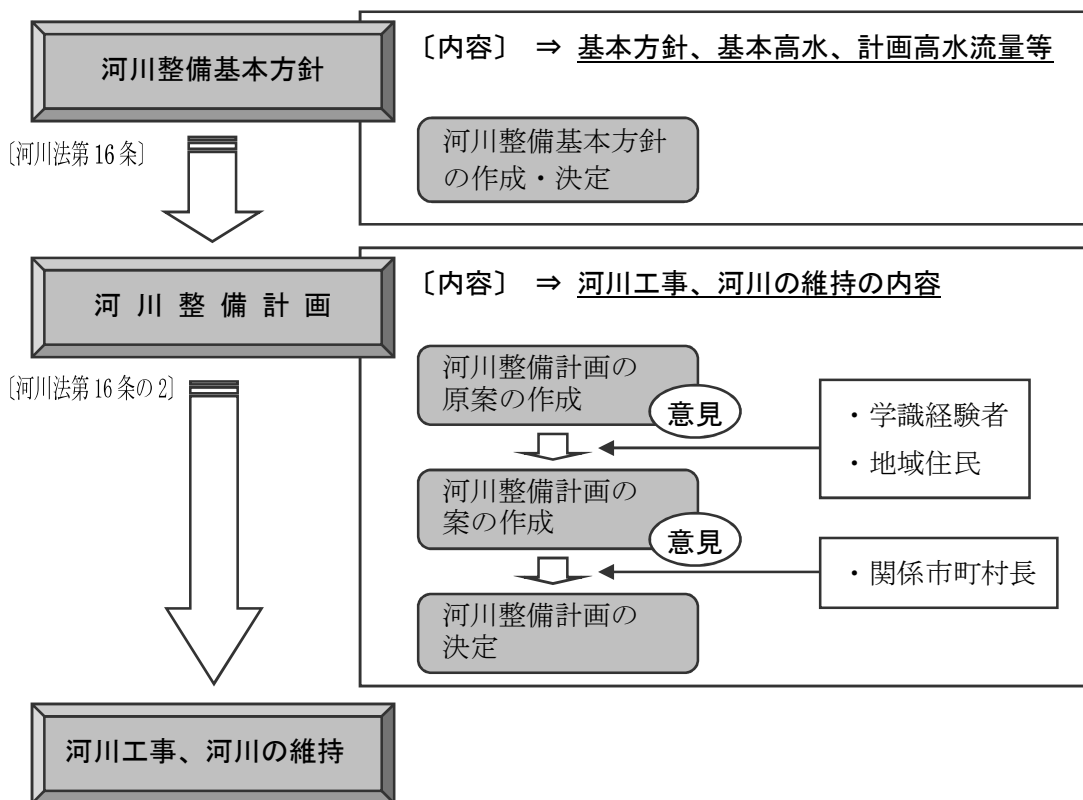


図 1-2 河川整備基本方針～整備計画～工事实施までの流れ

## 1.4 江の川水系下流支川域河川管理区間

江の川水系下流支川域の県の河川管理区間を表 1-1 に示す。

表 1-1 対象区間一覧【1/3】

河川名	河川延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	対象区間	
			上流端（上段：左岸、下段：右岸）	下流端
ほんまちがわ 本町川	0.70	0.6	江津市江津町 244 番の 2 地先 江津市江津町 266 番地先	江の川への 合流点
おおたがわ 太田川	1.00	2.4	江津市松川町太田 587 番の 2 地先 江津市松川町太田 110 番の 3 地先	江の川への 合流点
つちがわ 都治川	15.20	49.4	大田市温泉津町井田 325 番の 2 地先のさかい橋 大田市温泉津町井田 325 番の 2 地先のさかい橋	江の川への 合流点
きたがわ 北川	1.71	5.3	江津市波積町北 201 番地先 江津市波積町北 182 番地先	都治川への 合流点
なかしょうじがわ 中正路川	0.90	1.7	大田市温泉津町井田大字井田 671 番の 2 地先 大田市温泉津町井田大字井田 798 番の 1 地先	都治川への 合流点
おくだにがわ 奥谷川	1.96	14.5	田原川の合流点 田原川の合流点	江の川への 合流点
かみつ いがわ 上津井川	3.75	9.3	江津市松川町上津井 444 番地先 江津市松川町上津井 445 番地先	江の川への 合流点
ながらがわ 長良川	1.20	3.6	江津市松川町上津井 715 番地先 江津市松川町上津井 730 番地先	江の川への 合流点
ようろ だにがわ 養路谷川	0.60	1.8	江津市桜江町谷住郷 3113 番地先の養路谷石積堰堤 江津市桜江町谷住郷 3113 番地先の養路谷石積堰堤	江の川への 合流点
こたにがわ 小谷川	5.30	10.9	福田川の合流点 福田川の合流点	江の川への 合流点
なが とう がわ 長戸路川	5.60	11.4	江津市桜江町谷住郷 286 番地先 江津市桜江町谷住郷 293 番地先	小谷川への 合流点
こたにがわほうすい 小谷川放水路	1.00	0.0	小谷川からの分派点 小谷川からの分派点	江の川への 合流点
えのきだにがわ 榎谷川	1.30	1.3	清水川の合流点 清水川の合流点	江の川への 合流点
ひさいだにがわ 久井谷川	0.90	2.1	坂辻川の合流点 坂辻川の合流点	江の川への 合流点
た ず たにがわ 田津谷川	0.98	9.4	日和川の合流点 日和川の合流点	江の川への 合流点
わたりがわ 渡川	1.60	1.3	江津市桜江町川越 996 番の 2 地先 江津市桜江町川越 996 番の 2 地先	江の川への 合流点
さかもとがわ 坂本川	2.00	5.8	江津市桜江町坂本 3835 番地先の坂本頭首工 江津市桜江町坂本 3835 番地先の坂本頭首工	江の川への 合流点
しか が たにがわ 鹿賀谷川	1.50	6.4	江津市桜江町鹿賀 757 番地先の観音滝下流端 江津市桜江町鹿賀 757 番地先の観音滝下流端	江の川への 合流点
にごりがわ 濁川	14.20	45.3	邑南町矢上 2133 番地先 邑南町矢上 2497 番の 1 地先	江の川への 合流点
い ぼらがわ 井原川	9.88	15.7	邑南町鱒淵 3374 番の 5 地先 邑南町鱒淵 3374 番の 5 地先	濁川への 合流点
ま の ぼらがわ 馬野原川	2.70	7.5	邑南町鱒淵 1717 番の 2 地先 邑南町鱒淵 1723 番の 3 地先	井原川への 合流点
ゆるぎがわ 緩木川	2.50	3.5	邑南町鱒淵 2075 番の 8 地先 邑南町鱒淵 1672 番の 1 地先	馬野原川へ の合流点

表 1-1 対象区間一覧【2/3】

河川名	河川延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	対象区間	
			上流端 (上段：左岸、下段：右岸)	下流端
しんやまがわ 新山川	4.10	5.8	邑南町鱒淵 3535 番の 47 地先の中野屋橋	井原川への 合流点
			邑南町鱒淵 3535 番の 47 地先の中野屋橋	
かやぼがわ 茅場川	1.80	3.5	邑南町中野 3070 番の 1 地先	濁川への 合流点
			邑南町中野 3505 番の 4 地先	
もりざわがわ 森実川	2.20	3.7	邑南町中野 244 番地先	濁川への 合流点
			邑南町中野 640 番地先	
おおはただにがわ 大畑谷川	2.30	3.5	邑南町矢上 5323 番地先	濁川への 合流点
			邑南町矢上 8110 番地先	
りきさわだにがわ 力沢谷川	2.50	2.4	邑南町矢上 7604 番地先	大畑谷川へ の合流点
			邑南町矢上 7765 番地先	
ゆずのきだにがわ 柚ノ木谷川	1.10	2.2	邑南町矢上 1164 番の 1 地先	濁川への 合流点
			邑南町矢上 1173 番地先	
きたにがわ 木谷川	6.50	17.0	川本町田窪 289 番の 1 地先の三原滝橋	江の川への 合流点
			川本町田窪 289 番の 1 地先の三原滝橋	
ひなたがわ 日向川	1.20	2.5	川本町川本 918 番地先	江の川への 合流点
			川本町川本 918 番地先	
たまくりがわ 玉繰川	2.20	3.3	川本町川下 3017 番地先	江の川への 合流点
			川本町川下 3017 番地先	
やだにがわ 矢谷川	6.30	17.7	坂根川の合流点	江の川への 合流点
			坂根川の合流点	
みにがわ 三谷川	9.00	36.2	八代川の合流点	江の川への 合流点
			八代川の合流点	
おくみまたがわ 奥三俣川	1.00	8.2	川本町三俣 485 番地先	三谷川への 合流点
			川本町三俣 485 番地先	
はしだにがわ 林谷川	0.18	1.2	川本町川本 553 番の 7 地先	江の川への 合流点
			川本町川本 557 番の 5 地先	
そじきがわ 祖式川	14.25	23.0	大田市祖式町 192 番の 1 地先	江の川への 合流点
			大田市祖式町 191 番の 2 地先	
まのほらがわ 馬野原川	3.00	3.5	川本町馬野原 193 番の 1 地先	祖式川への 合流点
			川本町馬野原 193 番の 1 地先	
きまたにがわ 君谷川	9.20	23.0	美郷町内田 434 番地先	江の川への 合流点
			美郷町内田 434 番地先	
こうきだにがわ 河木谷川	1.40	4.1	美郷町乙原 1713 番 6 地先	江の川への 合流点
			美郷町乙原 493 番 1 地先	
こうきだにがわほうすいる 河木谷川放水路	0.76	3.8	河木谷川からの分流域	江の川への 合流点
			河木谷川からの分流域	
ひうちだにがわ 火打谷川	2.90	6.5	美郷町築瀬 440 番地先	江の川への 合流点
			美郷町築瀬 440 番地先	
しりなしがわ 尻無川	7.58	41.9	美郷町小松地 52 番の 2 地先	江の川への 合流点
			美郷町小松地 52 番の 2 地先	
はやみがわ 早水川	6.98	20.1	大田市三瓶町志学 3 番の 1 地先の泉屋橋	江の川への 合流点
			大田市三瓶町志学 3 番の 1 地先の泉屋橋	
くぼがわ 久保川	3.50	4.3	美郷町久保 881 番地先	早水川への 合流点
			美郷町久保 881 番地先	
しぶたにがわ 渋谷川	2.70	3.3	美郷町久保 857 番の 2 地先	江の川への 合流点
			美郷町久保 857 番の 2 地先	
みなみだにがわ 南谷川	0.10	0.9	美郷町浜原 137 番地先	江の川への 合流点
			美郷町浜原 400 番 6 地先	

表 1-1 対象区間一覧【3/3】

河川名	河川 延長 (km)	流域 面積 (km <sup>2</sup> )	対象区間	
			上流端（上段：左岸、下段：右岸）	下流端
さわたにがわ 沢谷川	8.59	32.1	美郷町酒谷 496 番地先	江の川への 合流点
			美郷町酒谷 496 番地先	
ちはらがわ 千原川	2.60	16.4	美郷町千原 1813 番の 2 地先	沢谷川への 合流点
			美郷町千原 1083 番の 1 地先	
みたんだにがわ 三反谷川	2.00	1.5	美郷町九日市 1002 番地先	沢谷川への 合流点
			美郷町九日市 1002 番地先	
ふたごうがわ 二多合川	2.65	6.4	美郷町潮村 427 番の 1 地先	江の川への 合流点
			美郷町潮村 426 番地先	
ひびらがわ 日平川	2.30	5.1	美郷町都賀行 191 番の 3 地先の芝山林道八号橋	江の川への 合流点
			美郷町都賀行 191 番の 3 地先の芝山林道八号橋	
いのだにがわ 猪谷川	7.50	14.0	美郷町都賀行 218 番地先の永久橋	江の川への 合流点
			美郷町都賀行 218 番地先の永久橋	
やまねがわ 山根川	0.60	2.8	美郷町都賀行 399 番地先	猪谷川への 合流点
			美郷町都賀行 393 番地先	
たかなしがわ 高梨川	2.00	2.3	美郷町都賀行 1020 番の 6 地先	江の川への 合流点
			美郷町都賀行 610 番地先	
ひびきだにがわ 響谷川	3.00	8.7	美郷町長藤 936 番の内第 1 地先	江の川への 合流点
			美郷町長藤 935 番の 1 地先	
しおだにがわ 塩谷川	7.70	27.6	飯南町塩谷 227 番地先の長迫橋	江の川への 合流点
			飯南町塩谷字井手下 227 番地先の長迫橋	
しんぞうじがわ 新造路川	2.20	5.9	美郷町上野 974 番の 1 地先	江の川への 合流点
			美郷町上野 970 番地先	
つのだにがわ 角谷川	10.86	19.3	邑南町八色石 892 番の 1 地先	江の川への 合流点
			邑南町八色石 900 番地先	
みやうちがわ 宮内川	1.20	9.0	美郷町宮内 578 番地先	角谷川への 合流点
			美郷町宮内 579 番の 2 地先	
ちょうげんじがわ 長源寺川	1.70	4.3	邑南町布施 309 番地先	角谷川への 合流点
			邑南町布施 354 番地先	
てんぼがわ 天羽川	0.50	1.7	邑南町八色石 177 番地先	角谷川への 合流点
			邑南町八色石 111 番地先	
うしろだにがわ 後谷川	0.80	1.4	邑南町宇都井 962 番地先	江の川への 合流点
			邑南町宇都井 963 番地先	
うづいだにがわ 宇都井谷川	1.30	7.4	邑南町伏谷 1422 番の 2 地先の折渡橋	江の川への 合流点
			邑南町伏谷 1422 番の 2 地先の折渡橋	
かないだにがわ 金井谷川	3.80	7.4	邑南町宇都井 1098 番の 2 地先	宇津井谷川 への合流点
			邑南町宇都井 474 番地先	
うしろやまがわ 後山川	1.80	2.5	邑南町宇都井 36 番地先	江の川への 合流点
			邑南町宇都井 741 番地先	
ほそがわ 細貝川	1.00	2.5	邑南町阿須那 814 番地先	後山川への 合流点
			邑南町上口羽 1168 番地先	
ながせがわ 長瀬川	7.40	15.8	邑南町久喜 111 番地先	江の川への 合流点
			邑南町久喜 108 番地先	
くろせがわ 黒瀬川	1.00	3.5	邑南町大林 205 番地先	長瀬川への 合流点
			邑南町大林 205 番の 1 地先	
合計	241.73			

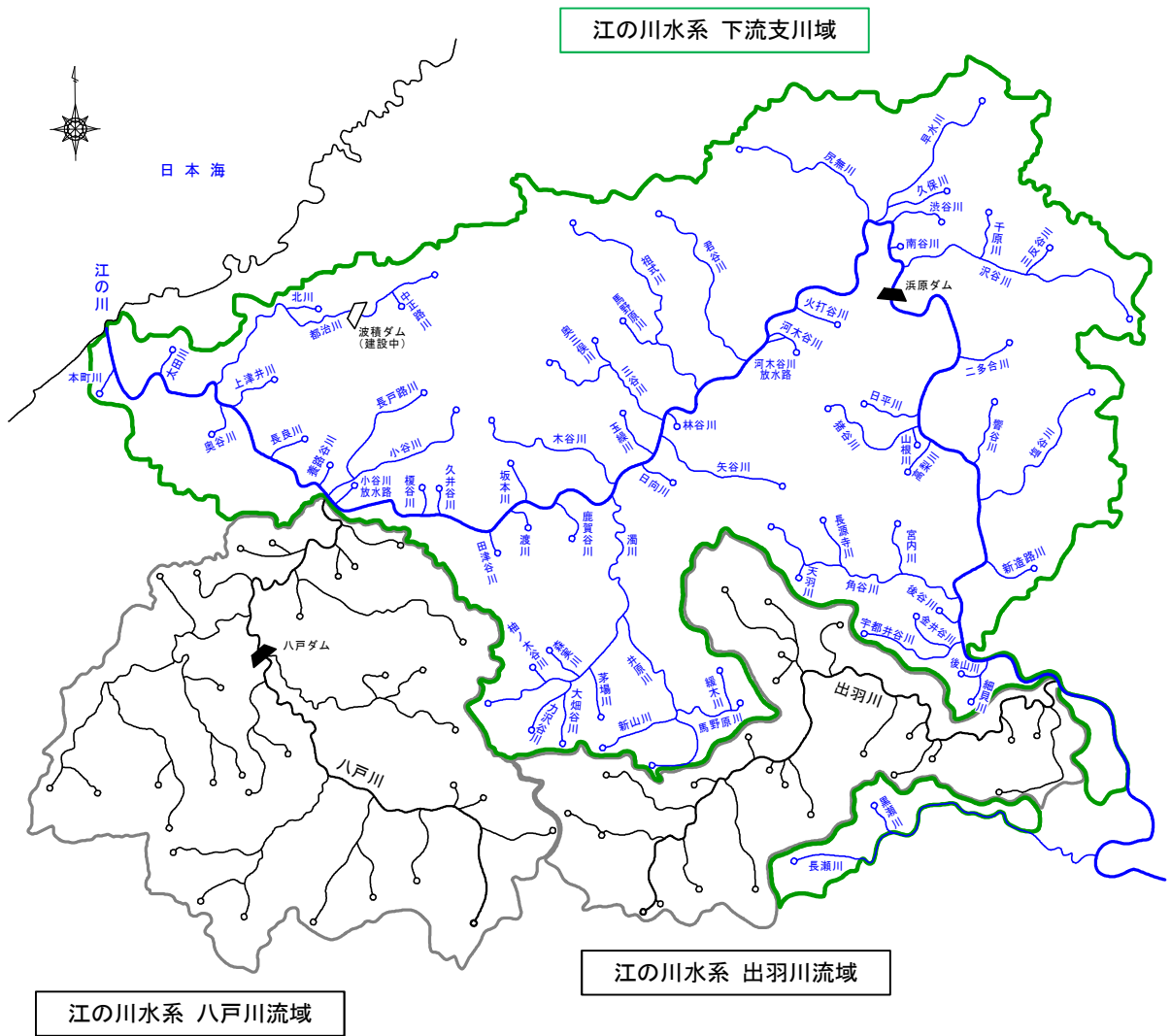


図 1-3 対象区間位置図



## 2. 流域の自然環境

### 2.1 地形

江の川水系下流支川域は中国山地の北側にあたり、東側は三瓶山(標高 1,126m)、南側は阿佐山(標高 1,218m)に画された範囲にあり、標高 50~400m 程度の準平原が広く分布している。こうした平原状の地形は谷底平野を末端に伴いながら周辺の山地に深く湾入し、この比較的単調な地形を穿って先行性河川である江の川が日本海に流入している。

江の川沿岸は河川の浸食作用により河岸部が急傾斜で落ち込み、斜面には比較的自然的状態を保った形で植生が現存しており、江の川特有の河川景観を形成している。

下流支川域を流れる支川は江の川に急流で落ち込み、また地質は流紋岩類や花崗岩であり岩質が堅いことから浸食を受けにくく、断魚溪、蟠龍峡、大槇谷峡谷、観音滝、岩瀧寺の滝等、各所で溪谷美を作り出している。

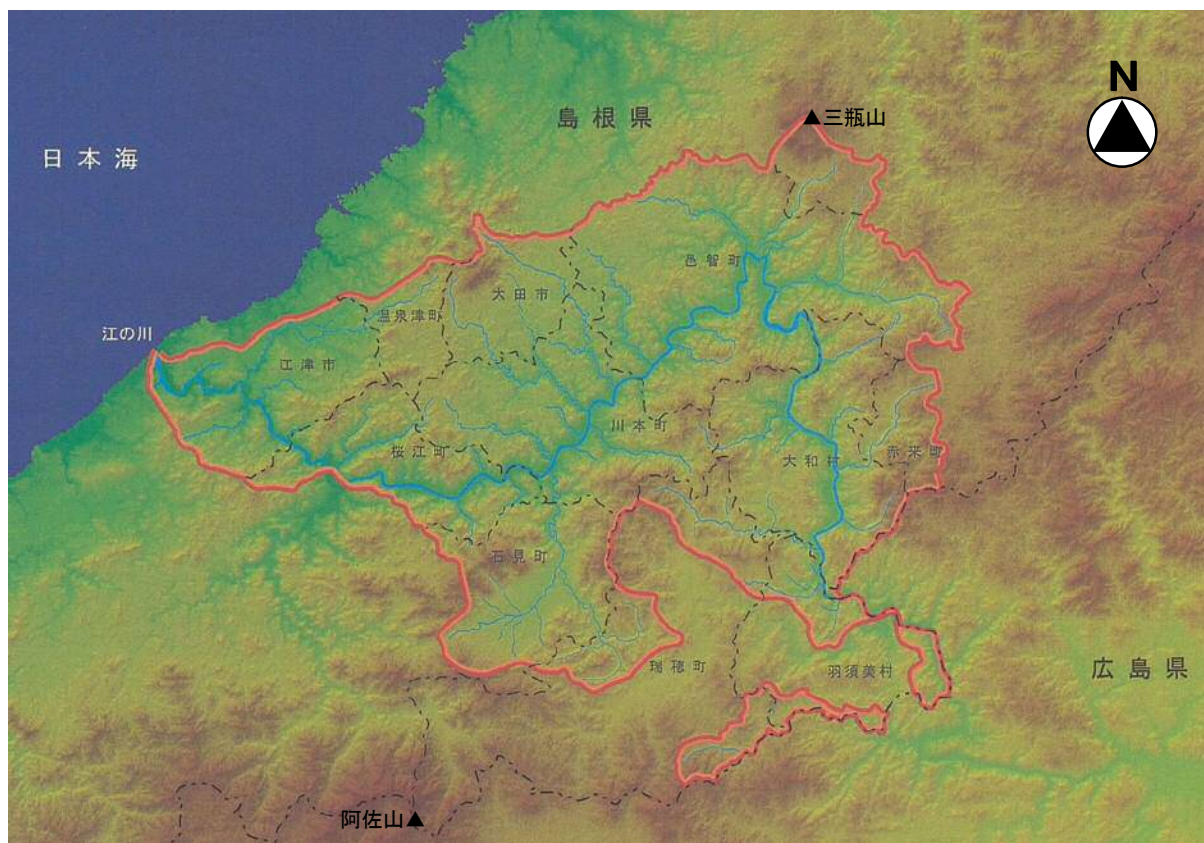


図 2-1 江の川水系下流支川域地形図

出典：数値地図 50m メッシュ(標高) (国土地理院、平成 11 年 11 月)

## 2.2 地質

地質は、北西部の本川下流部に古生代の三郡変成岩が分布し、流域南部には中生代白亜紀の溶結性凝灰岩質岩石（高田流紋岩相当層）が広大な面積を占め、その岩質から比較的急峻な地形が広く展開している。このような火山性岩石に、<sup>おおなんちょう</sup> 邑南町付近の本川沿いに花崗岩類が、後期白亜紀から古第三紀にかけて北東－南西方向に分布している。北部の海岸に広がる温泉津丘陵には洪積世の都野津礫層が小規模に分布している。

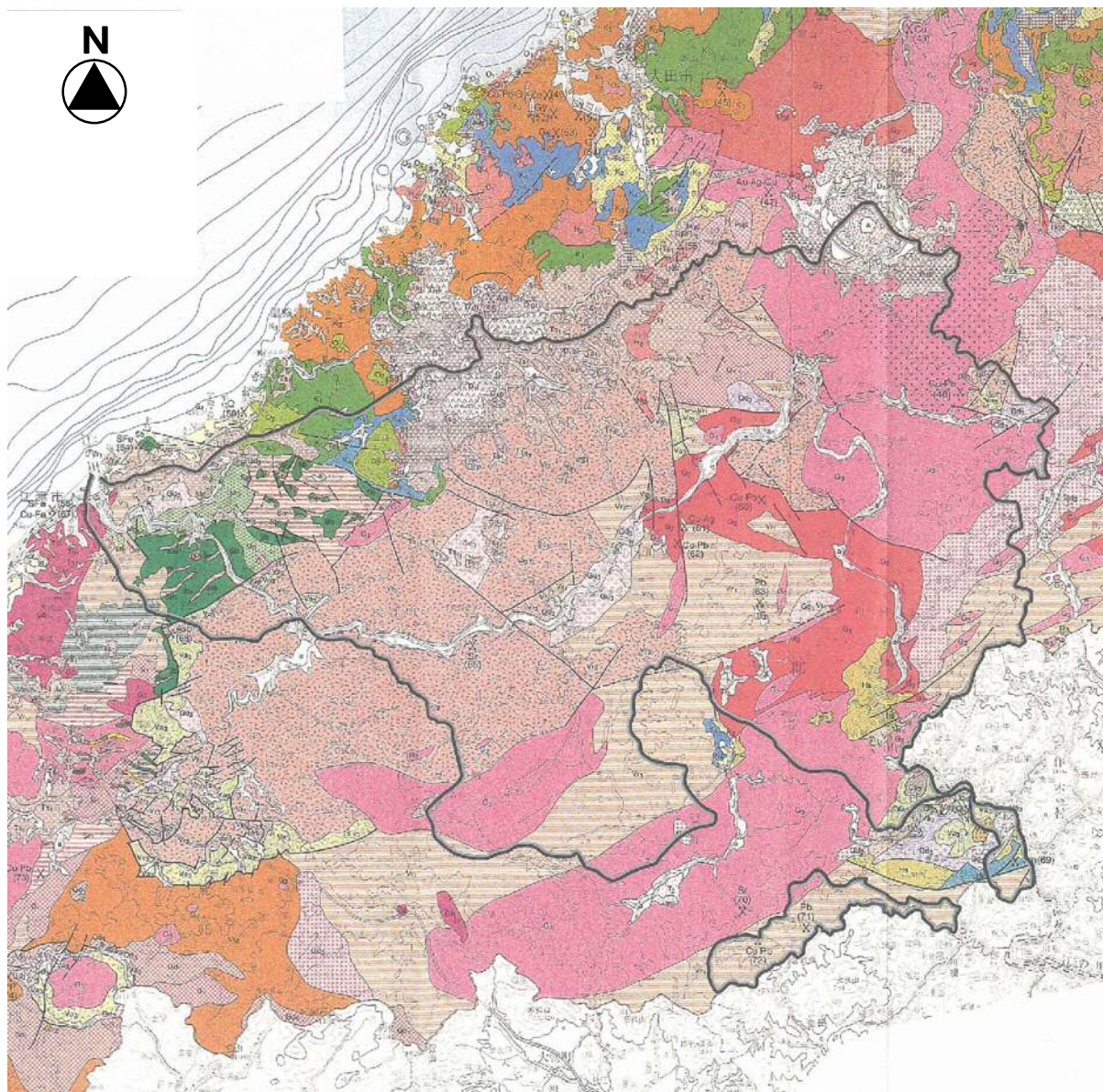


図 2-2 江の川水系下流支川域地質図

出典：新編 島根県地質図（1997、島根県地質図編集委員会）

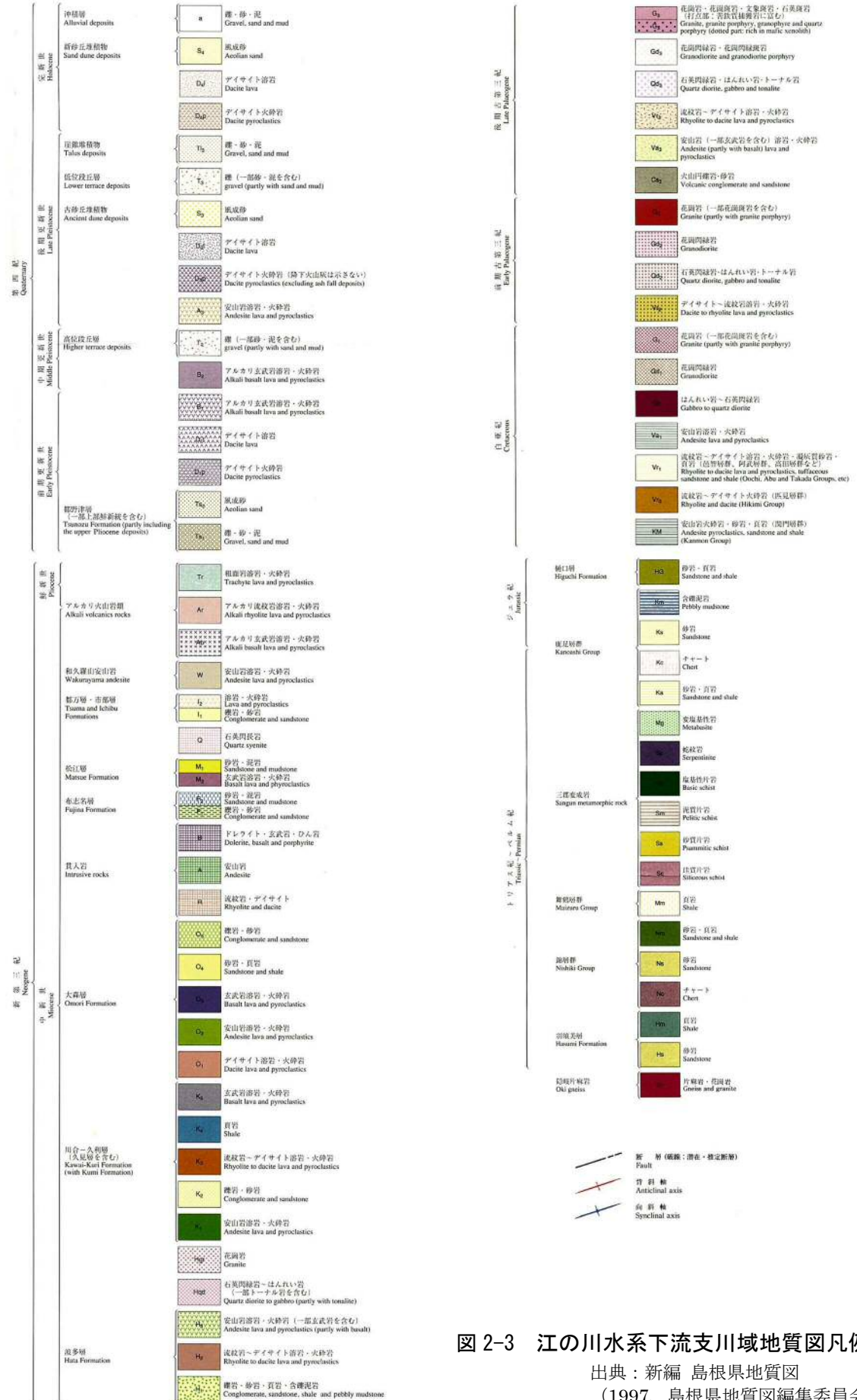


図 2-3 江の川水系下流支川域地質図凡例  
 出典：新編 島根県地質図  
 (1997、島根県地質図編集委員会)

## 2.3 気 候

年値をみると、年間降水量は北部平野部で1,773mm (大田)、1,632mm (福光) に対して、中国山地背梁部では1,924mm (川本)、1,954mm (桜江)、1,885mm (瑞穂)、2,045mm (赤名) となっており、山地部の降水量が多い。月別降水量も中国山地背梁部の方が北部平野部より多い傾向があり、どの地区も7月の降水量が年間で一番多くなっている。

年値の平均気温は、大田で15.3℃、川本13.8℃、瑞穂12.1℃、赤名11.7℃と内陸部になるほど低くなり、瑞穂や赤名では1月の平均気温が0℃近くになっている。

表 2-1 降水量と気温【1/2】

年次	大田地域気象観測所						川本地域気象観測所						瑞穂地域気象観測所					
	降水量(mm)			気温(℃)			降水量(mm)			気温(℃)			降水量(mm)			気温(℃)		
	合計	最大日雨量	最大時間雨量	平均	最高	最低	合計	最大日雨量	最大時間雨量	平均	最高	最低	合計	最大日雨量	最大時間雨量	平均	最高	最低
昭和51年	1,878	73	36	—	—	—	1,796	59	27	—	—	—	1,188	81	25	—	—	—
昭和52年	1,535	134	57	—	—	—	1,464	91	45	—	—	—	1,108	60	37	—	—	—
昭和53年	1,488	91	36	8.3	19.5	0.7	1,283	101	52	5.8	18.1	-2.5	1,092	138	60	3.8	16.0	-5.3
昭和54年	1,615	128	30	15.2	34.7	-1.6	1460	95	20	12.4	33.2	-4.0	1,800	112	23	12.1	32.8	-7.5
昭和55年	2,144	124	33	13.8	33.3	-3.6	2,184	99	27	12.4	30.9	-5.6	2,177	88	29	11.0	30.0	-11.5
昭和56年	1,782	87	32	14.2	35.5	-7.5	1,969	113	39	12.5	33.3	-10.1	1,833	91	29	11.0	31.9	-16.3
昭和57年	1,440	55	19	14.5	34.1	-3.1	1,649	78	21	12.9	31.7	-4.7	1,753	107	23	11.6	31.0	-10.2
昭和58年	1,851	128	27	14.7	35.2	-2.2	2,408	241	56	13.2	33.9	-4.7	2,326	252	45	11.8	34.0	-10.7
昭和59年	1,292	144	27	14.3	36.5	-4.1	1,209	104	15	12.8	35.5	-6.7	1,415	70	38	11.1	33.8	-12.2
昭和60年	1816	97	49	14.8	35.7	-3.2	2,113	136	52	13.5	35.7	-5.5	2,147	139	29	11.9	33.9	-11.0
昭和61年	1,790	144	28	13.9	33.6	-4.1	1,689	100	35	12.6	34.7	-6.0	1,687	67	27	11.1	32.9	-10.9
昭和62年	1,751	70	26	14.8	33.5	-2.1	1,743	85	47	13.5	33.1	-4.0	1,919	99	29	11.9	31.9	-7.5
昭和63年	1,778	121	62	14.4	32.7	-2.6	1,640	138	46	12.7	33.5	-4.3	1,845	136	28	11.3	31.9	-8.1
平成元年	2,041	115	27	15.1	35.5	-1.2	2,091	118	28	13.4	33.2	-3.7	2,085	99	35	12.1	31.1	-7.4
平成2年	1,763	70	16	15.9	37.1	-3.9	2,058	77	44	14.0	34.7	-5.8	2,090	91	33	12.7	33.5	-9.5
平成3年	2,022	115	25	15.3	36.0	-4.5	1,939	94	30	14	34.3	-6.4	1,815	74	27	12.1	33.0	-13.6
平成4年	1,534	51	23	15.4	35.4	-0.7	1,611	61	23	13.4	34.4	-4.0	1,586	94	35	11.9	34.2	-7.0
平成5年	2,282	157	31	14.4	33.0	-1.5	2,300	105	27	12.8	32.2	-3.9	2,463	148	28	11.4	31.6	-7.7
平成6年	1,260	61	26	15.7	37.9	-1.9	1,324	67	56	14.0	36.9	-4.3	1,273	53	30	12.5	36.5	-9.3
平成7年	1,719	110	28	14.6	36.5	-1.7	1,739	99	35	12.8	35.2	-4.5	1,864	103	42	12.2	33.9	-11.3
平成8年	1,537	117	27	14.6	35.4	-3.9	1,618	93	29	12.8	34.9	-5.8	1,689	70	45	11.2	34.4	-11.8
平成9年	2,140	108	36	15.1	34.6	-3.4	2,452	121	35	13.3	33.0	-5.7	2,438	151	45	11.8	32.7	-11.1
平成10年	1,743	102	44	16.1	34.5	-3.6	1,858	107	38	14.6	33.3	-5.4	1,851	107	27	13.1	32.9	-9.1
平成11年	1,671	117	36	15.5	36.0	-2.5	1,847	169	38	13.8	33.9	-5.2	1,759	169	42	12.2	31.6	-8.2
平成12年	1,561	161	39	15.4	35.4	-1.9	1,727	163	38	13.7	35.0	-3.7	1,758	93	53	12.2	34.2	-10.0
平成13年	1,923	150	46	15.2	36.1	-4.4	1,907	117	25	13.5	35.2	-5.5	2,000	119	29	12.0	36.3	-9.1
平成14年	1,439	48	19	15.6	36.1	-1.9	1,669	69	29	13.9	34.8	-3.9	1,562	55	19	12.3	33.9	-6.7
平成15年	2,248	97	55	15.1	34.9	-5.8	2,434	103	33	13.5	33.4	-6.7	2,275	97	27	12.0	33.5	-10.6
平成16年	1,949	134	47	16.0	35.7	-5.0	2,122	103	30	14.2	34.1	-6.9	2,113	112	24	12.8	34.8	-10.1
平成17年	1,378	137	77	15.2	35.0	-4.5	1,608	68	29	13.4	34.8	-5.6	1,723	91	31	11.9	33.9	-7.7
平成18年	1,876	173	47	15.3	35.9	-2.6	2,234	170	42	13.7	35.0	-4.1	2,188	92	62	12.1	35.3	-11.0
平成19年	1,671	74	46	15.9	36.2	-1.0	1,613	85	35	14.2	34.4	-3.5	1,456	67	33	12.6	34.8	-6.0
平成20年	1,563	49	41	15.3	35.8	-1.5	1,775	73	34	13.7	36.5	-3.7	1,855	68	41	12.0	34.3	-8.1
平成21年	1905.5	173.5	39.5	14.9	33.3	-1.8	1,992	143	40	13.7	34.1	-3.3	1,743	75	37	12.1	33.1	-9.2
平成22年	1,671	57	35	15.4	37.5	-2.3	1,925	63	35	14.2	37.2	-5.1	1,810	91	33	12.4	35.0	-7.8
平成23年	1,858	158	23	15.0	35.2	-3.9	2,023	162	28	13.8	36.2	-5.1	2,067	95	46	11.8	34.2	-11.3
平成24年	1,434	90	52	14.9	37.4	-3.3	1849.5	103	46	13.6	36.8	-9.1	1,766	76	41	11.6	34.1	-15.2
平成25年	2,102	169	65	15.3	36.0	-3.1	2,388	201	51	14.1	36.3	-4.1	2,333	206	52	11.3	34.9	-7.3
平成26年	1,706	49	34	14.9	36.8	-2.4	1,854	61	43	13.5	36.6	-3.7	1,657	60	21	11.6	34.9	-7.6
平成27年	1,860	77	30	15.2	34.8	-2.3	1,801	86	25	14.1	37.4	-3.4	1,698	88	38	12.2	35.6	-8.4
平成28年	1,969	94	24	15.9	36.3	-5.4	2,234	96	59	14.7	36.2	-6.7	1,968	75	41	12.8	35.9	-9.0
平成29年	1,678	87	44	15.3	38.4	-2.2	2,039	121	38	13.7	37.3	-4.8	2,085	135	43	11.9	34.5	-7.6
平成30年	1,900	96	34	15.6	38.2	-4.6	2,259	137	52	14.1	37.2	-7.3	2,161	135	29	12.4	36.4	-14.7
令和元年	1329	65	27	15.8	37.2	-1.2	1,524	95	32	14.3	37.5	-3.3	1,647	128	43	12.6	34.9	-5.9
令和2年	1944	151	30	15.8	37.6	-1.3	1,985	133	29	14.3	36.9	-2.5	1,951	108	29	12.6	36.1	-5.1
年値 (H3～R2)	1,772.8			15.3			1,924.1			13.8			1,885.0			12.1		

注1) 値]は欠測あり。下線は観測場所の移転や観測装置の変更等により、その前後のデータが均質でないことを示す。

注2) 年値は平成3(1991)年～令和2(2020)年の30年間の平均。

出典：気象庁 HP

表 2-1 降水量と気温【2/2】

年次	赤名地域気象観測所						福光地域気象観測所			桜江地域気象観測所		
	降水量(mm)			気温(℃)			降水量(mm)			降水量(mm)		
	合計	最大日雨量	最大時間雨量	平均	最高	最低	合計	最大日雨量	最大時間雨量	合計	最大日雨量	最大時間雨量
昭和51年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,188 ]	64 ]	30 ]
昭和52年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,057 ]	97 ]	45 ]
昭和53年	69 ]	13 ]	4 ]	4.1 ]	14.7 ]	-4.8 ]	53 ]	22 ]	7 ]	1,348 ]	119 ]	54 ]
昭和54年	1,731	89	28	11.9	31.6 ]	-7.3	1,413	71	23	1,836	130	28
昭和55年	2,303	88	29	10.5 ]	29.5	-10.4	1,842	73	20	2,286	99	27
昭和56年	1,964	109	32	10.5	31.3	-14.0	1,540	97	31	2,028	108	31
昭和57年	1,650	73	38	11.1	29.6	-10.5	1,371	84	24	1,676	92	25
昭和58年	2421 ]	143 ]	42 ]	11.5	32.7	-10.3	1,886	123	30	2,343	276	68
昭和59年	1,591	97	21	10.9	32.9	-11.0	1,256	170	33	1,308	98	28
昭和60年	2,490	125	44	11.7	32.4	-9.8 ]	1,845	105	36	2,355	132	48
昭和61年	2,005	99	24	10.8	32.5	-12.0	1,490	86	42	1,721	87	38
昭和62年	1,908	74	32	11.6	31.4	-7.8	1,641	112	48	2,005	85	33
昭和63年	1,824	76	30	10.9	30.9	-9.0	1,429	177	30	1,905	276	55
平成元年	2,238	99	30	11.7	30.9	-8.5	1,826	93	39	2,335	133	38
平成2年	2,471	89	37	12.3	31.7	-11.8	1,508	67	22	2,083	96	27
平成3年	2,170	98	27	11.7	31.7	-12.9	1,859	105	31	2,179	98	30
平成4年	1,695	55	16	11.5	30.9 ]	-7.1	1,318	61	17	1,663	80	17
平成5年	2,414	105	25	11.0	30.5	-9.0	2,045	110	31	2,503	135	29 ]
平成6年	1,223	52	17 ]	12.1	35.0	-10.2	1,104	110	26	1,414	73	18
平成7年	2,124	101	34	10.8	32.7	-11.0	1,624	119	38	1,800	104	32
平成8年	2,000	158	38	10.9	32.4	-9.4	1,412	105	30	1,748	86	27
平成9年	2,520	123	30	11.5	31.7	-11.9	1,966	110	43	2,674	105	33
平成10年	1,885	95	32	12.7	31.8	-8.3	1,460	83	22	1,961	102	33
平成11年	1,873	135	34	11.8	31.7	-10.3	1,461	130	20	1,758	127	29
平成12年	1,756	122	31	11.8	32.5	-9.0	1,578	185	43	1,660	99	41
平成13年	2,171	124	36	11.5	33.2	-9.5	1,863	105	28	2,040	122	22
平成14年	1,849	49	23	11.8	32.2	-6.7	1,402	69	23	1,535	51	26
平成15年	2,728	99	31	11.6	31.8	-10.1	2,074	76	32	2,461	117	30
平成16年	2,115	78	33	12.3	33.5	-11.0	1,818	131	45	2,276	119	46
平成17年	2,057	96	47	11.4	32.3	-9.3	1,256	83	50	1,605	67	35
平成18年	2,289	194	48	11.6	33.9	-10.3	1,862	148	49	1,973	136	46
平成19年	1,701	67	46	12.2	32.7	-6.5	1,559	89	67	1,675	69	38
平成20年	1,901	66	30.5 ]	11.6	34.1	-8.4	1,419	54	27	1,856	105	37
平成21年	2,040	169	47	11.4	30.9	-9.1	1,843	152	56	2,023	134.0 ]	39
平成22年	2,038	77	42	11.9	34.6	-8.0	1,618	72	25	1,883	86	44
平成23年	2,162	120	34	11.4	33.0	-10.8	1,734	166	25	2,168	169	32
平成24年	1,857	113	50	11.2	32.7	-13.5	1,366	87	37	1,678	140	40
平成25年	2,573	141	63	11.7	33.6	-9.0	2,271	192	47	2,657	386	93
平成26年	1,890	71	42	11.2	33.0	-8.5	1,447	46	28	1,842	105	31
平成27年	1,897	59	32	11.8	33.6	-7.6	1,444	68	21	1,889	71	34
平成28年	2,116	77	21	12.5	33.4	-9.6	1,781	150	54	2,108	121	30
平成29年	2,176	145	38	11.5	34.3	-9.8	1,560	90	35	1,931	96	44
平成30年	2,306	137	41	12.0	35.1	-12.6	1,747	162	60	2,101	110	63
令和元年	1,672	96	28	12.2	34.4	-6.0	1,250	68	20	1,489	91	30
令和2年	2,152	131	30	12.1	34.4	-6.4	1,829	198	43	2,061	149	35
平年値 (H3～R2)	2,044.9			11.7			1,632.2			1,953.5		

注 1) 値]は欠測あり。下線は観測場所の移転や観測装置の変更等により、その前後のデータが均質でないことを示す。

注 2) 平年値は平成 3 (1991) 年～令和 2 (2020) 年の 30 年間の平均。

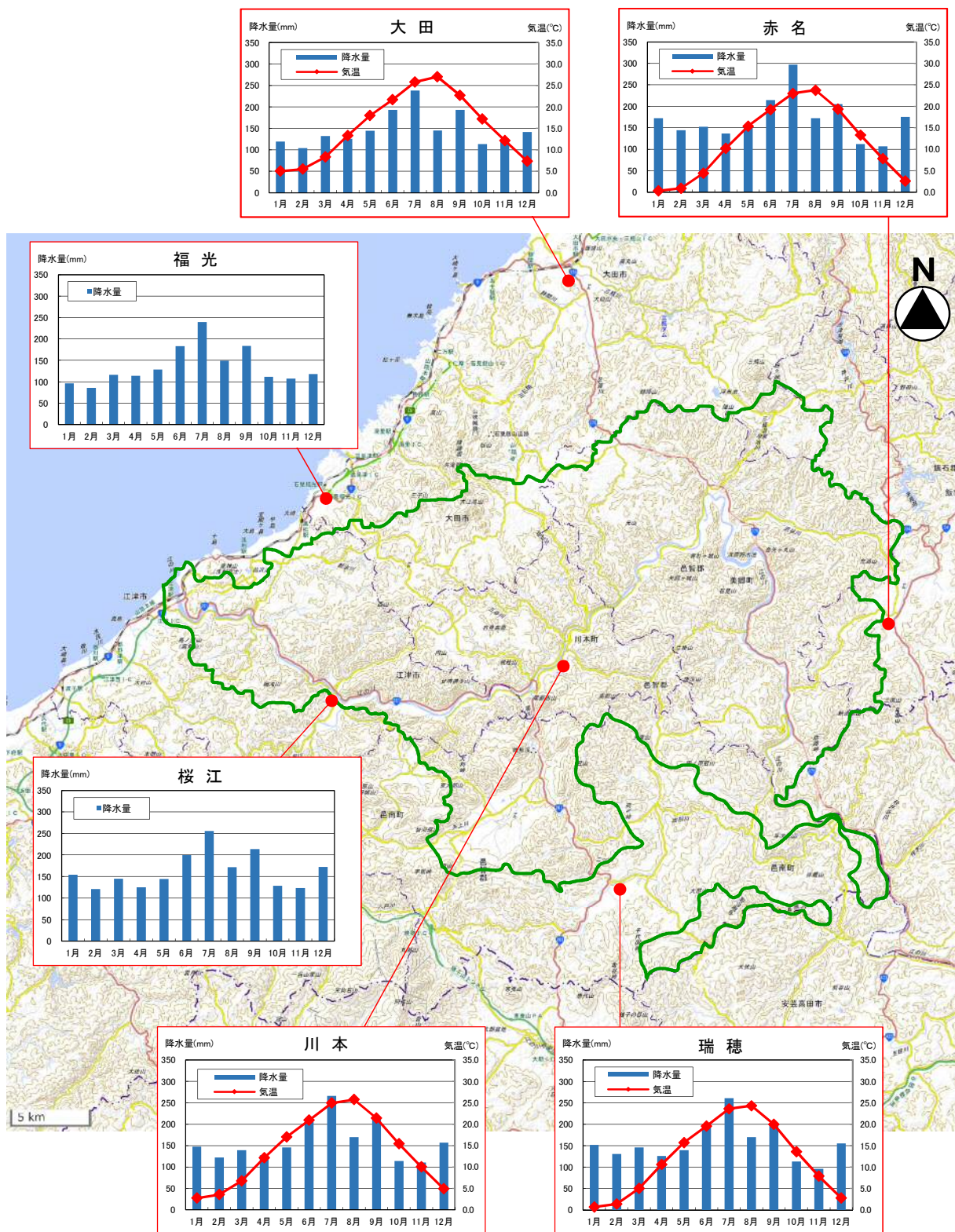
出典：気象庁 HP

表 2-2 月別平均気温と降水量 (平年値)

気象観測所	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大田	降水量 (mm)	119.6	104.0	131.6	125.3	144.4	193.1	238.3	144.8	193.0	113.9	121.5	141.1
	気温 (℃)	5.0	5.5	8.3	13.3	18.0	21.7	25.8	27.0	22.7	17.2	12.1	7.3
川本	降水量 (mm)	147.2	122.1	139.0	127.3	145.9	206.3	266.0	169.5	217.4	113.8	110.3	157.0
	気温 (℃)	2.7	3.5	6.7	12.1	17.0	20.9	24.9	25.7	21.4	15.4	10.0	4.9
瑞穂	降水量 (mm)	151.8	130.9	145.9	126.3	139.7	194.6	260.9	169.9	201.7	112.7	95.5	155.3
	気温 (℃)	0.7	1.4	5.0	10.6	15.7	19.6	23.6	24.3	20.0	13.6	7.9	2.8
赤名	降水量 (mm)	172.5	144.4	152.6	136.5	155.8	214.5	297.1	172.1	205.3	111.9	106.8	175.4
	気温 (℃)	0.3	0.9	4.4	10.2	15.4	19.3	23.0	23.8	19.4	13.3	7.8	2.6
福光	降水量 (mm)	95.9	85.7	116.3	113.8	128.3	183.3	239.6	148.8	183.8	111.5	107.4	117.8
桜江	降水量 (mm)	153.9	121.0	144.8	125.3	144.2	199.6	255.7	171.5	213.7	128.3	123.5	172.2

注) 平年値は平成 3 (1991) 年～令和 2 (2020) 年の 30 年間の平均。

出典：気象庁 HP



※この地図は、国土地理院の電子地形図(タイル)を使用したものである。

図 2-4 江の川水系下流支川域の降水量と気温図 (平年値)

注) 平年値は平成 3 (1991) 年~令和 2 (2020) 年の 30 年間の平均。

## 2.4 自然公園等の指定状況

### 2.4.1 自然公園

江の川水系下流支川域では、1箇所の国立公園（一部）と2箇所の県立自然公園が指定されている。

表 2-3 流域内の自然公園

種別	名称	指定	関係市町村	面積(ha)	概要
国立公園	だいせんおき 大山隠岐 (三瓶山地域)	昭和 38 年 4 月	おおだし 大田市 みさとちやう 美郷町	三瓶山地域 2,679	<p>三瓶山は、島根県のほぼ中央に位置する標高 1126.4m の独立峰で、中国地方では、景観の美しさや利用性から鳥取県の大山と並び称される山である。</p> <p>大山（白山）火山帯に属するこの山は、典型的な鐘状火山地形を呈し、広大な山麓には北ノ原・西ノ原・東ノ原等の高原や三瓶温泉等の温泉群があり、老若男女を問わず気易く登山できる女性的な山容と共に、大衆的な家族連れでのレクリエーションの適地として特色をみせている。</p> <p>公園の区域は、旧噴火口ともいわれる三瓶山の室内ノ内一帯の特別保護地区を中心に、山麓に広がる高原や三瓶温泉・湯抱温泉を含む一帯で、山麓には、春と秋の2回和牛の放牧も行われており、春の新緑、夏の登山、秋の紅葉等と共に、本公園の景観と利用の面に変化を与えている。</p> <p>なお、山麓にある三瓶温泉は環境庁指定の国民保養温泉地となっているが、標高 400m に満たないこの温泉地から、天気の良い日の早朝、江の川筋に発生する雲海の眺めは誠に圧巻で、三瓶山では見逃すことのできない景観の一つとなっている。</p>
県立自然公園	江川水系	昭和 39 年 4 月	美郷町 邑南町	2,296.5	<p>この公園は、広島県に源を發し島根県の中央部を横断して日本海に注ぐ中国地方第一の大河江の川の浜原ダムから上流部及びその沿線に続く山城と江の川の支流である出羽川の左岸一帯の河辺・河川山岳地域からなっている。</p> <p>江の川は、広島県の三次盆地で4つの河川の水を集めて中国山地を横切り、地形が急峻な島根県に入ってから幼年期の断層谷を形成し、雄大な峡谷となっている。</p> <p>沿岸には、青杉ヶ城山、よぼろ城山などの古い山城の跡があり、ここから眼下に長大な河川景観が望まれる。</p>
	断魚溪・ 観音滝	昭和 59 年 5 月	こまつし 江津市 邑南町	509.3	<p>この公園は、江の川の支流濁川に展開する断魚溪とそれをとりまく山城及び鹿賀谷川に懸かる観音滝と一帯の山城の2つの団地からなっている。</p> <p>断魚溪は、濁川によって約 4km にわたって深く侵食されたスケールの大きい溪谷で、嫁ヶ淵、連理ヶ瀑、神楽淵など見どころに富んでおり、昭和 10 年に国の名勝に指定されている。新緑の春から紅葉の秋まで楽しむことができ、キャンプ場も整備されている。</p> <p>観音滝は、鹿賀谷川に懸かる高さ約 35m の大滝で、石英斑岩質安山岩の大岩壁を急流落下する様が観音像に似ているとも言われている。</p>

出典：島根県の自然公園、島根県環境生活部自然環境課 HP

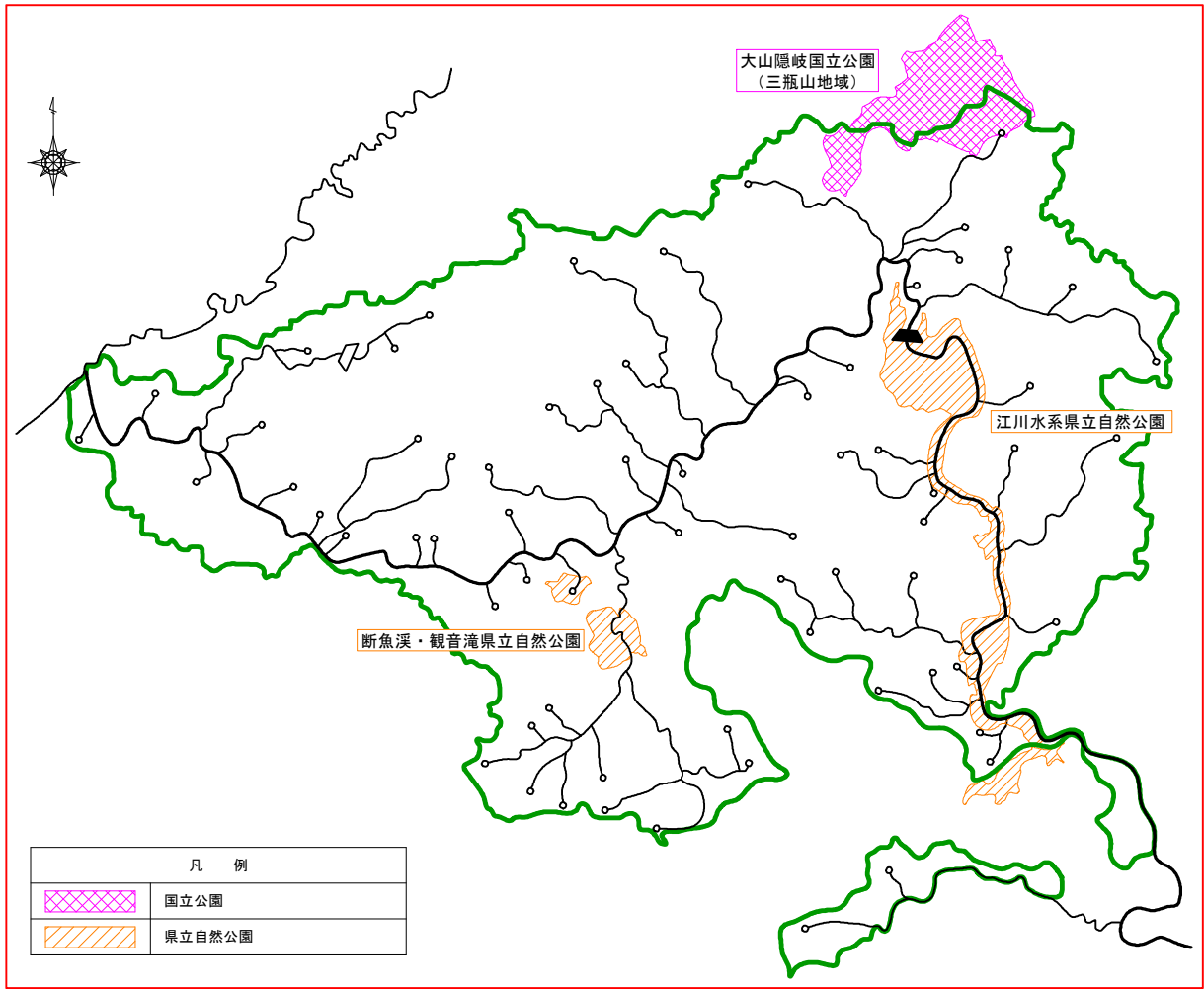


图 2-5 自然公園位置图



## 2.4.2 鳥獣保護区等

江の川水系下流支川域内には、鳥獣保護区が 9 箇所、特定猟具使用禁止区域(銃)が 4 箇所、キジ・ヤマドリ捕獲禁止区域が 1 箇所、鳥獣保護区特別保護地区が 1 箇所指定されている。

表 2-4 江の川水系下流支川域内の鳥獣保護区等

種 別	番号	区分	名 称	関係市町村	面積(ha)	期間
鳥獣保護区	1	森林	観音滝	江津市、邑南町	114	H24. 11. 1～R4. 10. 31
	2	森林	湯 抱	美郷町	730	H25. 11. 1～R5. 10. 31
	3	身近	二ツ山	邑南町	250	H25. 11. 1～R5. 10. 31
	4	身近	いこいの村しまね	邑南町	250	H25. 11. 1～R5. 10. 31
	5	森林	浜原ダム	美郷町	310	H26. 11. 1～R6. 10. 31
	6	身近	断魚溪	邑南町	20	H28. 11. 1～R8. 10. 31
	7	身近	室神山	江津市	471	H29. 11. 1～R9. 10. 31
	8	森林	丸山城森林浴公園	川本町	190	H30. 11. 1～R10. 10. 31
	9	身近	三瓶山	大田市、 <small>いひなんちょう</small> 飯南町	2,425	R1. 11. 1～R11. 10. 31
鳥獣保護区 特別保護地区	※	身近	断魚溪	邑南町	20	H28. 11. 1～R8. 10. 31
特定猟具使用 禁止区域(銃)	1	—	川 本	川本町	278	H24. 11. 1～R4. 10. 31
	2	—	桜 江	江津市	180	H25. 11. 1～R5. 10. 31
	3	—	石 見	邑南町	185	H26. 11. 1～R6. 10. 31
	4	—	口 羽	邑南町	105	H27. 11. 1～R7. 10. 31
キジ・ヤマドリ捕獲 禁止区域	1	—	大和東	美郷町	2,156	H30. 11. 1～R3. 10. 31

※断魚溪特別保護地区は断魚溪鳥獣保護区に同じ。

出典：島根県鳥獣保護区等位置図

## 2.4.3 みんなで守る郷土の自然・みんなでつくる身近な自然観察路

島根県では、身近な生活環境の中にある動植物の生息・生育地や地域住民のシンボルとして親しまれている自然環境を「みんなで守る郷土の自然」として選定し、地域の自発的な保全活動を支援している。江の川水系下流支川域では、貴重な植物の自生地など 7 箇所が選定されている。

また、居住地やその周辺の身近な自然において、昆虫や野鳥等の小動物や植物の観察など自然に親しむことに適した歩道等を「みんなでつくる身近な自然観察路」に選定し、地域における自然保護教育活動の拠点として活用されることが期待されている。江の川水系下流支川域では、9 箇所が選定されている。

表 2-5 みんなで守る郷土の自然・みんなで作る身近な自然観察路選定地

選定事業	番号	名称	位置
みんなで守る郷土の自然	1	川本町ユキワリイチゲ自生地	おおら 邑智郡川本町
	2	川本町イズモコバイモ自生地	邑智郡川本町
	3	大江高山イズモコバイモ自生地	大田市
	4	三瓶山東の原草原環境	大田市
	5	やなしお道	邑智郡美郷町
	6	美郷町ホンシヤクナゲ自生地	邑智郡美郷町
	7	つが 都賀本郷宮の杜	邑智郡美郷町
みんなで作る身近な自然観察路	1	原山（山麓）探勝路	邑智郡邑南町
	2	門谷林間地自然観察路	邑智郡邑南町
	3	井原深篠川冠山探勝路	邑智郡邑南町
	4	あまくら 天蔵滝探勝路	邑智郡邑南町
	5	丸山城森林浴公園自然観察路	邑智郡川本町
	6	赤城の森自然観察路	邑智郡川本町
	7	ばんりゅう 蟠龍峡自然観察路	邑智郡美郷町
	8	大江高山自然観察道	大田市
	9	しがく 経塚自然観察路	大田市

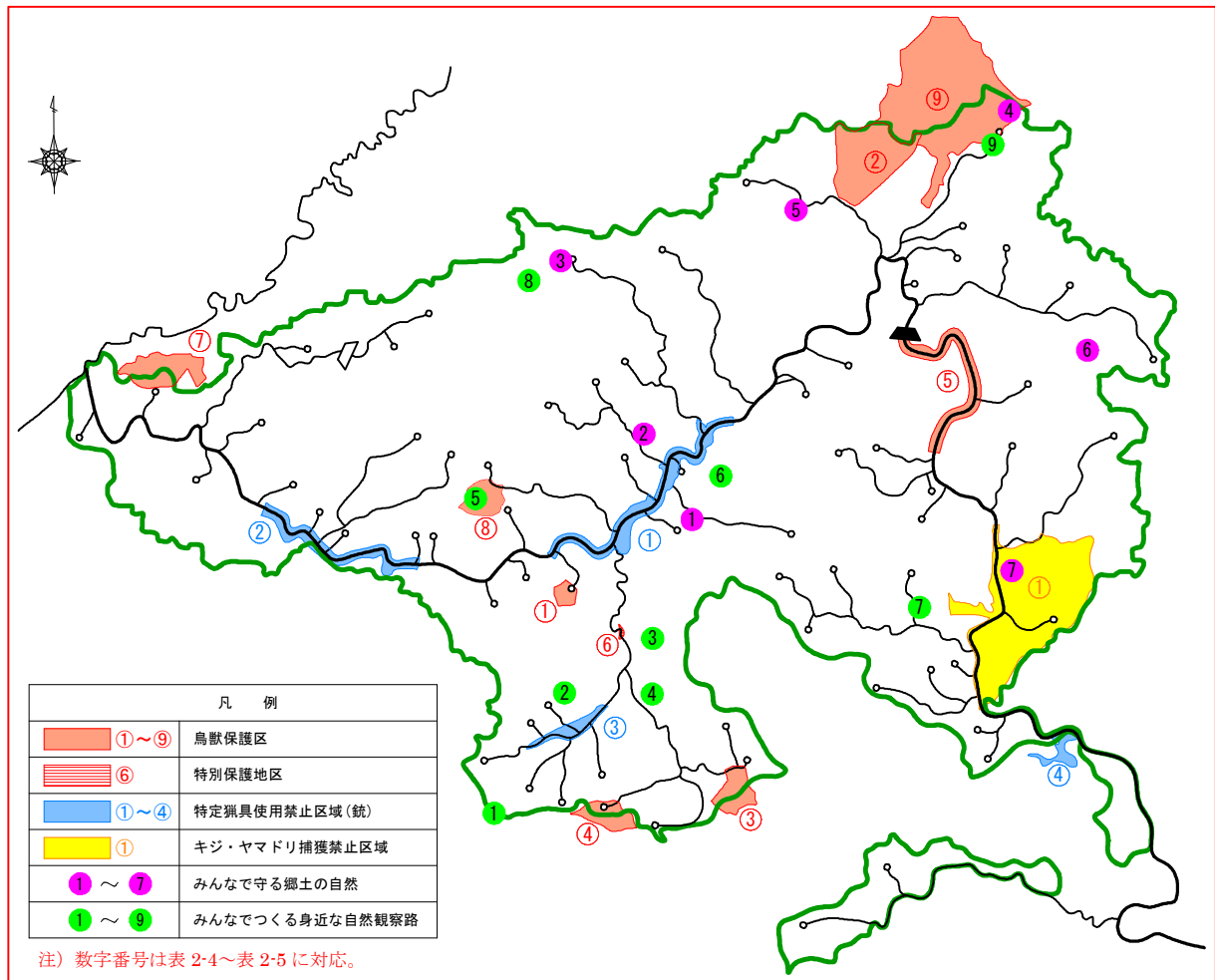


図 2-6 鳥獣保護区等位置図

## 2.5 生物

### 2.5.1 動物

#### (1) ほ乳類

キツネ、タヌキ、ニホンイタチなどの主に里地地域に生息している種のほか、森林性のテン、ホンシュウジカなどが生息している。また、山間部ではニホンザルの群れが分布している。

#### (2) 鳥類

チュウサギ、コサギ、アオサギなどのサギ類、セグロセキレイ、カワセミなどの水辺に生息する種が多く確認されている。溪流部ではヤマセミ、カワガラスなど、河口部ではウミネコ、セグロカモメ、イソヒヨドリなども見られる。

#### (3) 両生類・爬虫類

山間部の河川には国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオが生息しており、清冽な流れに住むカジカガエルも広く分布している。また、ニホンイシガメやシマヘビなども確認されている。

#### (4) 魚類

アユ、オイカワ、カワムツなどが広く分布しており、オヤニラミ、アユカケ（カマキリ）、ズナガニゴイ、アカザなどの貴重な種も見られる。江の川河口部に近い支川下流部ではスズキ、ボラ等の汽水・海水魚が確認されている一方、渓流域ではゴギ、ヤマメなどが生息している。また、濁川ではサケの遡上が確認されている。

#### (5) 昆虫類

コナラ林などの二次林を生息域とするギフチョウ、オオムラサキ、主に市街地付近を生息域とするナガサキアゲハなどのチョウ類のほか、水辺では緩流域を生息場所とするグンバイトンボ、ハグロトンボなどのトンボ類や、ゲンジボタル、ヘイケボタルなどが確認されている。



図 2-7 オオサンショウウオ



図 2-8 オヤニラミ



図 2-9 アカザ

写真出典：改定しまねレッドデータブック HP

江の川水系下流支川域で確認された「環境省レッドリスト（2020 版）」及び「改訂しまねレッドデータブック（2014 動物編）～島根県の絶滅のおそれのある野生動物～」等に記載される重要な種の一覧を表 2-7 に示す。

## 2.5.2 流域植生

江の川流域の植生は、気候帯から分類すると標高 800m 程度までがヤブツバキクラス域の暖温帯、標高 800m 以上がブナクラス域の冷温帯に属し、自然植生としては、シイノキ群系とブナ群系のものを挙げるができるが、これらの自然植生の多くは代償植生（二次林）または植林に置き換えられている。

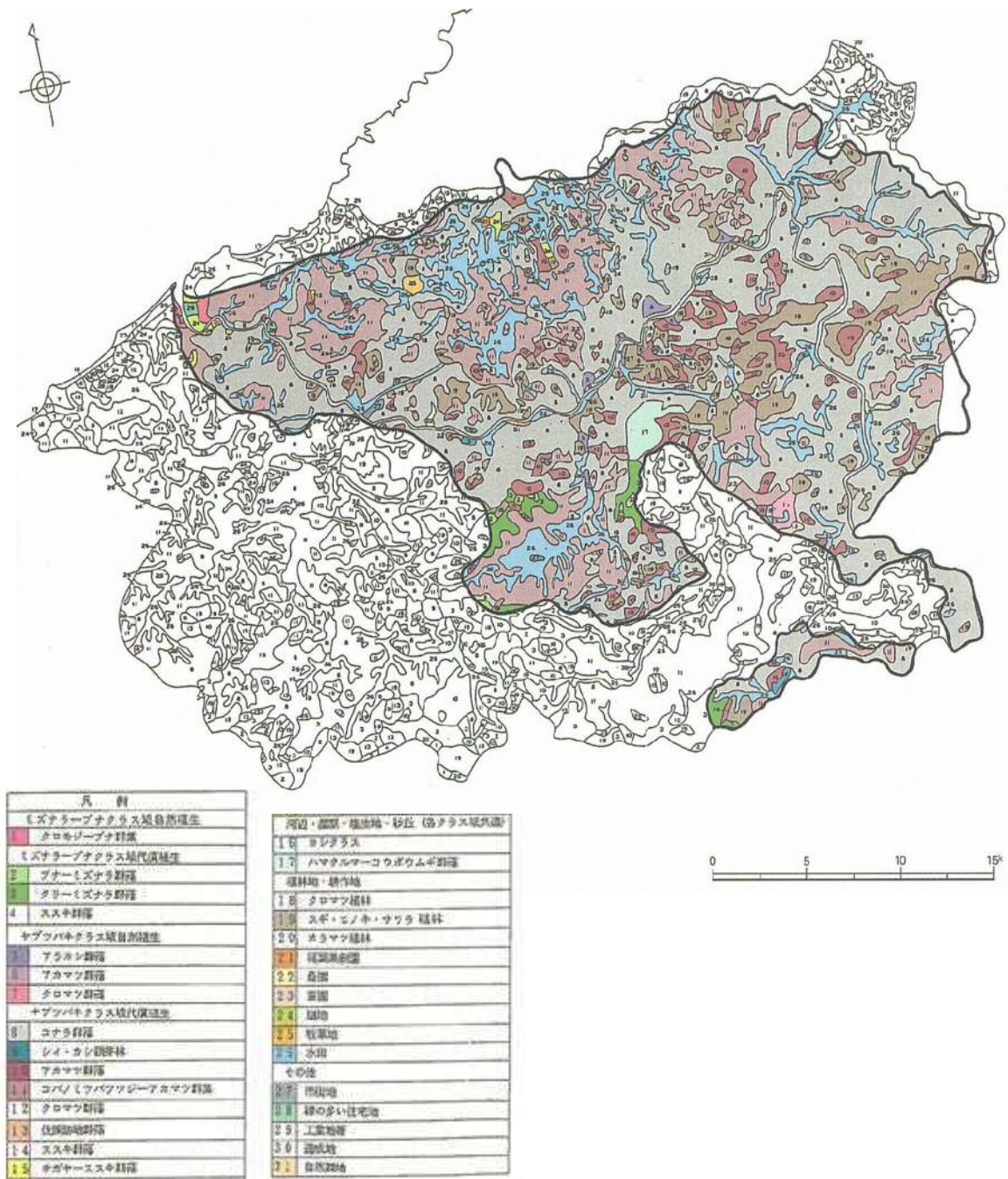


図 2-10 江の川水系下流支川域現存植生図

出典：江の川流域（島根県関係）自然環境調査報告書

（昭和 61 年 3 月、島根県企画部）

### 2.5.3 植 物

江の川水系下流支川域の水辺には、ツルヨシ群落、クサヨシ群落などのイネ科草原、ネコヤナギ群落、カワヤナギ群落、タチヤナギ群落などのヤナギ河畔林をはじめ、シイ・カシ萌芽林なども見られる。また、下流部の河岸には水害防備林（竹林）が多く残っている。

なお、江の川水系下流支川域内には6箇所の保全すべき特定植物群落を選定されている。

表 2-6 保全すべき特定植物群落一覧

番号	群落名	所在地	選定基準	面積 (ha)
①	邑智のキシツツジ群落	邑智郡美郷町	D・E	不明
②	断魚溪の断崖地植生	邑智郡邑南町	D	5.0
③	江津の照葉樹林	江津市 <sup>ほんまち</sup> 本町	A・E	0.5
④	大和のキシツツジ群落	邑智郡美郷町	D・E	8.4
⑤	宇都井のコウヤミズキ	邑智郡邑南町	B・C・H	4.3
⑥	中野の照葉樹林	邑智郡邑南町	A・E	1.0

※特定植物群落とは、自然環境保全基礎調査（環境省）により以下の基準によってリストアップされた、学術上重要な群落や保護を要する群落等である。

**【特定植物群落選定基準】**

- A：原生林もしくはそれに近い自然林
- B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群
- C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地に見られる植物群落または個体群
- D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
- H：その他、学術上重要な植物群落または個体群

出典：第5回自然環境基礎調査（環境庁2000）特定植物群落 報告書

江の川水系下流支川域で確認された「環境省レッドリスト（2020版）」及び「改訂しまねレッドデータブック（2013植物編）～島根県の絶滅のおそれのある野生植物～」等に記載される重要な種の一覧を表2-7に示す。

表 2-7 レッドデータブック等に記載される重要な種【1/2】

分類	貴重種	選定根拠				江の川水系下流支川域関係市町										
		文化財 保護法	種の 保存法	県保護 条例	島根県 RDB	環境省 RL	大田市		江津市		川本町	美郷町		邑南町		飯南町
							大田市	温泉津町	江津市	桜江町		邑智町	大和村	羽須美村	瑞穂町	
哺乳類	カワネズミ				NT		○									
	コキクガシラコウモリ				NT			○					○			
	キクガシラコウモリ				NT		○						○			
	ユビナガコウモリ				NT			○					○			
	コテングコウモリ				NT		○									
	テングコウモリ				NT			○					○			
	ヤマネ	国天			VU		○									
	ツキノワグマ				CR+EN		○								○	
	ホンダイタチ(ニホンイタチ)				NT		○								○	
イタチ類				※1					○							
鳥類	ヒシクイ	国天			VU	VU	○									
	オシドリ				NT	DD	○				○					
	クロサギ				NT			○								
	クイナ				VU		○									
	ヒクイナ				VU	NT	○						○			
	ヨタカ				VU	NT	○				○			○		
	オオジシギ				DD	NT	○									
	ミサゴ				VU	NT		○			○				○	
	ハチクマ				CR+EN	NT	○			○						
	ツミ				DD		○		○							
	ハイタカ				DD	NT				○			○		○	
	サンバ				CR+EN	VU	○	○		○	○		○	○	○	
	クマタカ				CR+EN	EN	○			○				○	○	
	オオコノハズク				VU		○									
	コノハズク				VU		○									
	アカショウビン				VU		○			○	○		○			
	ヤマセミ				VU		○			○	○		○	○	○	
	ブッポウソウ				CR+EN	EN	○			○	○		○	○	○	
	ハヤブサ		国内		CR+EN	VU	○		○		○					
	カイロチョウ		国内		VU	EN	○									
	サンコウチョウ				DD		○			○			○	○		
	アカモズ				DD	EN	○									
	コヨシキリ				DD		○									
	ノビタキ				DD		○									
	イワミセキレイ				CR+EN			○								
	コイカル				CR+EN		○									
ホオアカ				NT		○										
爬虫類	ニホンイシガメ					NT				○						
	オオサンショウウオ	特天	国際		VU	VU	○	○	○		○	○		○		
両生類	トノサマガエル					NT				○						
	モリアオガエル				NT		○									
	カジカガエル				NT		○			○			○			
	ドジョウ					NT				○						
魚類	イシドジョウ				CR+EN	EN				○			○			
	アカザ				NT	VU			○	○		○				
	ゴギ				CR+EN	VU								○		
	ヤマメ					NT				○						
	オヤニラミ	町天(邑南)			CR+EN	EN				○	○		○			
	アユカケ(カマキリ)				NT	VU			○	○						
	カジカ中卵型				NT	EN				○						
	カジカ属				※2	※2				○	○		○			
	オオヨシノボリ				NT				○	○		○				
	ミナミヌマエビ				NT					○						
甲殻類	クリロキセルガイモドキ				NT	NT	○									
	トンガリササノハガイ				NT	NT				○						
	モリヤギセル				NT	NT				○						
陸・淡水産貝類	ハンジロギセル				NT	CR+EN								○		
	ヒラマキミズマイマイ					DD				○						
昆虫類	アオハダトンボ				NT	NT								○		
	ムカシトンボ				NT									○		
	ルリボシヤンマ				NT		○							○		
	サラヤンマ				NT		○				○			○		
	ダビドサナエ属				※3					○						
	ヒメササエ				NT		○			○						
	ムカシヤンマ				NT				○	○		○	○	○		
	キイロヤマトンボ				VU	NT			○			○				
	ハネヒロエゾトンボ				VU	VU	○									
	ハッチョウトンボ				VU		○						○	○		
	マイコアカネ				CR+EN									○		
	ミヤマアカネ				NT					○						
	アカエゾゼミ				VU		○									
	エゾハルゼミ				NT		○									
	アカスジオオカスミカメ				NT		○									
	タガメ		国内		CR+EN	VU	○							○		
	ギンイチモンジセセリ				VU	NT	○		○							
	オオチャバネセセリ				NT					○						
	スジグロチャバネセセリ				VU	NT				○						
	北海道・本州・九州亜種				VU	NT				○						
	オナガシジミ				VU		○									
	ウラゴマダラシジミ				NT		○				○			○		



表 2-8 重要な種の選定根拠

法令・文献等	略号	選定基準等
① 文化財保護法（文化庁 1950） 島根県文化財保護条例（島根県 S30） 大田市文化財保護条例（大田市 H17） 江津市文化財保護条例（江津市 S45） 川本町文化財保護条例（川本町 S52） 邑南町文化財保護条例（邑南町 H16） 美郷町文化財保護条例（美郷町 H16） 飯南町文化財保護条例（飯南町 H17）	特天	特別天然記念物
	国天	国指定の天然記念物
	県天	県指定の天然記念物
	市天	市指定の天然記念物
	町天	町指定の天然記念物
	② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 <種の保存法>（環境庁 1991）	国際
	国内	国内希少野生動植物種
③ 島根県希少野生動植物の保護に関する条例（島根県 H22.3）	指定	指定希少野生動植物
④ 改訂しまねレッドデータブック 2013 植物編（島根県 H25.3） 2014 動物編（島根県 H26.3）	CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類 （絶滅の危機に瀕している種）
	VU	絶滅危惧Ⅱ類 （絶滅の危機が増大している種）
	NT	準絶滅危惧 （存続基盤が脆弱な種）
	DD	情報不足 （評価するだけの情報が不足している種）
⑤ 環境省レッドリスト 2020 （環境省 R2.3）	CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類 （絶滅の危機に瀕している種）
	CR	絶滅危惧ⅠA類 （ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
	EN	絶滅危惧ⅠB類 （ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）
	VU	絶滅危惧Ⅱ類 （絶滅の危機が増大している種）
	NT	準絶滅危惧 （現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
	DD	情報不足 （評価するだけの情報が不足している種）
	LP	絶滅のおそれのある地域個体群 （地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）



### 3. 人口及び産業構造

#### 3.1 人口・世帯数の推移

江の川水系下流支川域の関係市町における昭和60年から令和2年の国勢調査による人口及び世帯数の推移を表3-1に示す。いずれも年々減少傾向にある。

表3-1 江の川水系下流支川域関係市町における人口・世帯数

市町村		人口(人)							
合併後	合併前	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田市	大田市	38,242	36,922	35,333	33,609	32,337	30,364	28,285	26,804
	温泉津町	5,283	4,863	4,446	4,053	3,680	3,292	2,905	2,495
	仁摩町	5,752	5,506	5,174	4,911	4,686	4,340	3,976	3,547
	合計	49,277	47,291	44,953	42,573	40,703	37,996	35,166	32,846
江津市	江津市	28,597	27,748	26,958	25,773	24,486	22,712	21,808	20,637
	桜江町	4,340	4,026	3,782	3,604	3,288	2,985	2,660	2,322
	合計	32,937	31,774	30,740	29,377	27,774	25,697	24,468	22,959
川本町	川本町	6,123	5,512	5,099	4,784	4,324	3,900	3,442	3,248
邑南町	羽須美村	2,823	2,565	2,304	2,078	1,879	1,620	1,440	1,232
	瑞穂町	5,691	5,518	5,391	5,304	5,012	4,591	4,348	3,959
	石見町	7,281	7,034	6,761	6,484	6,053	5,748	5,313	4,972
	合計	15,795	15,117	14,456	13,866	12,944	11,959	11,101	10,163
美郷町	邑智町	5,861	5,360	5,036	4,606	4,091	3,681	3,397	3,023
	大和村	2,511	2,246	2,175	2,018	1,820	1,670	1,503	1,332
	合計	8,372	7,606	7,211	6,624	5,911	5,351	4,900	4,355
飯南町	赤来町	4,193	3,951	3,721	3,442	3,266	3,075	2,766	2,560
	頓原町	3,457	3,380	3,172	3,099	2,713	2,459	2,265	2,017
	合計	7,650	7,331	6,893	6,541	5,979	5,534	5,031	4,577
島根県	県計	794,629	781,021	771,441	761,503	742,223	717,397	694,352	671,126

市町村		世帯数(世帯)							
合併後	合併前	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田市	大田市	11,494	11,462	11,452	11,492	11,463	11,196	10,774	10,716
	温泉津町	1,949	1,844	1,754	1,618	1,532	1,407	1,249	1,146
	仁摩町	1,925	1,918	1,863	1,876	1,809	1,709	1,590	1,481
	合計	15,368	15,224	15,069	14,986	14,804	14,312	13,613	13,343
江津市	江津市	9,356	9,337	9,483	9,681	9,515	9,127	9,035	8,964
	桜江町	1,468	1,396	1,316	1,325	1,254	1,193	1,088	989
	合計	10,824	10,733	10,799	11,006	10,769	10,320	10,123	9,953
川本町	川本町	2,123	1,997	1,953	1,924	1,769	1,666	1,457	1,407
邑南町	羽須美村	1,063	970	916	840	781	708	628	552
	瑞穂町	1,864	1,963	1,867	1,859	1,806	1,714	1,667	1,553
	石見町	2,083	2,047	2,066	2,057	2,049	2,088	1,929	1,889
	合計	5,010	4,980	4,849	4,756	4,636	4,510	4,224	3,994
美郷町	邑智町	1,942	1,856	1,864	1,812	1,632	1,503	1,417	1,296
	大和村	822	782	791	724	678	654	593	548
	合計	2,764	2,638	2,655	2,536	2,310	2,157	2,010	1,844
飯南町	赤来町	1,211	1,175	1,176	1,147	1,136	1,102	1,030	1,011
	頓原町	997	1,003	917	992	930	842	812	758
	合計	2,208	2,178	2,093	2,139	2,066	1,944	1,842	1,769
島根県	県計	233,161	236,110	246,476	257,530	260,864	262,219	265,008	269,892

出典：国勢調査（第1次基本集計、人口等基本集計）

江の川水系下流支川域関係市町の人口の減少率は島根県全体と比較して大きい。

表 3-2 江の川水系下流支川域関係市町における人口増加率

市町村		人口増加率(%)								
合併後	合併前	昭和60年 ～平成2年	平成2年 ～7年	平成7年 ～12年	平成12年 ～17年	平成17年 ～22年	平成22年 ～27年	平成27年 ～令和2年	昭和60年 ～令和2年	
大田市	大田市	-3.5%	-4.3%	-4.9%	-3.8%	-6.1%	-6.8%	-5.2%	-29.9%	
	温泉津町	-8.0%	-8.6%	-8.8%	-9.2%	-10.5%	-11.8%	-14.1%	-52.8%	
	仁摩町	-4.3%	-6.0%	-5.1%	-4.6%	-7.4%	-8.4%	-10.8%	-38.3%	
	合計	-4.0%	-4.9%	-5.3%	-4.4%	-6.7%	-7.4%	-6.6%	-33.3%	
江津市	江津市	-3.0%	-2.8%	-4.4%	-5.0%	-7.2%	-4.0%	-5.4%	-27.8%	
	桜江町	-7.2%	-6.1%	-4.7%	-8.8%	-9.2%	-10.9%	-12.7%	-46.5%	
	合計	-3.5%	-3.3%	-4.4%	-5.5%	-7.5%	-4.8%	-6.2%	-30.3%	
川本町	川本町	-10.0%	-7.5%	-6.2%	-9.6%	-9.8%	-11.7%	-5.6%	-47.0%	
邑南町	羽須美村	-9.1%	-10.2%	-9.8%	-9.6%	-13.8%	-11.1%	-14.4%	-56.4%	
	瑞穂町	-3.0%	-2.3%	-1.6%	-5.5%	-8.4%	-5.3%	-8.9%	-30.4%	
	石見町	-3.4%	-3.9%	-4.1%	-6.6%	-5.0%	-7.6%	-6.4%	-31.7%	
	合計	-4.3%	-4.4%	-4.1%	-6.6%	-7.6%	-7.2%	-8.4%	-35.7%	
美郷町	邑智町	-8.5%	-6.0%	-8.5%	-11.2%	-10.0%	-7.7%	-11.0%	-48.4%	
	大和村	-10.6%	-3.2%	-7.2%	-9.8%	-8.2%	-10.0%	-11.4%	-47.0%	
	合計	-9.1%	-5.2%	-8.1%	-10.8%	-9.5%	-8.4%	-11.1%	-48.0%	
飯南町	赤来町	-5.8%	-5.8%	-7.5%	-5.1%	-5.8%	-10.0%	-7.4%	-38.9%	
	頼原町	-2.2%	-6.2%	-2.3%	-12.5%	-9.4%	-7.9%	-10.9%	-41.7%	
	合計	-4.2%	-6.0%	-5.1%	-8.6%	-7.4%	-9.1%	-9.0%	-40.2%	
島根県	県計	-1.7%	-1.2%	-1.3%	-2.5%	-3.3%	-3.2%	-3.3%	-15.5%	

出典：国勢調査（第1次基本集計、人口等基本集計）

年齢別人口構成率については、65歳以上人口比率の増加に対し15～64歳及び15歳未満人口比率の減少という傾向を示しており、江の川水系下流支川域関係市町全体では令和2年調査での65歳以上の割合が41.7%、15～64歳の割合が47.5%、15歳未満の割合が10.8%と、島根県全体（それぞれ34.4%、53.3%、12.3%）と比べて少子高齢化が進んでいる。一方、関係市町のうち川本町及び美郷町については、近年15歳未満人口比率が微増している。

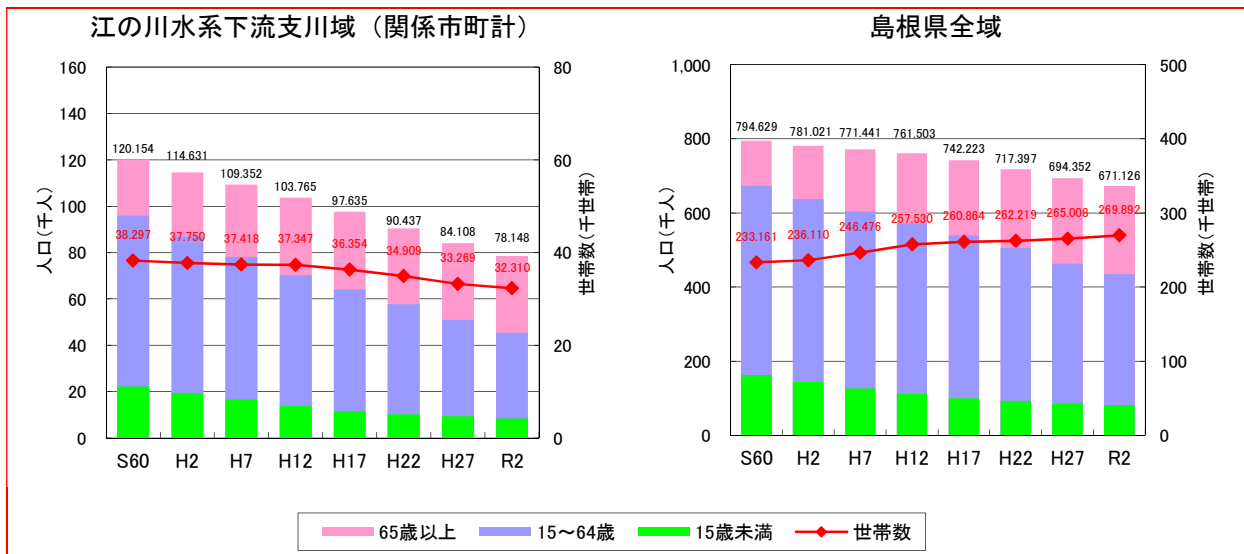


図 3-1 江の川水系下流支川域と島根県の人口・世帯数の推移

出典：国勢調査（第1次基本集計、人口等基本集計）

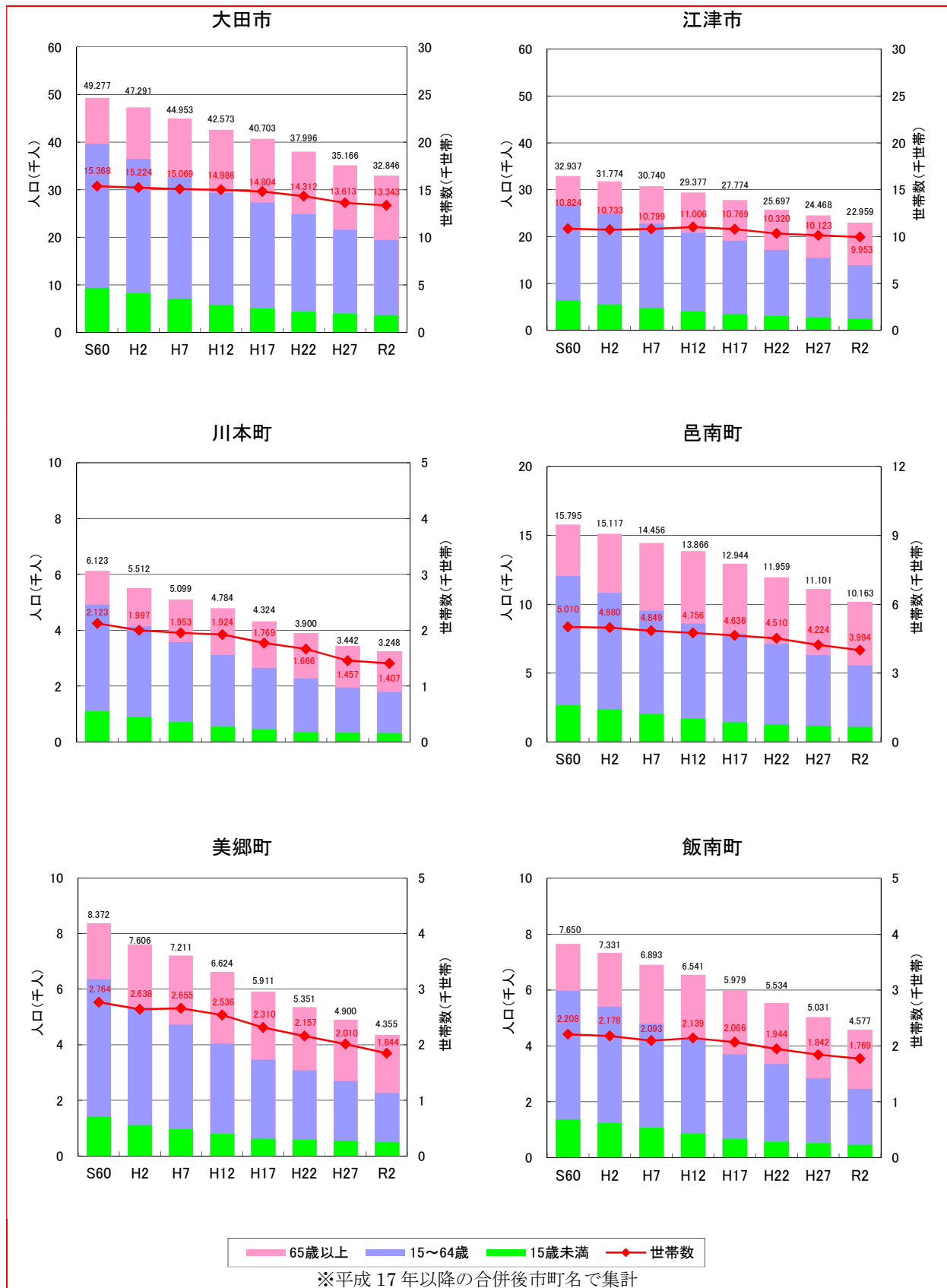


図3-2 江の川水系下流支川域関係市町の人口・世帯数の推移

出典：国勢調査（第1次基本集計、人口等基本集計）

表 3-3 江の川水系下流支川域関係市町における年齢別人口構成率

合併後	合併前	年齢別構成	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
大田市	大田市	15歳未満	20.0%	18.5%	16.5%	14.2%	12.7%	12.0%	11.9%	11.7%
		15～64歳	62.1%	60.4%	58.2%	56.4%	56.2%	54.9%	51.3%	49.2%
		65歳以上	17.9%	21.2%	25.3%	29.3%	31.2%	33.1%	36.8%	39.1%
	温泉津町	15歳未満	14.2%	13.2%	13.1%	11.7%	10.0%	7.7%	7.9%	7.5%
		15～64歳	59.5%	55.2%	49.0%	47.1%	48.1%	48.2%	45.4%	42.6%
		65歳以上	26.3%	31.5%	37.9%	41.1%	41.9%	44.1%	46.7%	49.9%
	仁摩町	15歳未満	17.3%	15.6%	13.9%	12.0%	11.8%	10.7%	10.4%	10.0%
		15～64歳	59.4%	57.5%	55.0%	53.1%	51.1%	50.8%	48.2%	44.9%
		65歳以上	23.3%	26.9%	31.1%	35.0%	37.1%	38.5%	41.4%	45.1%
合計	15歳未満	19.0%	17.6%	15.9%	13.7%	12.3%	11.5%	11.4%	11.2%	
	15～64歳	61.5%	59.5%	56.9%	55.2%	54.9%	53.8%	50.5%	48.3%	
	65歳以上	19.5%	22.9%	27.2%	31.1%	32.8%	34.6%	38.2%	40.6%	
江津市	江津市	15歳未満	19.8%	17.6%	15.5%	13.7%	12.4%	11.8%	11.5%	10.6%
		15～64歳	62.6%	61.8%	59.9%	58.5%	57.6%	56.0%	52.8%	50.8%
		65歳以上	17.6%	20.5%	24.7%	27.8%	30.0%	32.2%	35.8%	38.5%
	桜江町	15歳未満	16.0%	15.4%	14.4%	13.2%	12.3%	10.9%	9.8%	9.2%
		15～64歳	60.0%	55.2%	50.9%	49.2%	48.0%	48.6%	46.9%	43.8%
		65歳以上	24.0%	29.5%	34.7%	37.6%	39.8%	40.5%	43.3%	47.0%
合計	15歳未満	19.3%	17.3%	15.3%	13.7%	12.3%	11.7%	11.3%	10.5%	
	15～64歳	62.3%	61.0%	58.8%	57.4%	56.5%	55.1%	52.1%	50.1%	
	65歳以上	18.4%	21.7%	25.9%	29.0%	31.2%	33.2%	36.6%	39.4%	
川本町	15歳未満	17.9%	16.1%	13.9%	11.5%	10.4%	9.3%	9.6%	9.9%	
	15～64歳	62.5%	58.9%	56.1%	53.6%	51.2%	49.2%	47.0%	45.7%	
	65歳以上	19.6%	25.0%	30.0%	34.9%	38.5%	41.5%	43.4%	44.4%	
邑南町	羽須美村	15歳未満	13.7%	13.7%	12.2%	10.5%	8.7%	8.4%	9.0%	8.9%
		15～64歳	59.7%	53.0%	46.6%	41.2%	40.4%	39.4%	35.5%	34.3%
		65歳以上	26.6%	33.3%	41.3%	48.3%	50.9%	52.2%	55.5%	56.8%
	瑞穂町	15歳未満	16.3%	14.8%	13.9%	11.8%	10.5%	10.4%	10.7%	10.9%
		15～64歳	59.0%	56.1%	50.2%	49.2%	46.8%	46.2%	44.6%	43.2%
		65歳以上	24.8%	29.1%	35.9%	38.9%	42.7%	43.4%	44.7%	45.9%
	石見町	15歳未満	18.4%	17.0%	14.8%	13.1%	12.1%	11.5%	11.1%	10.9%
		15～64歳	59.9%	57.0%	55.2%	53.8%	54.5%	53.5%	50.4%	47.3%
		65歳以上	21.7%	26.0%	30.0%	33.0%	33.4%	35.0%	38.5%	41.7%
合計	15歳未満	16.8%	15.6%	14.0%	12.2%	11.0%	10.6%	10.7%	10.7%	
	15～64歳	59.5%	56.0%	52.0%	50.2%	49.5%	48.8%	46.2%	44.1%	
	65歳以上	23.7%	28.4%	34.0%	37.6%	39.5%	40.6%	43.1%	45.2%	
美郷町	邑智町	15歳未満	17.1%	14.2%	12.9%	11.4%	9.9%	10.9%	11.7%	11.9%
		15～64歳	59.5%	56.2%	53.7%	50.4%	50.2%	47.8%	44.7%	41.7%
		65歳以上	23.3%	29.6%	33.4%	38.1%	39.9%	41.2%	43.6%	46.4%
	大和村	15歳未満	16.4%	15.5%	14.3%	13.1%	11.3%	10.4%	10.1%	10.4%
		15～64歳	57.7%	54.0%	48.5%	45.8%	43.8%	44.1%	41.3%	38.4%
		65歳以上	25.9%	30.5%	37.3%	41.1%	44.9%	45.5%	48.6%	51.2%
合計	15歳未満	16.9%	14.6%	13.3%	11.9%	10.3%	10.8%	11.2%	11.4%	
	15～64歳	59.0%	55.6%	52.1%	49.0%	48.2%	46.6%	43.7%	40.7%	
	65歳以上	24.1%	29.9%	34.6%	39.0%	41.4%	42.6%	45.1%	47.9%	
飯南町	赤来町	15歳未満	19.0%	18.2%	15.7%	13.5%	12.0%	11.7%	10.9%	10.9%
		15～64歳	60.5%	57.0%	55.2%	52.8%	52.4%	52.1%	48.5%	45.9%
		65歳以上	20.5%	24.8%	29.1%	33.6%	35.6%	36.1%	40.6%	43.2%
	頓原町	15歳未満	16.7%	15.1%	15.3%	12.7%	10.5%	8.8%	9.5%	9.1%
		15～64歳	60.0%	56.9%	52.5%	52.0%	48.3%	47.7%	43.4%	40.9%
		65歳以上	23.3%	28.0%	32.2%	35.3%	41.2%	43.5%	47.0%	50.1%
合計	15歳未満	18.0%	16.8%	15.5%	13.1%	11.3%	10.4%	10.3%	10.1%	
	15～64歳	60.3%	56.9%	54.0%	52.4%	50.5%	50.2%	46.2%	43.7%	
	65歳以上	21.8%	26.3%	30.5%	34.4%	38.2%	39.4%	43.5%	46.2%	
江の川水系 下流支川域 関係市町	15歳未満	18.5%	16.9%	15.2%	13.3%	11.9%	11.2%	11.1%	10.8%	
	15～64歳	61.3%	59.0%	56.2%	54.5%	53.8%	52.7%	49.6%	47.5%	
	65歳以上	20.2%	24.1%	28.6%	32.2%	34.3%	36.1%	39.3%	41.7%	
島根県	15歳未満	20.5%	18.4%	16.4%	14.7%	13.6%	12.9%	12.6%	12.3%	
	15～64歳	64.2%	63.3%	62.0%	60.5%	59.3%	58.0%	55.0%	53.3%	
	65歳以上	15.3%	18.2%	21.7%	24.8%	27.1%	29.1%	32.5%	34.4%	

出典：国勢調査（第1次基本集計、人口等基本集計）

### 3.2 産業構造の変遷

昭和 60 年から平成 27 年の国勢調査より、江の川水系下流支川域の関係市町村の産業別就業者数構成率の推移を見ると、第三次産業就業者数構成率が継続的に増加している。一方、第二次産業就業者数構成率は昭和 60 年から平成 2 年にかけて増加しているが、近年は減少傾向である。また、第一次産業就業者数構成率は平成 12 年にかけて大きく減少していたが、平成 12 年以降は減少幅が小さくなっており、平成 27 年には江津市、美郷町及び飯南町で増加が見られた。

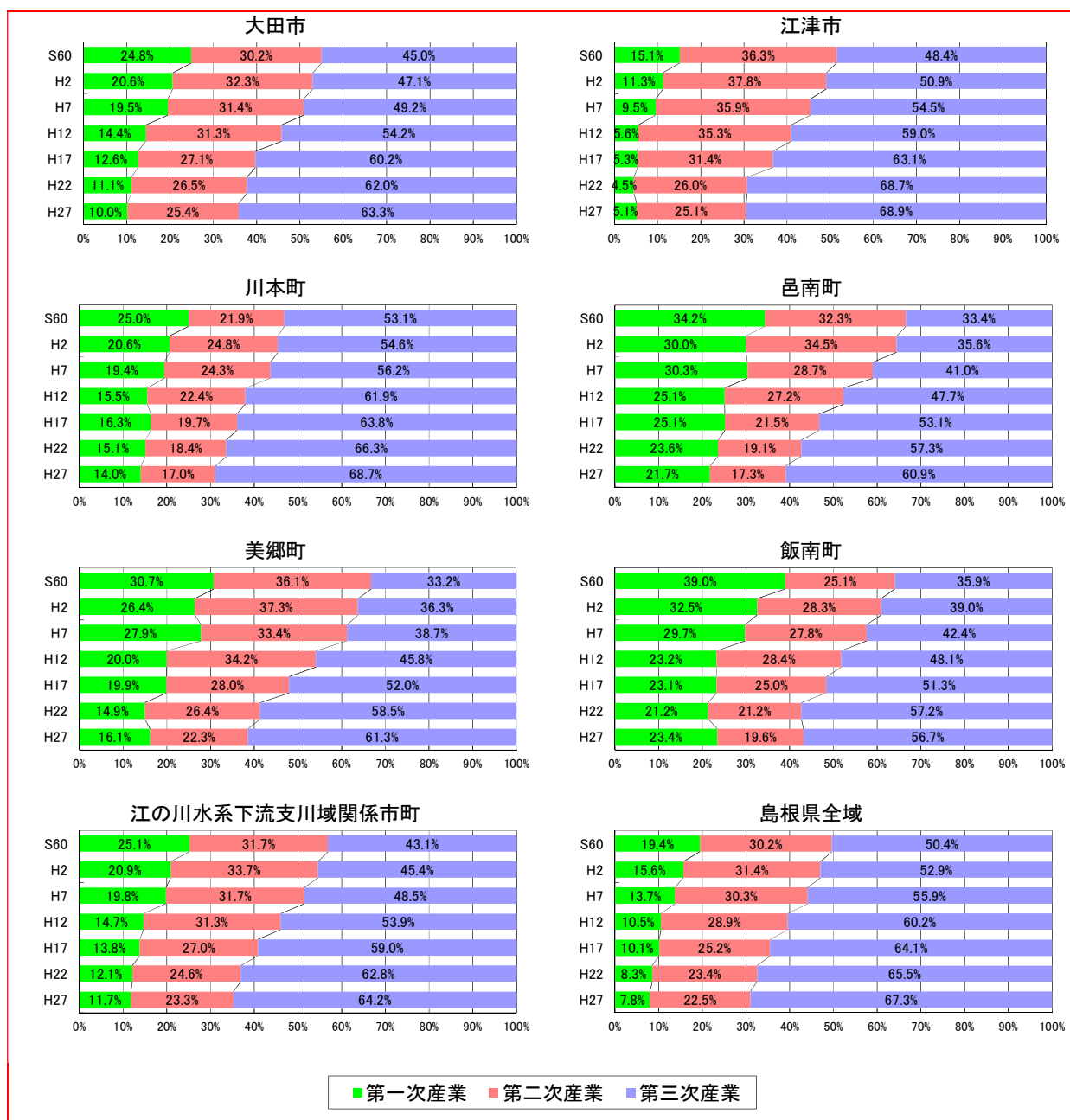


図 3-3 江の川水系下流支川域関係市町の産業別就業者数構成率の推移

※平成 17 年以降の合併後市町名で集計

表 3-4 江の川水系下流支川域関係市町における産業別就業者数・構成率【1/2】

年次	産業別	大田市								江津市						川本町	
		大田市		温泉津町		仁摩町		合計		江津市		桜江町		合計		就業者数 (人)	構成率 (%)
		就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)		
昭和60年	総 数	20,036		2,787		2,704		25,527		13,654		2,553		16,207		3,381	
	一次産業	4,860	24.3%	839	30.1%	633	23.4%	6,332	24.8%	1,623	11.9%	829	32.5%	2,452	15.1%	846	25.0%
	二次産業	5,882	29.4%	868	31.1%	955	35.3%	7,705	30.2%	4,972	36.4%	918	36.0%	5,890	36.3%	740	21.9%
	三次産業	9,290	46.4%	1,078	38.7%	1,115	41.2%	11,483	45.0%	7,045	51.6%	806	31.6%	7,851	48.4%	1,795	53.1%
平成2年	総 数	18,895		2,430		2,478		23,803		12,666		2,178		14,844		2,933	
	一次産業	3,857	20.4%	629	25.9%	417	16.8%	4,903	20.6%	1,091	8.6%	589	27.0%	1,680	11.3%	605	20.6%
	二次産業	5,936	31.4%	786	32.3%	968	39.1%	7,690	32.3%	4,789	37.8%	815	37.4%	5,604	37.8%	727	24.8%
	三次産業	9,098	48.2%	1,014	41.7%	1,093	44.1%	11,205	47.1%	6,781	53.5%	774	35.5%	7,555	50.9%	1,600	54.6%
平成7年	総 数	18,347		2,256		2,430		23,033		12,459		1,992		14,451		2,756	
	一次産業	3,457	18.8%	661	29.3%	363	14.9%	4,481	19.5%	883	7.1%	497	24.9%	1,380	9.5%	536	19.4%
	二次産業	5,712	31.1%	620	27.5%	892	36.7%	7,224	31.4%	4,506	36.2%	682	34.2%	5,188	35.9%	670	24.3%
	三次産業	9,176	50.0%	975	43.2%	1,175	48.4%	11,326	49.2%	7,063	56.7%	813	40.8%	7,876	54.5%	1,550	56.2%
平成12年	総 数	16,944		1,714		2,235		20,893		11,510		1,722		13,232		2,462	
	一次産業	2,438	14.4%	307	17.9%	265	11.9%	3,010	14.4%	484	4.2%	256	14.9%	740	5.6%	382	15.5%
	二次産業	5,188	30.6%	525	30.6%	831	37.2%	6,544	31.3%	4,080	35.4%	596	34.6%	4,676	35.3%	551	22.4%
	三次産業	9,312	55.0%	881	51.4%	1,139	51.0%	11,332	54.2%	6,937	60.3%	869	50.5%	7,806	59.0%	1,524	61.9%
平成17年	総 数	15,857		1,654		2,096		19,607		10,861		1,548		12,409		2,114	
	一次産業	1,945	12.3%	293	17.7%	230	11.0%	2,468	12.6%	433	4.0%	229	14.8%	662	5.3%	344	16.3%
	二次産業	4,184	26.4%	450	27.2%	675	32.2%	5,309	27.1%	3,424	31.5%	468	30.2%	3,892	31.4%	416	19.7%
	三次産業	9,707	61.2%	906	54.8%	1,191	56.8%	11,804	60.2%	6,986	64.3%	850	54.9%	7,836	63.1%	1,348	63.8%
平成22年	総 数	14,553		1,477		1,921		17,951		10,119		1,359		11,478		1,853	
	一次産業	1,563	10.7%	230	15.6%	192	10.0%	1,985	11.1%	345	3.4%	172	12.7%	517	4.5%	280	15.1%
	二次産業	3,764	25.9%	406	27.5%	595	31.0%	4,765	26.5%	2,648	26.2%	334	24.6%	2,982	26.0%	341	18.4%
	三次産業	9,163	63.0%	838	56.7%	1,129	58.8%	11,130	62.0%	7,045	69.6%	837	61.6%	7,882	68.7%	1,228	66.3%
平成27年	総 数	13,767		1,299		1,775		16,841		10,088		1,273		11,361		1,656	
	一次産業	1,338	9.7%	188	14.5%	152	8.6%	1,678	10.0%	412	4.1%	171	13.4%	583	5.1%	232	14.0%
	二次産業	3,422	24.9%	346	26.6%	508	28.6%	4,276	25.4%	2,547	25.2%	308	24.2%	2,855	25.1%	281	17.0%
	三次産業	8,813	64.0%	765	58.9%	1,079	60.8%	10,657	63.3%	7,034	69.7%	790	62.1%	7,824	68.9%	1,138	68.7%

年次	産業別	邑南町								美郷町					
		羽須美村		瑞穂町		石見町		合計		邑智町		大和村		合計	
		就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)
昭和60年	総 数	1,837		3,307		3,993		9,137		3,335		1,367		4,702	
	一次産業	629	34.2%	1,281	38.7%	1,218	30.5%	3,128	34.2%	1,060	31.8%	383	28.0%	1,443	30.7%
	二次産業	683	37.2%	963	29.1%	1,307	32.7%	2,953	32.3%	1,157	34.7%	540	39.5%	1,697	36.1%
	三次産業	525	28.6%	1,062	32.1%	1,465	36.7%	3,052	33.4%	1,118	33.5%	444	32.5%	1,562	33.2%
平成2年	総 数	1,579		3,200		3,822		8,601		2,903		1,197		4,100	
	一次産業	501	31.7%	1,012	31.6%	1,064	27.8%	2,577	30.0%	812	28.0%	271	22.6%	1,083	26.4%
	二次産業	563	35.7%	1,101	34.4%	1,301	34.0%	2,965	34.5%	1,040	35.8%	489	40.9%	1,529	37.3%
	三次産業	515	32.6%	1,087	34.0%	1,457	38.1%	3,059	35.6%	1,051	36.2%	437	36.5%	1,488	36.3%
平成7年	総 数	1,424		3,024		3,772		8,220		2,825		1,173		3,998	
	一次産業	500	35.1%	943	31.2%	1,047	27.8%	2,490	30.3%	796	28.2%	318	27.1%	1,114	27.9%
	二次産業	438	30.8%	813	26.9%	1,106	29.3%	2,357	28.7%	910	32.2%	425	36.2%	1,335	33.4%
	三次産業	486	34.1%	1,268	41.9%	1,619	42.9%	3,373	41.0%	1,119	39.6%	430	36.7%	1,549	38.7%
平成12年	総 数	1,113		2,728		3,439		7,280		2,363		910		3,273	
	一次産業	321	28.8%	747	27.4%	760	22.1%	1,828	25.1%	494	20.9%	160	17.6%	654	20.0%
	二次産業	335	30.1%	705	25.8%	937	27.2%	1,977	27.2%	806	34.1%	313	34.4%	1,119	34.2%
	三次産業	456	41.0%	1,274	46.7%	1,742	50.7%	3,472	47.7%	1,063	45.0%	437	48.0%	1,500	45.8%
平成17年	総 数	979		2,540		3,197		6,716		1,964		837		2,801	
	一次産業	316	32.3%	699	27.5%	669	20.9%	1,684	25.1%	375	19.1%	182	21.7%	557	19.9%
	二次産業	233	23.8%	492	19.4%	718	22.5%	1,443	21.5%	560	28.5%	224	26.8%	784	28.0%
	三次産業	428	43.7%	1,340	52.8%	1,796	56.2%	3,564	53.1%	1,025	52.2%	431	51.5%	1,456	52.0%
平成22年	総 数	727		2,249		2,966		5,942		1,656		708		2,364	
	一次産業	174	23.9%	582	25.9%	644	21.7%	1,400	23.6%	233	14.1%	120	16.9%	353	14.9%
	二次産業	150	20.6%	418	18.6%	564	19.0%	1,132	19.1%	443	26.8%	180	25.4%	623	26.4%
	三次産業	401	55.2%	1,248	55.5%	1,756	59.2%	3,405	57.3%	976	58.9%	408	57.6%	1,384	58.5%
平成27年	総 数	681		2,169		2,865		5,715		1,634		662		2,296	
	一次産業	182	26.7%	517	23.8%	543	19.0%	1,242	21.7%	250	15.3%	120	18.1%	370	16.1%
	二次産業	120	17.6%	354	16.3%	514	17.9%	988	17.3%	380	23.3%	132	19.9%	512	22.3%
	三次産業	379	55.7%	1,297	59.8%	1,804	63.0%	3,480	60.9%	998	61.1%	409	61.8%	1,407	61.3%

出典：国勢調査（第2次基本集計、就業状態等基本集計）

表 3-4 江の川水系下流支川域関係市町における産業別就業者数・構成率【2/2】

年次	産業別	飯南町						江の川水系 下流支川域		島根県	
		赤来町		願原町		合計		就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)
		就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)	就業者数 (人)	構成率 (%)				
昭和60年	総 数	2,441		2,068		4,509		63,463		414,268	
	一次産業	935	38.3%	822	39.7%	1,757	39.0%	15,958	25.1%	80,479	19.4%
	二次産業	622	25.5%	509	24.6%	1,131	25.1%	20,116	31.7%	125,028	30.2%
	三次産業	884	36.2%	736	35.6%	1,620	35.9%	27,363	43.1%	208,585	50.4%
平成2年	総 数	2,196		1,938		4,134		58,415		402,557	
	一次産業	695	31.6%	647	33.4%	1,342	32.5%	12,190	20.9%	62,891	15.6%
	二次産業	654	29.8%	515	26.6%	1,169	28.3%	19,684	33.7%	126,264	31.4%
	三次産業	847	38.6%	764	39.4%	1,611	39.0%	26,518	45.4%	213,033	52.9%
平成7年	総 数	2,059		1,677		3,736		56,194		406,463	
	一次産業	621	30.2%	490	29.2%	1,111	29.7%	11,112	19.8%	55,667	13.7%
	二次産業	626	30.4%	412	24.6%	1,038	27.8%	17,812	31.7%	123,299	30.3%
	三次産業	810	39.3%	774	46.2%	1,584	42.4%	27,258	48.5%	227,066	55.9%
平成12年	総 数	1,820		1,647		3,467		50,607		389,849	
	一次産業	446	24.5%	359	21.8%	805	23.2%	7,419	14.7%	40,896	10.5%
	二次産業	499	27.4%	487	29.6%	986	28.4%	15,853	31.3%	112,631	28.9%
	三次産業	871	47.9%	796	48.3%	1,667	48.1%	27,301	53.9%	234,762	60.2%
平成17年	総 数	1,745		1,371		3,116		46,763		368,957	
	一次産業	427	24.5%	293	21.4%	720	23.1%	6,435	13.8%	37,109	10.1%
	二次産業	427	24.5%	352	25.7%	779	25.0%	12,623	27.0%	93,085	25.2%
	三次産業	881	50.5%	719	52.4%	1,600	51.3%	27,608	59.0%	236,524	64.1%
平成22年	総 数	1,576		1,192		2,768		42,356		347,889	
	一次産業	343	21.8%	245	20.6%	588	21.2%	5,123	12.1%	28,816	8.3%
	二次産業	337	21.4%	251	21.1%	588	21.2%	10,431	24.6%	81,235	23.4%
	三次産業	890	56.5%	694	58.2%	1,584	57.2%	26,613	62.8%	227,870	65.5%
平成27年	総 数	1,511		1,147		2,658		40,527		342,994	
	一次産業	351	23.2%	270	23.5%	621	23.4%	4,726	11.7%	26,608	7.8%
	二次産業	305	20.2%	216	18.8%	521	19.6%	9,433	23.3%	77,033	22.5%
	三次産業	846	56.0%	661	57.6%	1,507	56.7%	26,013	64.2%	230,774	67.3%

出典：国勢調査（第2次基本集計、就業状態等基本集計）

### 3.3 交 通

江の川水系下流支川域内の主要交通施設としては、JR 三江線が江の川沿いに通っており、流域内の重要な交通施設となっていた。しかし、JR 三江線は道路整備やマイカーシフトなどの影響により利用者が減少し、拠点間を大量に輸送する鉄道の特性を發揮できていない状況に加え、平成 18 年と平成 25 年の大規模災害により長期運休したことや、近年の頻発する自然災害によるリスクの増大も一因となり、西日本旅行鉄道株式会社は鉄道事業の廃止を決め、平成 30 年 4 月 1 日に廃線となった。

幹線道路としては、河口部の日本海沿岸を国道 9 号が通り、同国道から内陸各地域に至る主要幹線道路として国道 261 号、375 号が通っている。また、広島、島根県境とほぼ並行して中国自動車道が東西の交通動脈として整備され、広島県山県郡北広島町（中国自動車道千代田ジャンクション）から島根県浜田市に抜ける浜田自動車道も整備されている。さらに、平成 15 年 9 月には、浜田自動車道の浜田ジャンクションから江津に至る江津道路（高規格幹線道路）が供用され、江の川水系下流支川域へのアクセスが向上した。

平成 10 年には広島、島根を南北に貫く中国横断道尾道松江線的全線整備計画が決定され、平成 25 年 3 月に三次～松江間の供用が開始され、平成 27 年 3 月に広島県側の世羅～吉舎間で供用が開始されたことにより全線が開通した。

江の川水系下流支川域内では、JR 三江線の廃線により道路交通への依存が更に高まり、地域活性化のためには道路の整備がより一層重要になると考えられる。

## 4. 景観及び観光

### 4.1 景観

江の川水系下流支川域内には、清流と深い緑が織りなす溪谷的自然が見られ、すぐれた観光資源にもなっている。

#### (1) 断魚溪（だんぎょけい）

濁川によって約 4km にわたって深く侵食されたスケールの大きい溪谷で、嫁ヶ淵、連理ヶ瀑、神楽淵など見どころに富んでおり、昭和 10 年に国の名勝に指定されている。新緑の春から紅葉の秋まで楽しむことができ、キャンプ場も整備されている。（島根県環境生活部自然環境課 HP より）



図 4-1 断魚溪

写真出典：島根県環境生活部自然環境課 HP

#### (2) 蟠龍峡（ばんりゅうきょう）

角谷川の上流にあり、四方を山に囲まれた峡谷両壁の断崖がほとんど直角にそびえ立っており、そこに大小 3 つの滝が流れ淵を作っている。公園整備により絶壁の頂に登ることができ、その眺めは絶景。（島根県環境生活部自然環境課 HP より）

#### (3) 大楨谷峡谷（おおまきだにきょうこく）

江の川支流猪之谷川上流にあり、見所は魚切の滝、牛の首、仙人カガラ、そして中心は大滝や千畳淵からなる大溪谷。（『江の川なんでも辞典』より）



図 4-2 観音滝

写真出典：島根県環境生活部自然環境課 HP

#### (4) 観音滝（かんのんだき）

鹿賀谷川に懸かる高さ約 35m の大滝で、石英斑岩質安山岩の大岩壁を急流落下する様が観音像に似ているともいわれてる。断魚溪とともに「断魚溪・観音滝県立自然公園」に指定されている。（島根県環境生活部自然環境課 HP より）

#### (5) 岩瀧寺（がんりゅうじ）の滝

都治川上流の奥深い岩瀧寺谷の溪谷にある幅約 18m、延長約 121m の 4 段の滝。海岸からわずかの内陸に、このような壮大かつ秀麗な滝は他に見ることがない。（江津市 HP より）

#### (6) 三瓶山（さんべさん）

島根県の中央部、<sup>いづも</sup>出雲国と<sup>いわみ</sup>石見国の境界にそびえる火山で、『出雲国風土記』では「佐比売山（さひめやま）」と記されている。主峰は男三瓶（標高 1,126m）で、女三瓶（標高 957m）、子三瓶（標高 961m）、孫三瓶（標高 907m）などの峰からなる。国引き神話では、新羅から引いてきた土地が出雲大社や日御碕を含む山塊であり、引く時に使った綱が菌の長浜、つなぎとめた杭が三瓶山だと伝えている。



図 4-3 三瓶山

写真出典：島根県環境生活部自然環境課 HP



## 4.2 観光

主な観光地の観光客数の推移を表4-1、図4-4に示す。江の川水系下流支川域内のいずれの観光地も近年は横ばいあるいは漸減の状況である。流域内では、キャンプ場や温泉等を抱える三瓶山の観光客が突出している。

表4-1 主な観光地の観光客数の推移

市町村		主な観光地	観光客数(人)										
合併後	合併前		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
大田市	大田市	三瓶山	570,100	613,200	587,800	673,542	614,100	617,400	642,100	600,900	544,700	477,500	516,400
		三瓶観光リフト	19,804	15,854	17,358	19,285	17,514	21,013	19,570	19,673	18,142	674	25,490
		北の原キャンプ場	10,852	25,425	31,754	35,504	41,217	38,424	40,339	32,899	32,363	36,453	21,816
		三瓶自然館	146,195	131,092	123,068	158,709	127,183	108,946	119,592	115,279	95,913	93,232	72,375
		三瓶小豆原理没林公園	30,264	27,726	24,523	25,849	21,784	20,311	21,131	18,695	15,937	18,035	14,301
		三瓶温泉	104,341	106,212	99,032	108,484	105,243	126,360	125,674	117,467	107,072	39,158	84,212
		その他	258,644	306,891	292,065	325,711	301,159	302,346	315,794	296,887	275,273	289,948	298,206
川本町	川本町	ふれあい公園 笹遊里	2,863	3,171	4,399	4,766	5,084	3,107	2,210	2,518	637	827	280
		湯谷温泉 弥山荘	32,185	26,049	24,355	31,087	31,386	33,929	29,375	27,963	29,723	23,861	22,689
		音戯館	2,364	1,791	5,416	5,647	6,851	5,259	3,611	1,885	4,330	4,352	2,566
		道の駅イノベーションセンターかわもと											107,451
美郷町	邑智町	ローレル・ユートピアおおち	50,716	49,929	38,833	45,364	42,620	52,038	49,459	45,839	44,167	50,322	34,808
		カヌー博物館	5,799	4,827	6,497	2,023	1,429	1,326	1,394	1,820	1,612	1,828	1,045
		カヌーアンドキャンプ美郷 (カヌーの里おおち)	2,109	3,327	4,343	3,308	3,298	4,185	4,456	3,738	4,482	5,838	5,269
		湯抱温泉	2,662	2,049	1,129	816	942	1,318	1,019	755	598	627	524
	大和村	鴨山記念館	642	734	822	706	429	316	418	264	110	213	186
		千原温泉				6,235	5,182	5,690	7,352	6,596	5,631	6,816	4,563
		潮温泉	9,294	9,800	9,137	8,781	16,210	30,778	29,252	30,480	13,366	0	
		グリーンロード375	26,172	25,410	22,301	22,494	18,210	32,432	42,014	31,318	32,731	27,821	22,833
		江の川遊覧船	31	272									
邑南町	石見町	断魚溪	20,059	25,797	26,046	19,113	18,832	14,250	25,347	28,471	18,475	16,352	9,455
		深篠川キャンプ場	324	267	151	136	0	250	2,250	2,051	3,250	3,892	3,097
		その他	19,735	25,530	25,895	18,977	18,832	14,000	23,097	26,420	15,225	12,460	6,358
		香木の森公園	95,871	96,765	96,483	93,349	96,708	103,762	92,542	82,184	83,678	73,400	38,631
江津市	桜江町	水の国	2,587	2,171	2,043	2,209	2,248	2,398	2,449	2,116	400	0	

注)「潮温泉」は平成30年4月に閉館、令和3年3月にリニューアルオープン。「水の国」は平成30年3月に休館。  
「カヌーの里おおち」は令和3年4月より「カヌーアンドキャンプ美郷」に名称変更。

出典：島根県観光動態調査結果

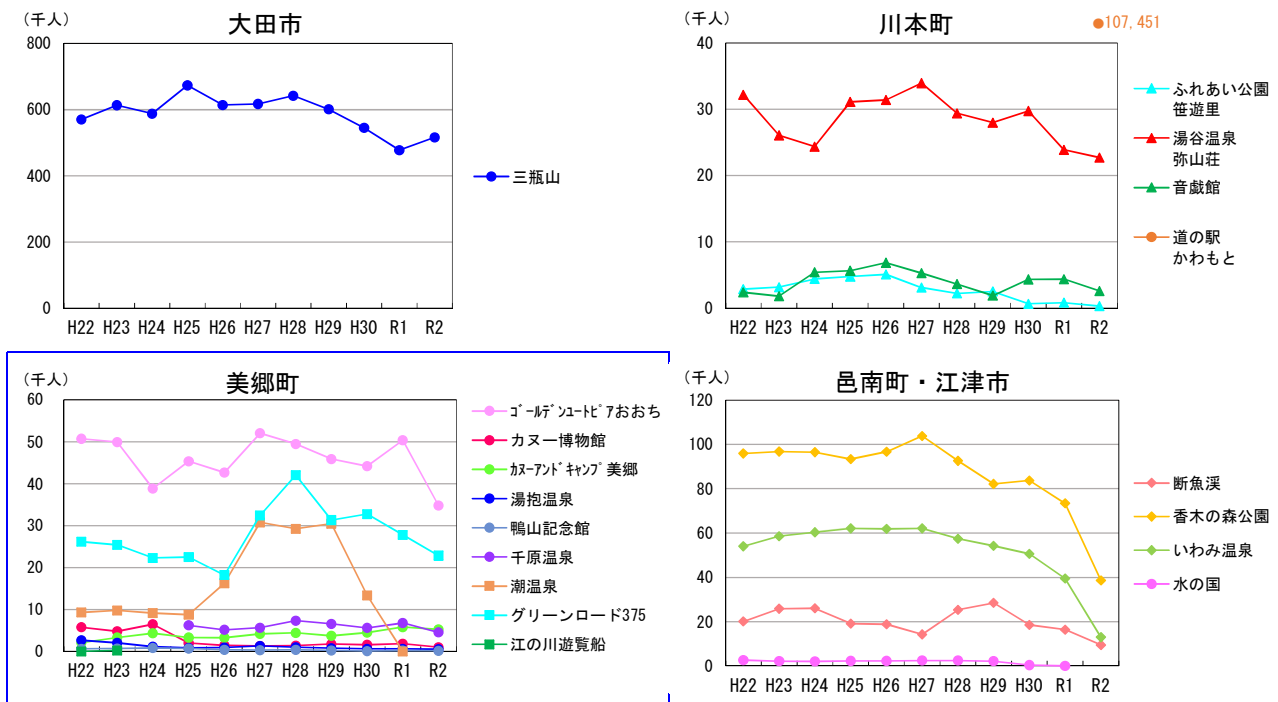


図4-4 主な観光地の観光客数の推移

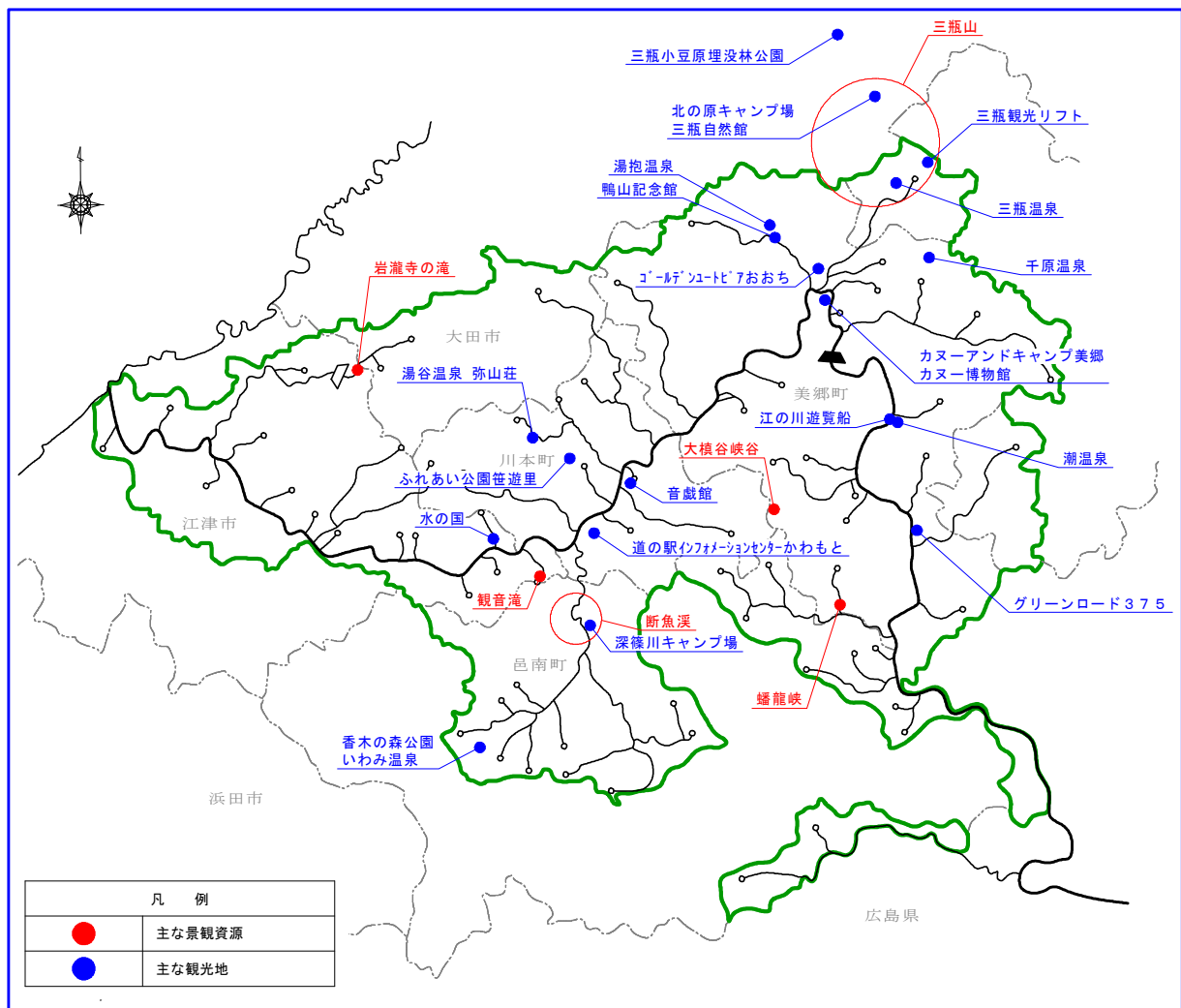


図 4-5 主な景観及び観光地位置図



図 4-6 カヌーの里おおち



図 4-7 ゴールデンユトピアおおち



図 4-8 ふれあい公園笹遊里



図 4-9 香木の森

写真出典：島根県観光写真ギャラリー

## 5. 歴史及び文化

### 5.1 歴史

江の川水系下流支川域の歴史は古く、縄文・弥生時代の遺跡も発見されている。美郷町にある沖丈遺跡では、弥生時代の配石墓をはじめ縄文時代から平安時代の遺構・遺物が検出され、邑南町にある中野仮屋銅鐸出土地では弥生時代の銅鐸2個が発見されている。

古代、律令制下では各地に国・郡・郷が置かれ、石見国には、安濃、邑智、邇摩、那賀といった郡が置かれた。現在の大田市は安濃郡、江津市は那賀郡あたりにあたる。

中世になると、各地の地頭職が勢力を伸ばして、城を築き始めた。都於郷（江津市）の都野氏が松山城、久利氏が久利城（大田市）、小笠原氏が赤城及び温湯城（川本町）、佐和氏が青杉ヶ城（美郷町）及び藤掛城（邑南町）、出羽郷の出羽氏（邑南町）といったように多くの山城が築かれた。また、大森（石見）銀山の本格的な開発は16世紀半ばであり、わが国最初の銀の精錬（灰吹法）に成功し、繁栄を極めた。銀山が開発されると、銀山に隣接するこの周辺の地域は銀山争奪戦に巻き込まれた。1531年に川本・温湯城の小笠原氏により銀山が奪われた後、1558年に尼子氏が銀山と奪うと、1560年には毛利軍の銀山総攻撃が開始され、1563年に銀山は毛利氏の支配下に入った。また、銀山の開発により、温泉津等、近在の諸港が繁栄していった。

江戸幕府の成立により、石見銀山を持つ石見の地は徳川の支配地（幕府領銀山御料）となった。また、銀山周辺の郷村は、銀山上に必要な資材の供給を義務付けられた御囲村に指定された。大森の銀は毛利時代は温泉津から海上輸送されていたが、慶長年間辺りから陸路を通っての輸送に切り替えられた。江の川は地形的特性から古来、山陰・山陽連絡の動脈となり、文化・経済交流の役割を果たしてきた。江の川の下り船には鉄・木材・薪炭・楮、上り船には米・塩・海産物などが積まれ、江津はそれらの集散地となったことから、川岸には廻船問屋・倉庫が立ち並び繁栄した。中流までは軽子船と称する独特の川舟が活躍し、上流三次（広島県）方面から浜原（美郷町）までは小型の船で輸送され、浜原で大型の船に積み替えられたことから、浜原は江川舟運の中継基地となり繁栄した。

また、中国山地一帯は良質の砂鉄の産地であり、古来邑智郡を中心とした、たたら（鈔）地帯となっていた。江津や川本でも砂鉄の採集が行われ、小規模なたたらも成立していた。江の川に臨む恵口（南川上村）は浜田藩直営のたたら所（嘉久志より移転された）として重要視されてきたが、天保初期より急速に衰微した。

近代になると、流域周辺は明治2年に大森県が置かれ、明治3年に浜田県となった。明治22年の町村制施行により村の統合が行われ、旧村は大字となって、各地に町村が成立した。

昭和28年10月公布の町村合併促進法により昭和29年に大田市、江津市、温泉津町、昭和30年に川本町、邑智町、石見町、昭和31年に桜江町、昭和32年に大和村、羽須美村、瑞穂町、赤来町が成立した。

その後、平成の大合併では、平成16年に旧江津市と桜江町が合併して江津市に、石見町と瑞穂町と羽須美村が合併して邑南町に、邑智町と大和村が合併して美郷町になった。さらに、平成17年に旧大田市と仁摩町と温泉津町が合併して大田市に、赤来町と頓原町が合併して飯南町になった。

## 5.2 文化財

江の川水系下流支川域の歴史は古いことから、江の川水系下流支川域内には数多くの文化財が見られる。また豊かな自然環境を反映し、天然記念物も点在している。

表 5-1 江の川水系下流支川域関係市町の指定文化財一覧表【1/3】

市町村	番号	指定	種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者・保持者	備考
大田市	1	国	天	S44.11.29	三瓶山自然林		三瓶町・山口町		面積123.23ha
	2	県	天	S43.6.7	本宮神社の大杉	1株	三瓶町	本宮神社	根周り約13m、樹高約43m
	3	市	絵	S52.5.18	紙本著色十二天像	1双	祖式町	円福寺	室町時代末期
	4	市	絵	S52.5.18	絹本著色雨宝童子像	1幅	祖式町	個人	室町時代末期
	5	市	彫	H29.4.20	木造観音菩薩立像	1軀	祖式町	圓福寺	奈良時代
江津市	1	重文	工	S41.6.11	樋勾威大鑑残闕	1括	桜江町坂本	甘南備寺	平安時代末期
	2	国	登録	H21.1.8	旧江津郵便局	1棟	江津市		明治中期／平成20年改修
	3	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅主屋	1棟	江津市		嘉永6年(1853)
	4	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅内蔵	1棟	江津市		明治前期
	5	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅新蔵及び料理場	1棟	江津市		明治前期・大正前期
	6	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅東蔵	1棟	江津市		明治前期
	7	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅北蔵	1棟	江津市		明治前期
	8	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅南蔵	1棟	江津市		明治前期
	9	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅表門	1棟	江津市		江戸末期
	10	国	登録	H21.1.8	藤田家住宅塀	1基	江津市		江戸末期
	11	国	登録	H21.1.8	花田医院診療所及び主屋	1棟	江津市		昭和12年
	12	国	登録	H21.1.8	花田医院門及び塀	1基	江津市		昭和前期
	13	国	登録	H21.1.8	中村家住宅主屋	1棟	江津市		明治15年／明治18年増築・昭和63年改修
	14	国	登録	H21.1.8	中村家住宅背戸蔵	1棟	江津市		江戸末期／明治前期改修
	15	国	登録	H21.1.8	中村家住宅納戸蔵	1棟	江津市		明治前期／昭和28年頃改修
	16	国	登録	H21.1.8	中村家住宅米雑蔵	1棟	江津市		江戸後期／昭和前期改修
	17	国	登録	H21.1.8	中村家住宅旧郷蔵	1棟	江津市		弘化4年(1847)／昭和中期改修
	18	国	登録	H21.1.8	中村家住宅農具庫	1棟	江津市		明治15年頃
	19	国	登録	H21.1.8	中村家住宅石垣	1基	江津市		江戸前期／江戸末期改修
	20	国	登録	H22.1.15	旧江津町役場本庁舎	1棟	江津市		大正15年／昭和41年、52年、平成19・20年改修
	21	国	登録	H22.1.15	藤田佳宏家住宅主屋	1棟	江津市		江戸末期
	22	国	登録	H22.1.15	藤田佳宏家住宅土蔵	1棟	江津市		明治中期
	23	国	登録	H22.1.15	藤田佳宏家住宅納屋	1棟	江津市		明治中期
	24	国	登録	H22.1.15	藤田佳宏家住宅表門及び土塀	1基	江津市		明治後期
	25	国	登録	H22.1.15	山下家住宅主屋	1棟	江津市		明治16年
	26	国	登録	H22.1.15	山下家住宅離れ	1棟	江津市		昭和4年
	27	国	登録	H22.1.15	山下家住宅背戸蔵	1棟	江津市		明治31年
	28	国	登録	H22.1.15	山下家住宅門蔵	1棟	江津市		天保12年
	29	国	登録	H22.1.15	山下家住宅長屋	1棟	江津市		江戸末期
	30	国	登録	H22.1.15	山下家住宅井戸小屋	1棟	江津市		昭和前期
	31	国	登録	H22.1.15	山下家住宅門及び築地塀	1棟	江津市		昭和前期
	32	国	登録	H22.1.15	山下家住宅石垣	1基	江津市		江戸後期
	33	県	彫	S52.5.4	木造阿弥佉如来立像	1軀	松川町	清泰寺	文永7年(1270)、院豪他作
	34	県	天	S36.6.13	山本の白枝垂桜	1株	川平町	個人	目通り幹周2.5m、高さ13m
	35	市	建	S56.1.17	泰雲院殿義岳良忠居士塔	1基	松川町	個人	文化4年(1807)建 いも代官頭彰碑
	36	市	絵	S55.8.21	森脇忠筆 舞妓	1面	江津町	個人	昭和13年作、初期印象派
	37	市	彫	S62.2.23	虚空蔵菩薩像	2軀	桜江町坂本	甘南備寺	治安3年(1023)、定朝作
	38	市	彫	S62.2.23	仁王像	2軀	桜江町坂本	甘南備寺	伝運慶作
	39	市	彫	S62.2.23	神変大菩薩像	1軀	桜江町坂本	甘南備寺	伝理源大師作
	40	市	工	S62.2.23	鏡	1口	桜江町坂本	甘南備寺	伝奈良時代作 インド系仏教楽器

出典：島根県教育委員会文化財課 HP、市町 HP

表 5-1 江の川水系下流支川域関係市町の指定文化財一覧表【2/3】

市町村	番号	指定	種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者・保持者	備考
江津市	41	市	書	S62. 2. 23	紙本墨書古写経	1巻	桜江町坂本	甘南備寺	南北朝以前、丸山城主寄進
	42	市	典	S54. 11. 9	俳書「雲雀塚集」	1冊	松川町	個人	文政13年(1830)、石見俳諧集
	43	市	典	S54. 11. 9	石見人名録	2冊	都治町	個人	天保2年(1831)刊行
	44	市	典	S54. 11. 9	俳書「石海集」	1冊	松川町	個人	嘉永7年(1854)刊行 石東俳句集
	45	市	典	S54. 11. 9	俳書「除元集」	1冊	松川町	個人	安永5年(1776)刊行 4巻のうち第2巻
	46	市	典	S54. 11. 9	俳書「百千鳥」	1冊	渡津町	個人	文政7年(1824)刊行 宮脇石山祝い句集
	47	市	典	S54. 11. 9	紀行文「窟まうで」	1冊	渡津町	個人	嘉永2年(1849) 浅利～出羽村紀行文
	48	市	古	S62. 2. 23	古文書	4通	桜江町坂本	甘南備寺	中世小笠原氏、源氏寄進状
	49	市	歴	S51. 4. 1	石見人名録 版木	101丁	松川町	個人	石見地方での出版の先駆け
	50	市	歴	H1. 4. 20	勝藤人句碑	1基	波積町	個人	「なにくうて見ても味よし山桜」
	51	市	歴	H1. 4. 20	勝藤人夫妻墓碑	1基	波積町	個人	18世紀 江津俳句界の中心人物
	52	市	無民	S51. 4. 1	江津船謠		江津町	江津船謠保存会	正徳3年(1713)奉納 江津祇園宮
	53	市	史	S62. 2. 23	甘南備寺山	1所	桜江町坂本	川本営林署	万葉以来歌に詠まれてきた渡りの山
	54	市	名	S50. 12. 1	岩瀧寺の滝	1所	波積町	岩瀧寺	121mの豪快な瀑滝
	55	市	天	S50. 12. 1	岩瀧寺の自然林	1所	波積町	岩瀧寺	滝の影響を受けた貴重な植生
	56	市	天	S55. 7. 14	高倉山八幡宮の境内林	1所	波積町	高倉山八幡宮	希少種を含む荘厳な林
	57	市	天	H3. 4. 10	福城寺のスギ・カヤ	1所	波積町	福城寺	低湿度でも育った貴重な巨杉
	58	市	天	H7. 2. 10	大倉のムクノキ	1本	桜江町谷住郷	個人	節分の祝い木とされていた巨木
川本町	1	県	建	H2. 5. 23	木谷石塔 附・埋納甕及び甕内遺物一括 ・石塔収納孔中遺物一括 ・石造供物台1基	1基	川下	木谷組中	延文3年(1352)在銘 石造九重塔
	2	県	史	H28. 4. 12	丸山城跡	1所	三原、田窪	川本町	小笠原氏の居城
	3	町	建	S54. 5. 30	谷戸経塚	1基	谷戸	個人	文政2年(1819)造営
	4	町	建	H2. 1. 8	鶴池山正蓮寺の楼門	1棟	南佐木	正蓮寺	寛政4年(1751)建
	5	町	建	H6. 4. 1	鶴池山正蓮寺の経堂	1棟	南佐木	個人	廻り経堂(三間四方) 仏像3体
	6	町	古	H1. 3. 30	全長寺文書	16通	川本	全長寺	吉川元春滅状など
	7	町	古	H1. 3. 30	坂原家文書	176通	川本	川本町	年貢割附書85通 年貢皆済目録91通他
	8	町	天	H17. 5. 10	イズモコバイモ	921平米	谷戸	島根県他	県固有植物の自生地 県絶滅危惧種
美郷町	1	県	天	H25. 4. 9	花の谷のサクラ	1株	美郷町	個人	胸高幹周り5.56m、樹高12.6m
	2	県	天	H25. 4. 9	酒谷のオロチカツラ	1株	美郷町	個人	胸高幹周り9.85m、樹高19.2m
	3	県	天	H25. 4. 9	学舎のイロハモミジ	1株	美郷町	美郷町	胸高幹周り3.1m、樹高10m
	4	町	絵	S52. 11. 30	絹本着色霊峰富士乃図 絹本着色晩秋乃群鹿図	1幅 1幅	潮村	個人	中原芳煙筆
	5	町	彫	H14. 12. 26	尾原家の欄間と明かり障子	8面	粕淵	美郷町	室町時代
	6	町	彫	H16. 9. 1	木彫狛犬	1対	宮内	田立建理根命神社	永和3年在銘
	7	町	工	H14. 12. 26	鱈口	1口	信喜	多聞寺(毘沙門堂)	備中洲新見莊熊野権現鐘也應 安六年歳次癸丑五月初八日願 主親久光の銘あり
	8	町	無民	S51. 6. 26	大和神楽(神迎・鐘馗の舞)		都賀本郷	大和神楽団	
	9	町	無民	H16. 9. 1	都賀西神楽「山伏」		都賀西	都賀西神楽保存会	
	10	町	無民	H16. 9. 1	都神楽「天の岩戸」		都賀行	都神楽団	
	11	町	史	H14. 12. 26	沖丈遺跡	1所	乙原	島根県	約2000m <sup>2</sup>
	12	町	天	S51. 6. 26	田立建理根命神社榎ノ木	1株	宮内	田立建理根命神社	推定樹齢600年 胸高回5.0m、根回7.9m
	13	町	天	H14. 12. 26	別府八幡宮の大スギ	1株	別府	別府八幡宮	推定樹齢400年 胸高回6.2m、根回30m
	14	町	天	H25. 2. 4	シダレザクラ	1株	九日市	美郷町	推定樹齢120年 胸高周囲2.5m、樹高約15m

出典：島根県教育委員会文化財課 HP、市町 HP

表 5-1 江の川水系下流支川域関係市町の指定文化財一覧表【3/3】

市町村	番号	指定	種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者・保持者	備考
邑南町	1	国	名	S10.12.24	断魚溪		井原・中野	個人(管理:邑南町)	魚切地形の溪谷
	2	国	登録	H19.12.5	稲積家住宅主屋	1棟	井原		江戸末期/明治43年改修
	3	国	登録	H19.12.5	稲積家住宅背戸の蔵	1棟	井原		江戸末期
	4	国	登録	H19.12.5	稲積家住宅下の蔵	1棟	井原		江戸末期
	5	国	登録	H19.12.5	稲積家住宅門	1棟	井原		昭和5年
	6	県	有民	S42.5.30	獅子頭 附面4面	1頭	矢上	諏訪神社	寛永16年(1639)在銘
	7	県	無民	S42.5.30	鹿子原の虫送り踊		矢上	鹿子原の虫送り踊保存会	鹿子原 美徳神社7月20日
	8	県	史	S45.10.27	割田古墳		中野	個人	7世紀後半の円墳
	9	県	天	S44.5.23	諏訪神社参道杉並木	16株	矢上	諏訪神社	H18・H22一部解除
	10	町	建	H1.3.28	西蓮寺楼門	1棟	阿須那	西蓮寺	嘉永元年(1848)建
	11	町	建	H1.3.28	西蓮寺輪蔵	1棟	阿須那	西蓮寺	経蔵は寛政3年(1750)建 輪蔵は明和3年(1766)建
	12	町	彫	S62.11.18	木造大日如来坐像	1軀	中野	西隆寺	安土桃山期、像高91cm
	13	町	彫	S62.11.18	木造釈迦如来立像	1軀	井原	天蔵寺	鎌倉時代、像高172cm
	14	町	史	H3.9.4	仮屋銅鐸出土地	1所	中野	個人	大正3年(1914)銅鐸2口出土
	15	町	史	H3.9.4	智河原鉦跡	1所	矢上	個人	近世、智河原鉦山内図
	16	町	史	H16.8.24	二ツ山城跡	1所	鱒淵	邑南町	県下最大級の山城。文献等により城主も明らかであり、中世の陰陽地方の歴史を考える上で貴重。
	17	町	史	H26.10.29	久喜製錬所遺跡群	1所	久喜	個人	明治30年代に堀家が経営した含銀鉛製錬工場跡。
	18	町	史	H28.5.19	久喜床屋製錬遺跡	1所	久喜	法人	江戸時代前期の含銀鉛製錬に関わる遺構群として貴重。
	19	町	天	S58.10.1	キャラボク	1株	鱒淵	個人	幹周40cm、樹高4.38m
	20	町	天	H2.8.1	オヤニラミ		瑞穂地区内各河川		日本産淡水魚唯一のスズキ科魚類
	21	町	天	H1.3.28	西蓮寺の多羅葉	1株	阿須那	西蓮寺	胸高幹周307cm、樹高20m他
	22	町	天	H16.3.31	宇都井・服部の桜	1株	宇都井	個人	江戸彼岸の巨木 根回り411cm、胸高幹周312cm、樹高約15m。推定樹齢300年
飯南町	1	町	古	H3.7.10	越道難波家文書	15通	塩谷	個人	
	2	町	天	H6.3.1	塩谷のカツラ	1株	塩谷	個人	
地域を定めず	1	国	特天	S27.3.29	オオサンショウウオ				世界最大級の有尾両生類
	2	国	特天	S27.3.29	トキ				東亜特産の著名なる鳥
	3	国	特天	S31.7.19	コウノトリ				わが国の代表的な大型鳥類
県下全域	1	重無民	無民	S54.2.3	大元神楽		邑智郡地域一帯	邑智郡大元神楽伝承保存会	江津市桜江町・浜田市旭町・川本町・美郷町・邑南町
	2	国	天	S26.6.9	黒柏鷄				長尾鷄の一種
	3	国	天	S45.1.23	オジロワシ				大型のワシ、冬季に渡来
	4	国	天	S46.5.19	カラスバト				大型のハト、日本列島準特産種
	5	国	天	S46.6.28	ヒシクイ				ガン類
	6	国	天	S46.6.28	マガン				ガン類
	7	国	天	S50.6.26	ヤマネ				リスに似たヤマネ科のほ乳動物
	8	県	天	S57.6.18	いづもナンキン				ランチュウ系統の品種

出典：島根県教育委員会文化財課 HP、市町 HP

凡 例		
指定	国	(国宝) 重要文化財のうち特に価値の高いもの (重文) 重要文化財 (重無) 重要無形文化財 (重有民) 重要有形民俗文化財 (重無民) 重要無形民俗文化財 (国) 国指定の記念物、その他
	県	県指定の文化財
	市	市指定の文化財
	町	町指定の文化財
種別	有形文化財	(建) 建物 (絵) 絵画 (彫) 彫刻 (工) 工芸品 (書) 書跡 (典) 典籍 (古) 古文書 (考) 考古資料 (歴) 歴史資料
	無形文化財	(芸) 芸能 (工技) 工芸技術
	民俗文化財	(有民) 有形民俗文化財 (無民) 無形民俗文化財
	記念物	(史) 史跡 (名) 名勝 (天) 天然記念物 (史名) 史跡及び名勝 (名天) 名勝及び天然記念物 (天名) 天然記念物及び名勝 (特天) 特別天然記念物
	その他	(伝建) 伝統的建造物群保存地区 (登録) 登録有形文化財 (登記) 登録記念物

## 5.3 伝統芸能

### (1) 石見神楽

石見神楽は、島根県石見地方に古くから伝わる伝統芸能であり、日本神話（古事記・日本書紀）をもとにしたお話に迫力ある舞やお囃子が特徴である。江の川水系下流支川域内にも神楽の社中が多数あり、お祭りやイベントなど県内外で上演を行っている。

美郷町都賀本郷の松尾山八幡宮の例大祭では、「伝統芸能と光の祭典」として数千本の竹灯籠の光の中で神楽が奉納される。（川本町 HP、美郷町観光協会 HP より）

なお令和元年には、江津市、川本町、美郷町、邑南町を含む石見 9 市町を舞台とするストーリー「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」が日本遺産に認定された。

### (2) 大元神楽

大元神楽は古くから島根県の西部に広くあった大元信仰に由来し、石見神楽の原型とされている。一種の農耕神的なものとして村々に祀られる集落の神「大元神」を祀って行う式年神楽（ところにより 4 年、5 年、7 年に一度）で、大元神楽特有の演目や石見神楽と同様な演目があり、ゆったりとした六調子で舞う。氏子の舞だけではなく、神社の神職によって舞われる神事舞が受け継がれており、この中でも「託舞」と呼ばれる神がかり託宣の古儀を伝承されていることが一般の神楽に見られない大きな特徴である。（江津市観光協会 HP より）

大元神楽を継承する江津市桜江町、浜田市旭町、川本町、美郷町、邑南町の社中により「邑智郡大元神楽伝承保存会」が結成され、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

### (3) 田植えばやし

都治川沿川の江津市波積町では、二百二十年余の伝統のある小笠原元重流「囃子田植」（通称「田植えばやし」）という伝統の民族芸能が継承されており、昭和 59 年からは、地元の中学生在が郷土芸能の理解と技法の習得のために参加している。

そのほか、江の川水系下流支川域では、江津市川平町の「川平町花田植え」、川本町の「三原田植えばやし」、美郷町の「別府花田植え」、邑南町の「井原田植えばやし」、「矢上田植えばやし（半夏祭り）」など、各地で伝統の田植えばやしが継承されている。



図 5-1 波積田植えばやし

### (4) 江川太鼓

昭和 47 年 7 月の豪雨による被害で川本町全体が暗く沈んでいるなか、太鼓の勇壮な響きに川本町の復興を託し作られたのが「江川太鼓」で、現在では川本町を代表する芸能団体となっている。町内外での公演活動や地元小・中・高校生へのワークショップを行い、近年は海外公演活動を実施するなど、和太鼓活動の魅力向上につながる取組みを実施している。

（川本町 HP より）

## 6. 土地利用

江の川水系下流支川域は、森林地域が大部分を占め、農業地域は河川沿いの平地を中心にわずかに広がる程度である。

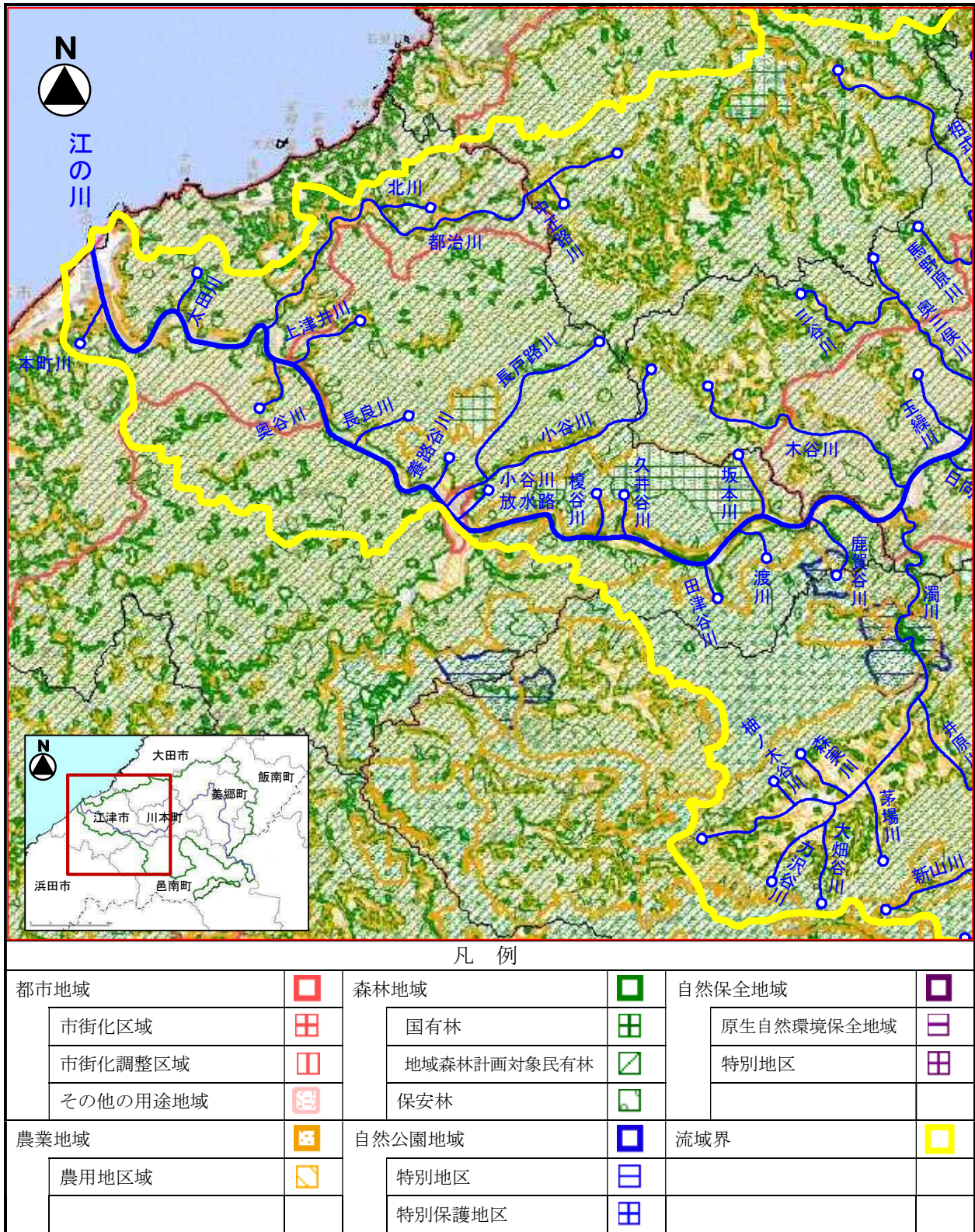
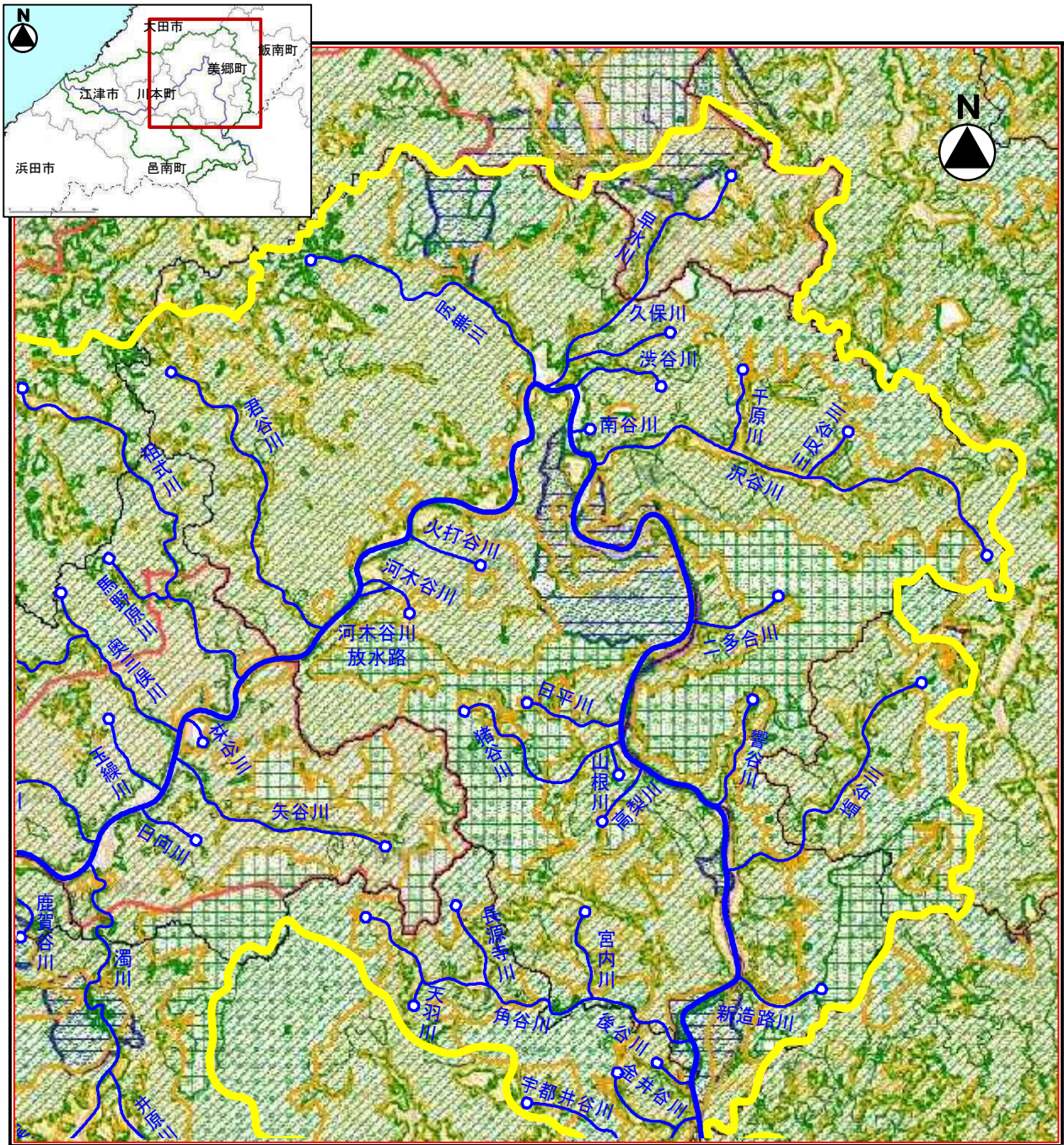


図 6-1 土地利用計画図【1/3】

出典：土地利用調整総合支援ネットワークシステム（国土交通省）



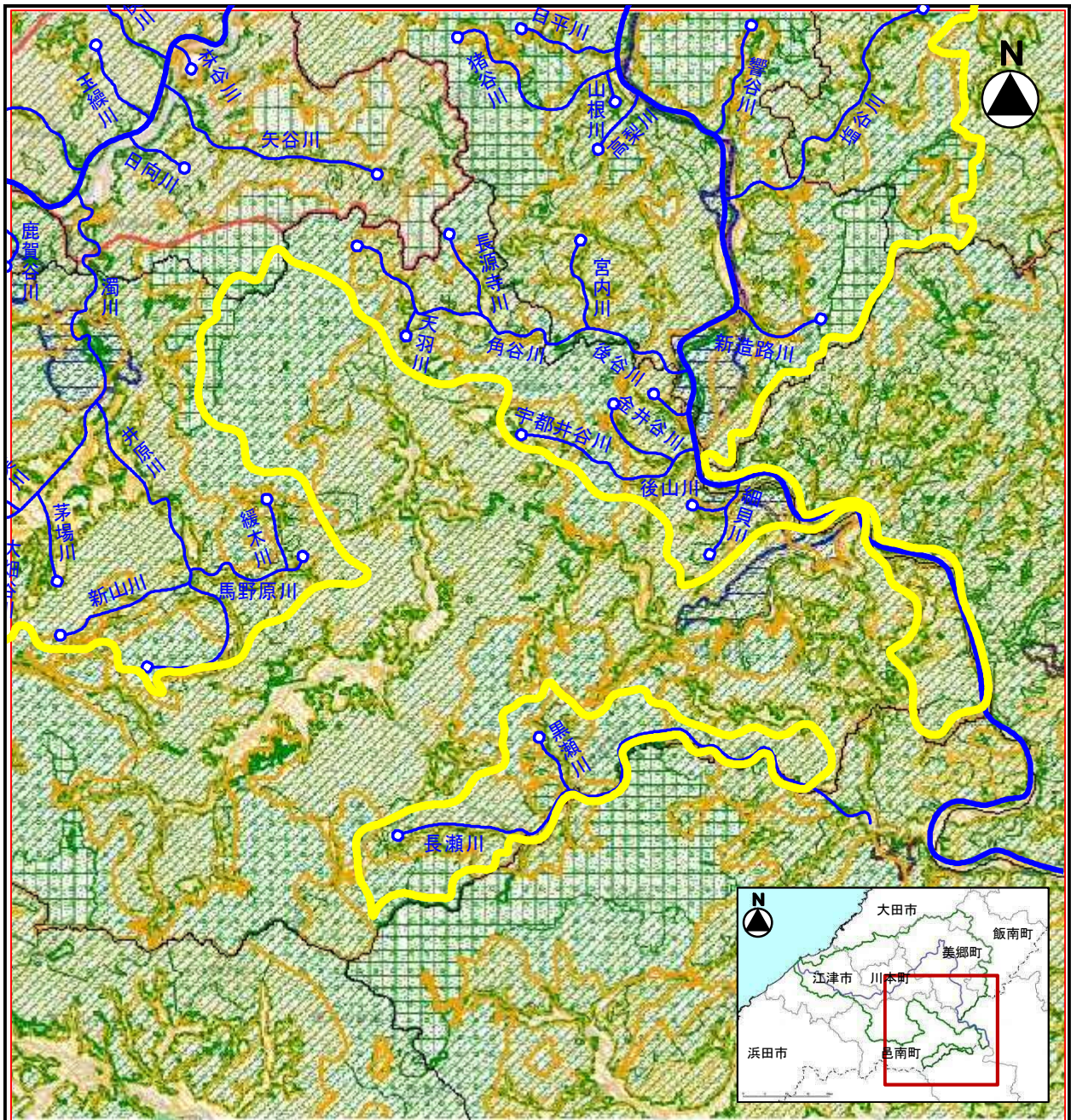


凡例

都市地域		森林地域		自然保全地域	
市街化区域		国有林		原生自然環境保全地域	
市街化調整区域		地域森林計画対象民有林		特別地区	
その他の用途地域		保安林			
農業地域		自然公園地域		流域界	
農用地区域		特別地区			
		特別保護地区			

図 6-1 土地利用計画図【2/3】

出典：土地利用調整総合支援ネットワークシステム（国土交通省）



凡 例

都市地域		森林地域		自然保全地域	
市街化区域		国有林		原生自然環境保全地域	
市街化調整区域		地域森林計画対象民有林		特別地区	
その他の用途地域		保安林			
農業地域		自然公園地域		流域界	
農用地区域		特別地区			
		特別保護地区			

図 6-1 土地利用計画図【3/3】

出典：土地利用調整総合支援ネットワークシステム（国土交通省）

## 7. 治水の概要

### 7.1 主な水害

江の川水系下流支川域における各河川では、過去度重なる洪水に見舞われている。

昭和 46 年 7 月、昭和 47 年 7 月の大出水では江の川本川沿いをはじめ、支川域の多くの河川で、梅雨前線及び台風により、家屋、農地の浸水被害が発生した。中でも都治川では昭和 46 年 7 月に家屋全半壊 19 棟、浸水約 100 棟、小谷川では昭和 47 年 7 月に家屋浸水約 200 棟の多大な被害が発生した。

その後、昭和 58 年 7 月の豪雨でも都治川、奥谷川、長良川、榎谷川、久井谷川、田津谷川、濁川、矢谷川、角谷川や宇都井谷川等、江の川水系下流支川域の広範囲で浸水被害や人的被害などが発生した。また、昭和 60 年 7 月には都治川、長良川、矢谷川等で家屋浸水などの被害が発生した。

平成に入ると、平成 7 年 7 月や平成 11 年 6～7 月の豪雨により家屋浸水被害が発生し、平成 18 年 7 月には本町川、都治川、奥谷川、榎谷川、矢谷川等をはじめ再び下流支川域の広範囲で被害が発生した。

さらに、平成 30 年 7 月には台風及び西日本に活発な梅雨前線が停滞した影響により、昭和 47 年 7 月豪雨以来の記録的な大雨となった。特に、江の川上流の広島県側で降水量が多かったことから、下流に位置する島根県では江の川本川の水位が上昇し、川平水位観測所、川本水位観測所、大津水位観測所などすべての地点で氾濫危険水位を大きく超過した。この江の川本川の水位上昇により、多くの支川で背水（バックウォーター）現象や逆流が生じ、江の川水系下流域全体で 300 棟を超す家屋等の浸水被害が発生した。

続く令和 2 年 7 月にも梅雨前線の通過に伴い広島県北部や島根県石見地方を中心に大雨が降り、江の川沿川や支川の本川合流点付近に位置する集落を中心に再び浸水被害が発生した。翌令和 3 年 8 月には台風につき西日本に前線が停滞し、広い範囲で再び記録的な大雨に見舞われたことから、広島県側の上流域も含む江の川流域全域で浸水被害が多発した。

このように、江の川水系下流支川域では、前線や台風による豪雨で、多くの家屋浸水等の被害が発生していることが分かる。特に、近年は豪雨が多発しており、都治川、奥谷川、長良川、榎谷川、久井谷川、田津谷川、矢谷川等では、短期間に度重なる洪水被害に見舞われている。

表 7-1 主な既往洪水の概要【1/3】

洪水年月日	気象原因	洪水期間最大日雨量 (mm) (下段：最大1時間雨量)						下流支川域 洪水被害 発生河川数	主な被害
		江津	福光	桜江	川本	瑞穂	赤名		
昭和46年6月2日 ～7月27日	梅雨前線豪雨 及び台風13号	157.0 (55.0)	150.0	160.0 (58.0)	150.0 (39.0)	130.0 (73.0)	119.0 (30.5)	57河川	・尻無川、江の川：床下 34棟、床上 4棟、全壊流出 1棟 宅地他 10ha、農地 138ha ・濁川：床下 130棟、床上 5棟、全壊流出 2棟、農地 268ha ・都治川：家屋 102棟、全半壊 19棟 ・他 矢谷川、奥谷川、長良川、榎谷川、久井谷川、田津谷川、 小谷川、河木谷川、角谷川等にて公共土木施設被害
昭和47年6月6日 ～7月23日	継続した豪雨 並びに 台風6,7,9号	277.0 (28.0)	228.0	欠測	182.0 (23.0)	196.0 (34.0)	162.0 (29.0)	47河川	・川本町：死者 1名、重傷 2名、軽傷 13名 ・羽須美村：重傷 1名、軽傷 5名 ・石見町：死者 2名 ・桜江町：重傷 1名、軽傷 1名 ・江津市：行方不明 1名、軽傷 4名 ・大田市：軽傷 1名 ・都治川、江の川：床下 1,021棟、床上 1,845棟、全壊流出 157棟 宅地他 22ha、農地 272ha ・濁川、井原川：床下 38棟、床上 10棟 宅地他 14.3ha、農地 1.2ha ・川本町8河川：床下 21棟、床上 1,067棟、全壊流出 208棟 宅地他 190ha、農地 147ha ・小谷川：床下 5棟、床上 173棟、全壊 5棟、半壊 25棟、 ・他 矢谷川、奥谷川、長良川、榎谷川、塩谷川等にて公共土木施設被害
昭和49年8月17日 ～9月10日	台風14,16, 18号	82.0 (11.0)	97.0	99.0 (11.5)	105.0 (10.0)	125.0 (11.0)	113.0 (13.0)	29河川	・君谷川：宅地他 2.0ha、農地 5.0ha ・沢谷川：宅地他 2.0ha、農地 18.0ha ・尻無川：宅地他 2.0ha、農地 7.0ha ・他 都治川、田津谷川、濁川、祖式川、後谷川等にて公共土木施設被害
昭和50年6月3日 ～7月18日	豪雨	109.0 (39.5)	141.0	91.0 (30.5)	125.0 (40.0)	43.0 (37.5)	112.0 (37.0)	42河川	・沢谷川流域：床下 13棟、床上 1棟 宅地他 233.9ha、農地 36.1ha ・渋谷川：宅地他 27.5ha、農地 5.0ha ・尻無川流域：床下 18棟、半壊 1棟、全壊流出 2棟 宅地他 114.6ha、農地 35.4ha ・君谷川流域：床下 1棟、宅地他 37.6ha、農地 17.4ha ・早水川流域：宅地他 45.3ha、農地 12.2ha ・都治川流域：農地 3.9ha ・他 奥谷川、長良川、榎谷川、矢谷川、塩谷川、高梨川、日平川等 にて公共土木施設被害
昭和50年8月5日 ～8月25日	豪雨及び 暴風雨					137		33河川	・邑智町：死者 1名、重傷 1名 ・君谷川：宅地他 10.0ha、農地 10.0ha ・沢谷川流域：床下 28棟、床上 5棟、全壊流出 4棟 宅地他 305.1ha、農地 39.9ha ・渋谷川：床下 4棟、宅地他 27.5ha、農地 5.0ha ・尻無川流域：床下 37棟、床上 1棟 宅地他 90.0ha、農地 15.0ha ・早水川流域：床下 3棟、床上 1棟、全壊流出 2棟 宅地他 80.5ha、農地 17.0ha ・他 矢谷川、久井谷川、榎谷川、田津谷川等にて公共土木施設被害
昭和52年8月4日 ～8月22日	豪雨	135.0 (-)	127.0	97.0 (45.0)	91.0 (45.0)	60.0 (37.0)	87.0	18河川	・尻無川：農地 0.5ha ・他 都治川、濁川、祖式川、塩谷川等にて公共土木施設被害
昭和54年6月13日 ～8月8日	豪雨	—	71.0 (20.0)	93.0 (16.0)	82.0 (20.0)	64.0 (22.0)	69.0 (28.0)	24河川	・君谷川：農地 2.1ha ・沢谷川：農地 0.8ha ・河木谷川：農地 1.1ha ・他 都治川、矢谷川、長良川、田津谷川等にて公共土木施設被害
昭和55年8月14日 ～9月5日	豪雨	—	59.0 (17.0)	99.0 (25.0)	99.0 (27.0)	88.0 (29.0)	88.0 (24.0)	32河川	・桜江町：重傷 1名 ・君谷川：宅地他 0.4ha、農地 2.5ha ・河木谷川：床下 8棟、床上 1棟、宅地他 0.7ha、農地 5.5ha ・沢谷川：宅地他 0.1ha、農地 1.9ha ・後谷川：床下 2棟、宅地他 0.1ha ・渋谷川：農地 0.1ha ・早水川：農地 2.0ha ・他 都治川、矢谷川、榎谷川、久井谷川等にて公共土木施設被害
昭和58年5月24日 ～7月28日	豪雨	—	123.0 (30.0)	276.0 (68.0)	241.0 (56.0)	252.0 (45.0)	143.0 (42.0)	60河川	・川本町：死者 3名、軽傷 1名 ・大和村：重傷 2名、軽傷 3名 ・羽須美村：軽傷 1名 ・瑞穂町：死者 2名、重傷 1名 ・桜江町：死者 1名、行方不明 3名、重傷 4名、軽傷 5名 ・江津市：死者 1名、軽傷 4名 ・宇津井谷川：床下 17棟、床上 1棟、半壊 2棟、全壊流出 1棟 宅地他 0.3ha、農地 5.2ha ・角谷川：床下 17棟、床上 1棟、半壊 5棟 宅地他 0.6ha、農地 14.8ha ・濁川：床下 121棟、床上 31棟、半壊 11棟、全壊流出 9棟 宅地他 16.7ha、農地 59ha ・都治川：床下 13棟、床上 1棟、半壊 1棟、全壊流出 1棟 宅地他 25.7ha、農地 47.9ha ・北川：床下 3棟、床上 1棟、宅地他 4.1ha、農地 6.9ha ・小谷川：床下 3棟、床上 1棟、宅地他 4.1ha、農地 6.9ha ・茅場川：床下 3棟、床上 1棟、半壊 4棟、全壊流出 1棟 宅地他 0.4ha、農地 4.5ha ・塩谷川：床下 5棟、床上 1棟、半壊 1棟、全壊流出 1棟 宅地他 2.3ha、農地 9.5ha ・新造路川：床下 6棟、全壊流出 1棟、宅地他 1.0ha、農地 1.0ha ・日平川：床下 3棟、床上 1棟、宅地他 0.5ha、農地 1.0ha ・宮内川：床下 1棟、宅地他 1.0ha ・森実川：床下 8棟、床上 7棟、宅地他 0.8ha、農地 4.0ha ・井原川：床下 59棟、床上 10棟、半壊 5棟、全壊流出 1棟 宅地他 5.1ha、農地 16.3ha

表 7-1 主な既往洪水の概要【2/3】

洪水年月日	気象原因	洪水期間最大日雨量 (mm) (下段：最大1時間雨量)						下流支川域 洪水被害 発生河川数	主な被害
		江津	福光	桜江	川本	瑞穂	赤名		
昭和58年5月24日 ～7月28日 (続き)									<ul style="list-style-type: none"> <li>後谷川：床下1棟、半壊4棟、宅地他0.1ha、農地1.3ha</li> <li>後山川：床下4棟、床上2棟、宅地他0.1ha、農地1.4ha</li> <li>大畑谷川：床下8棟、床上2棟、宅地他0.4ha、農地8.8ha</li> <li>金井谷川：床下1棟、半壊4棟、宅地他0.1ha、農地5.8ha</li> <li>木谷川：床下4棟、床上1棟、宅地他0.9ha、農地6.5ha</li> <li>鹿賀谷川：床下22棟、床上5棟、宅地他29.9ha、農地46.2ha</li> <li>祖式川：床上5棟、宅地他4.4ha、農地10.0ha</li> <li>高梨川：床下9棟、床上8棟、半壊1棟 宅地他1.0ha、農地0.2ha</li> <li>玉繰川：床下1棟、宅地他0.1ha、農地2.4ha</li> <li>長源寺川：床下5棟、床上1棟、宅地他0.5ha、農地1.7ha</li> <li>日向川：全壊流出1棟、宅地他2.0ha、農地0.5ha</li> <li>響谷川：床下4棟、宅地他1.0ha、農地2.0ha</li> <li>二多合川：床下4棟、宅地他0.5ha、農地1.0ha</li> <li>細貝川：床下2棟、宅地他0.1ha、農地0.5ha</li> <li>馬野原川：床下14棟、床上1棟、半壊2棟、全壊流出1棟 宅地他0.2ha、農地6.4ha</li> <li>三谷川：床上16棟、宅地他10.0ha、農地10.0ha</li> <li>矢谷川：床下37棟、床上45棟、半壊1棟、全壊流出2棟 宅地他6.1ha、農地13.2ha</li> <li>袖ノ木谷川：床下8棟、床上1棟、宅地他0.4ha、農地2.7ha</li> <li>力沢谷川：床下6棟、床上2棟、宅地他0.4ha、農地6.7ha</li> <li>奥谷川：床下1棟、宅地他0.1ha、農地0.5ha</li> <li>他 長良川、榎谷川、久井谷川、田津谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
昭和60年5月27日 ～7月24日	豪雨及び 台風8号	—	105.0 (36.0)	132.0 (34.0)	136.0 (52.0)	139.0 (29.0)	125.0 (44.0)	39河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>木谷川：農地0.9ha</li> <li>三谷川：床下5棟、宅地他0.1ha、農地0.3ha</li> <li>矢谷川：農地1.5ha</li> <li>都治川：床下32棟、床上3棟、宅地他0.3ha、農地32ha</li> <li>長良川：床下1棟、宅地7.4ha</li> <li>井原川：農地0.9ha</li> <li>祖式川：農地2.6ha</li> <li>日向川：農地0.1ha</li> <li>袖ノ木谷川：農地2.2ha</li> <li>力沢谷川：農地3.9ha</li> <li>他 田津谷川、上津井川、尻無川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
昭和61年5月13日 ～7月24日	豪雨	—	86.0 (42.0)	87.0 (22.0)	100.0 (35.0)	67.0 (17.0)	99.0 (24.0)	9河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>君谷川：農地2.0ha</li> <li>千原川：床下2棟、宅地他0.04ha</li> <li>尻無川：床下1棟、床上1棟 宅地他0.1ha、農地3.5ha</li> <li>久保川：床下2棟、宅地他0.03ha、農地2.0ha</li> <li>他 矢谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
昭和63年6月7日 ～7月29日	豪雨(梅雨)	—	177.0 (30.0)	276.0 (55.0)	138.0 (46.0)	136.0 (28.0)	76.0 (30.0)	17河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>都治川：農地23.7ha</li> <li>本町川：床下54棟、床上1棟、宅地他1.8ha</li> <li>北川：床下1棟、床上1棟 宅地他0.09ha、農地5.0ha</li> <li>尻無川：床下1棟、宅地他0.01ha</li> <li>奥谷川：床下4棟、宅地他0.04ha、農地2.6ha</li> <li>他 小谷川、沢谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成元年8月24日 ～8月29日	豪雨、 台風17号	—	44.0 (18.0)	53.0 (8.0)	69.0 (10.0)	64.0 (8.0)	66.0 (10.0)	10河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>都治川、上津井川、小谷川、君谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成5年5月21日 ～8月12日	豪雨、 台風4～7号	—	110.0 (31.0)	102.0 (21.0)	105.0 (22.0)	148.0 (28.0)	105.0 (18.0)	9河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>小谷川、都治川、上津井川、君谷川、河木谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成7年6月29日 ～7月23日	梅雨	—	119.0 (34.0)	104.0 (15.0)	99.0 (22.0)	103.0 (21.0)	101.0 (20.0)	9河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>奥谷川：床下2棟、宅地他1,390㎡</li> <li>都治川、小谷川、尻無川、上津井川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成9年7月2日 ～7月18日	梅雨前線豪雨	—	82.0 (27.0)	72.0 (21.0)	75.0 (23.0)	68.0 (21.0)	90.0 (24.0)	(1河川)	<ul style="list-style-type: none"> <li>江の川(桜江町)：農地164,000㎡</li> </ul>
平成9年8月3日 ～8月13日	豪雨及び 台風11号	—	110.0 (42.0)	96.0 (33.0)	92.0 (29.0)	111.0 (45.0)	107.0 (30.0)	(1河川)	<ul style="list-style-type: none"> <li>江の川(桜江町)：農地226,000㎡</li> </ul>
平成10年10月13日 ～10月16日	豪雨及び 台風10号	—	18.0 (7.0)	16.0 (6.0)	19.0 (3.0)	16.0 (2.0)	15.0 (3.0)	3河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>江の川(桜江町)：床下4棟、宅地その他365㎡、農地852,000㎡</li> <li>他 矢谷川、君谷川、上津井川にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成11年6月22日 ～7月4日	梅雨前線豪雨	—	130.0 (19.0)	127.0 (23.0)	169.0 (29.0)	169.0 (33.0)	135.0 (33.0)	4河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>江の川(江津市・川本町・大和村・桜江町)： 床下66棟、床上24棟 宅地その他8,495㎡、農地84,375,900㎡</li> </ul>
平成16年7月29日 ～8月3日	台風10号 及び豪雨	—	131.0 (45.0)	54.0 (24.0)	51.0 (14.0)	61.0 (16.0)	57.0 (9.0)	4河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>都治川、上津井川等にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成16年10月8日 ～10月12日	台風22号 及び豪雨	—	80.0 (18.0)	92.0 (14.0)	75.0 (12.0)	84.0 (12.0)	21.0 (5.0)		
平成16年10月18日 ～10月22日	台風23号	—	93.0 (12.0)	119.0 (14.0)	91.0 (9.0)	112.0 (13.0)	71.0 (8.0)	2河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>祖式川、木谷川にて公共土木施設被害</li> </ul>
平成18年6月30日 ～7月25日	梅雨前線豪雨	—	148.0 (49.0)	136.0 (46.0)	170.0 (42.0)	92.0 (62.0)	194.0 (48.0)	41河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>美郷町：死者1名、軽傷1名</li> <li>都治川：床下2棟、床上1棟 宅地他6,600㎡、農地295,800㎡</li> <li>井原川(都治川支川)：床下2棟、宅地その他200㎡</li> <li>本町川：床下20棟、床上1棟、宅地他4,200㎡</li> <li>奥谷川：床下11棟、宅地他5,000㎡、農地137,000㎡</li> <li>江の川(江津市)：床下6棟、床上11棟、 宅地他28,800㎡、農地137,000㎡</li> <li>10号都市下水路(江津市)：床下6棟、宅地他3,400㎡</li> <li>天王寺川・仏谷川(川本町)：床下2棟、床上2棟 宅地他13,650㎡、農地9,350㎡</li> <li>他 矢谷川、榎谷川等にて公共土木施設被害</li> </ul>

表 7-1 主な既往洪水の概要【3/3】

洪水年月日	気象原因	洪水期間最大日雨量 (mm) (下段：最大1時間雨量)						下流支川域 洪水被害 発生河川数	主な被害
		江津	福光	桜江	川本	瑞穂	赤名		
平成21年7月17日 ～7月30日	梅雨前線豪雨	—	145.0 (55.5)	124.5 (29.0)	117.5 (39.5)	75.0 (26.5)	135.0 (43.0)	20河川	・祖式川：床下1棟、宅地他500㎡ ・君谷川：農地8,870㎡ ・尻無川：農地2,930㎡ ・他 都治川、長良川等にて公共土木施設被害
平成23年5月9日 ～5月13日	豪雨	—	165.5 (25.0)	168.5 (23.0)	161.5 (25.5)	94.5 (14.5)	119.5 (15.0)	5河川	・玉繰川：農地5,000㎡ ・祖式川：農地2,300㎡ ・他 奥谷川、塩谷川等にて公共土木施設被害
平成24年6月29日 ～7月8日	梅雨前線豪雨	—	87.0 (37.0)	139.5 (39.5)	103.0 (46.0)	76.0 (33.5)	113.0 (50.0)	9河川	・玉繰川：農地3,500㎡ ・祖式川：農地1,900㎡ ・日向川：農地800㎡ ・矢谷川：農地350㎡
平成25年7月31日 ～8月1日	豪雨	—	95.5 (44.5)	27.0 (7.0)	70.0 (50.5)	13.5 (7.5)	141.0 (62.5)	11河川	・三谷川：農地250㎡ ・尻無川：宅地他147㎡ ・他 都治川等にて公共土木施設被害
平成25年8月22日 ～8月26日	豪雨	—	186.0 (47.0)	386.0 (92.5)	200.5 (51.0)	205.5 (52.0)	104.5 (27.5)	27河川	・邑南町：死者1名 ・小谷川：床下1棟、宅地他292㎡ ・田津谷川：床下1棟、宅地他213㎡ ・渡川：床下2棟、宅地他361㎡ ・本町川：床下39棟、床上7棟、半壊1棟 宅地他17,789㎡ ・奥谷川：床下9棟、床上1棟 宅地他9,119㎡、農地139,506㎡ ・都治川：農地190,152㎡ ・濁川：農地832㎡ ・木谷川：農地15,000㎡ ・他 長良川、久井谷川等にて公共土木施設被害
平成25年8月29日 ～9月5日	豪雨	—	74.0 (26.5)	81.0 (14.5)	78.5 (17.0)	103.5 (15.0)	103.5 (18.0)	4河川	・玉繰川：農地5,700㎡ ・祖式川：農地1,500㎡ ・日向川：農地1,900㎡ ・矢谷川：農地8,430㎡
平成26年7月29日 ～8月12日	台風11,12号 及び豪雨	—	42.0 (27.5)	44.0 (30.5)	34.0 (22.0)	38.0 (11.0)	70.0 (17.5)	2河川	・都治川：農地20,000㎡ ・奥谷川：農地28,000㎡
平成28年6月18日 ～7月5日	梅雨前線豪雨	—	149.5 (54.0)	62.0 (29.5)	65.0 (29.5)	43.0 (21.0)	65.0 (20.5)	11河川	・祖式川：床下1棟、宅地他400㎡、農地1,000㎡ ・都治川：床上1棟、宅地他427㎡、農地60,003㎡ ・北川：床下2棟、宅地他1,489㎡、農地61,800㎡ ・本町川：床下15棟、宅地他3,348㎡ ・他 奥谷川等にて公共土木施設被害
平成30年6月26日 ～7月9日	梅雨前線豪雨 及び台風7号	—	106.0 (22.0)	109.5 (26.5)	137.0 (39.0)	135.0 (29.0)	136.5 (31.0)	11河川	・江の川(江津市、川本町、美郷町、邑南町)内水・溢水： 床下70棟、床上60棟、半壊135棟、全壊流出74棟 宅地他3,327,713㎡、農地2,005,189㎡ ・河木谷川：宅地他1,355㎡、農地32,290㎡ ・南谷川：床下1棟、床上1棟、宅地他2,400㎡ ・他 矢谷川、奥谷川、濁川等にて公共土木施設被害、電力・水道被害
令和2年7月	梅雨前線豪雨	—	120.5 (23.5)	95.0 (31.0)	112.5 (21.5)	84.0 (28.5)	103.0 (21.5)	—	・江津市：床下27棟、半壊21棟、全壊2棟 ・川本町：床下5棟、半壊18棟 ・美郷町：床下4棟、半壊1棟 ・邑南町：床下2棟
令和3年8月	台風9号 及び前線	—	158.0 (39.0)	289.5 (45.5)	236.5 (47.0)	261.0 (46.5)	150.0 (34.0)	—	・江津市：床下10棟、半壊4棟、非住家3棟 ・川本町：半壊1棟

注1) 雨量データは昭和52年までは農業気象観測所(日界9時)、昭和54年以降は地域気象観測所(日界24時)。  
 注2) 人的被害は「昭和47年7月豪雨災害誌(島根県)」「災害年報(島根県)」に記載された関係市町全域における被害。  
 注3) 浸水被害は「水害統計(国土交通省)」及び市町村ヒアリング(下線)による。ただし、令和2年7月及び令和3年8月の浸水被害は県報道発表資料(それぞれ令和2年8月17日、令和3年10月5日発表)による関係市町全域における被害。

表 7-2 昭和 46 年 7 月・昭和 47 年 7 月洪水被害状況

年	発生年月日	異常気象名	河川名	一般資産		公共土木施設				
				営業停止損失	農作物	河川	砂防施設	道路・橋梁	農地・農業用施設	都市施設
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	都治川			435,424		18,356		
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	上津井川			50,184		13,158		21,430
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	小谷川			109,386		14,929		35,842
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	榎谷川			18,682		484		
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	久井谷川			15,234		484		3,374
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	田津谷川			1,613		5,384		124
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	坂本川			6,144		1,315		4,699
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	鹿賀谷川			52,159		2,935		4,988
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	濁川	9,135	24,232					
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	濁川			30,480		31,120		10,311
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	木谷川			58,542		11,471		34,548
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	日向川			2,078		2,754		2,343
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	矢谷川			4,164		2,700		7,560
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	祖式川			21,760		10,100		31,945
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	君谷川			28,398		1,571		16,176
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	河木谷川				7,940	346		
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	尻無川	8,186	55,393	26,598		22,069		4,098
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	野間川			2,088		2,448		3,475
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	三谷川			18,962		45,127		15,864
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	日平川			2,266		2,211		431
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	高梨川			817				
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	塩谷川			1,190				1,407
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	角谷川			10,472		6,174		2,406
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	後谷川					320		85
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	宇津井谷川					2,855		
S46	6/2 ~ 7/27	梅雨前線豪雨及び台風13号	長瀬川			2,753		1,364		844
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	都治川	1,720,516		32,077				
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	長良川					942		4,039
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	小谷川			447		348		
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	濁川	5,097	658	51,187	2,218	15,725		27,216
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	木谷川			11,404		4,204		8,501
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	日向川					725		648
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	玉繰川							850
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	矢谷川					1,386		4,680
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	祖式川			11,391		7,813		7,494
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	君谷川			11,270		6,403		28,196
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	尻無川			8,777		18,227		18,183
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	三谷川			11,010		2,971		55,781
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	洪谷川					827		1,239
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	沢谷川			31,455		13,215		50,435
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	響谷川							839
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	塩谷川			9,215		2,174		839
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	角谷川			9,774				2,603
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	後谷川					217		
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	宇津井谷川			400		430		839
S47	6/6 ~ 7/23	断続した豪雨並びに台風6、7号及び台風9号	長瀬川			2,371				1,174

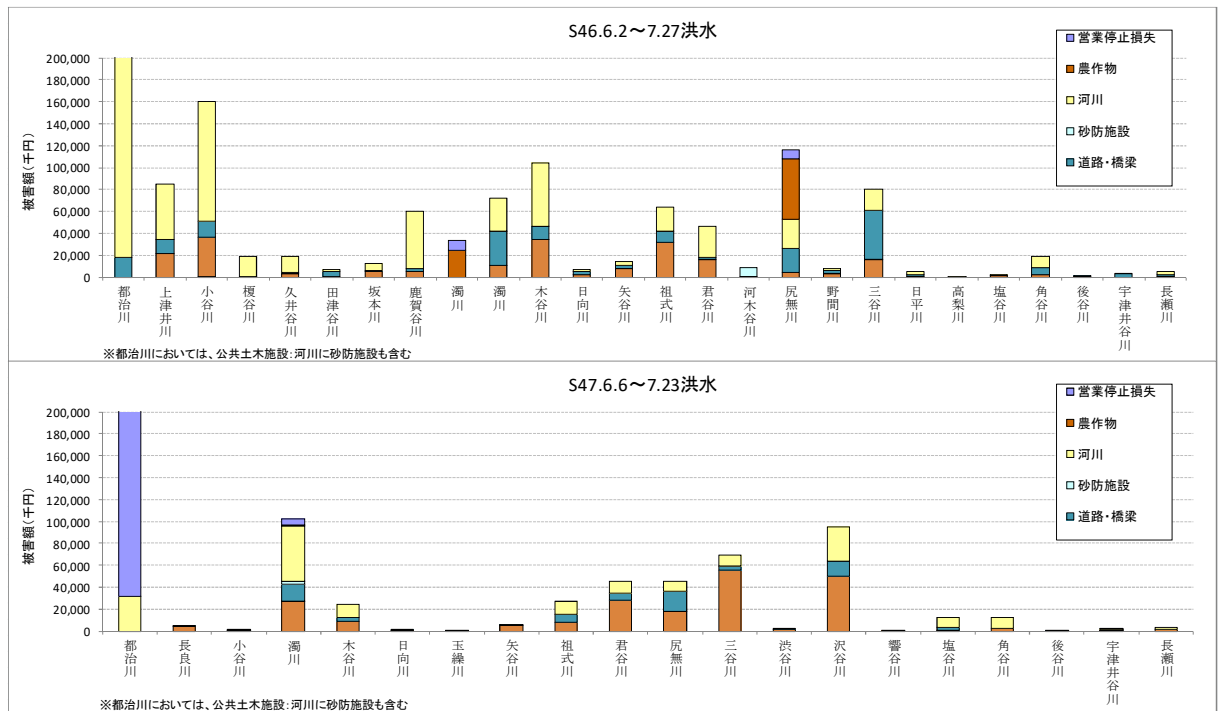


図 7-1 昭和 46 年 7 月・昭和 47 年 7 月洪水被害状況

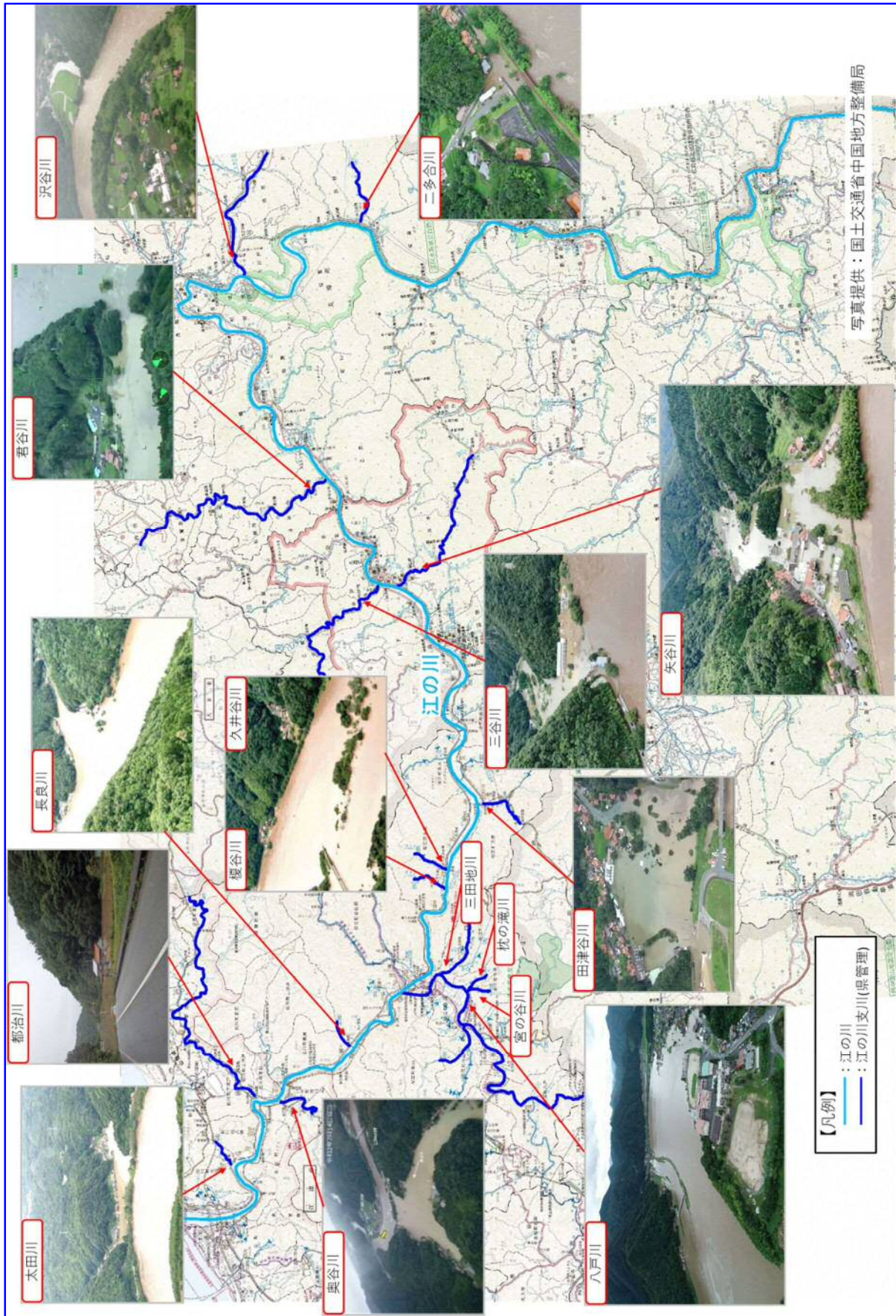


图 7-2 令和 2 年 7 月豪雨浸水状况



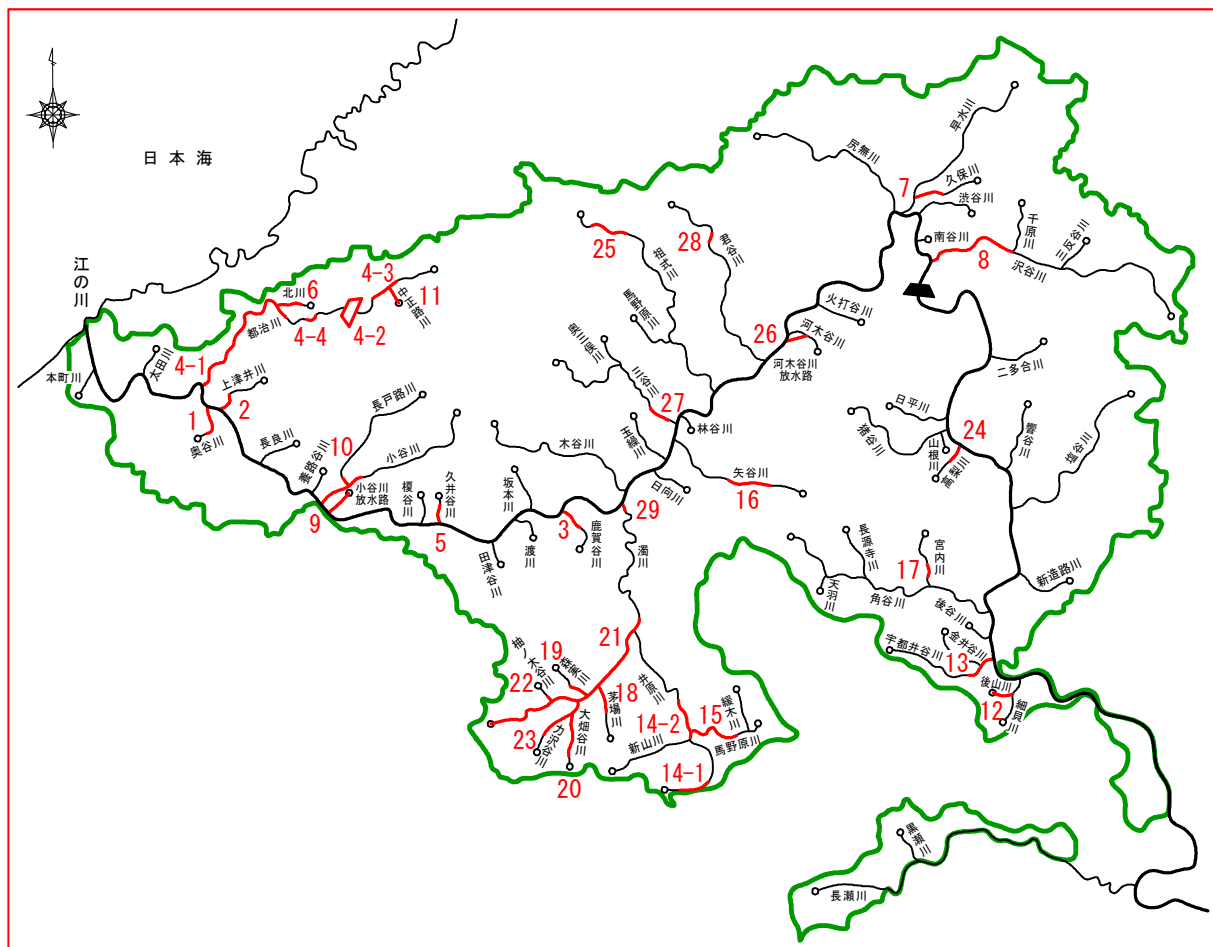
## 7.2 治水事業の経緯

前述の洪水被害に対処するため、表 7-3 及び図 7-3 に示す各区間で河川改修事業が実施されてきた。

表 7-3 主な河川改修事業

No.	河川名	市町村名	事業名	延長 (km)	施工期間 (年度)	備考
1	奥谷川	江津市	河川災害関連事業	1.7	S46～S48	
2	上津井川	江津市	河川災害関連事業	0.9	S46～S48	
3	鹿賀谷川	江津市	河川災害関連事業	1.2	S46～S48	
4-1	都治川	江津市	河川災害復旧助成事業	7.2	S46～S49	
4-2	都治川	江津市	波積ダム建設事業	—	H6～	
4-3	都治川	江津市	県単独事業	1.6	H11～H15	
4-4	都治川	江津市	県単独事業	0.3	R1～R3	
5	久井谷川	江津市	河川災害関連事業	0.8	S47～S49	
6	北川	江津市	河川災害関連事業	1.2	S50～S52	
7	久保川	美郷町	小規模河川改修事業	1.3	S50～S52	
8	沢谷川	美郷町	河川災害関連事業	3.8	S50～S52	
9	小谷川	江津市	中小河川改修事業	1.7	S57～H17	小谷川放水路含む
10	長戸路川	江津市	中小河川改修事業	0.3	S57～H17	
11	中正路川	大田市	県単独事業	1.7	S58	
12	後山川	邑南町	河川災害関連事業	0.8	S58～S59	
13	宇都井谷川	邑南町	河川災害関連事業	1.6	S58～S60	
14-1	井原川	邑南町	河川災害関連事業	0.8	S58～S60	
14-2	井原川	邑南町	河川災害関連事業	1.1	S58～S60	
15	馬野原川	邑南町	河川災害関連事業	2.2	S58～S60	
16	矢谷川	川本町	河川災害関連事業	1.3	S58～S60	
17	宮内川	美郷町	河川災害関連事業	0.7	S58～S60	
18	茅場川	邑南町	河川災害復旧助成事業	0.9	S58～S62	
19	森実川	邑南町	河川災害復旧助成事業	0.7	S58～S62	
20	大畑谷川	邑南町	河川災害復旧助成事業	2.3	S58～S62	
21	濁川	邑南町	河川災害復旧助成事業	8.7	S58～S62	
22	袖ノ木谷川	邑南町	河川災害復旧助成事業	0.3	S58～S62	
23	力沢谷川	邑南町	河川災害復旧助成事業	1.6	S58～S62	
24	高梨川	美郷町	小規模河川改修事業	0.3	S59～S62	
25	祖式川	大田市	河川局部改良事業	1.5	S59～H3	
26	河木谷川	美郷町	小規模河川改修事業	0.8	S60～H4	河木谷川放水路
27	三谷川	川本町	河川局部改良事業	1.5	S61	
28	君谷川	美郷町	県単独事業	0.3	H11	
29	濁川	川本町	総合流域防災事業	0.2	R1～R2	

出典：島根県土木部河川課資料



注) 图中番号は表 7-3 に対応。

図 7-3 主な河川改修事業位置図

## 7.3 被害軽減対策

### 7.3.1 島根県総合防災情報システム

島根県では、平成 11 年度から「島根県総合防災情報システム」を運用し、県・市町村・消防等の防災関係機関が、災害予防、災害応急対策、復旧対策等に必要となる情報の共有・伝達を円滑に行うとともに、県民の生活に役立つ防災情報を収集・整理・発信してきた。以降、気象・防災情報等を一元的に集約した、県民向けホームページ「しまね防災情報」(<https://www.bousai-shimane.jp>) を開設したほか、気象情報等をメールで配信する「しまね防災メール」サービスを提供する等の機能強化を行っている。

表 7-4 島根県総合防災情報システム

サブシステム	機能の概要
①防災情報交換基盤	(一財) マルチメディア振興センターが運営する。L-アラートと被害状況等のデータ連携を行う。また、気象庁システムと土砂災害危険度情報等のデータ連携を行う。
②情報提供システム	登録制メール、緊急速報メールにより県民及び職員に緊急情報を伝達する。また、「しまね防災情報」等を通じて県民に防災情報を提供する。
③災害情報共有システム	防災専用端末を用いて各種気象・水象・地象・国民保護・武力攻撃情報等の情報を音声及びポップアップにより一斉に通知する。また、被害状況等の入力や掲示機能による資料掲載により、関係機関の間で情報の共有を迅速に行う。
④防災業務支援システム	防災備蓄物資の在庫管理、県職員向けの安否確認メールの配信、集計等を行う。
⑤運用支援・管理システム	操作訓練、研修、災害案件の登録管理、各種 ID、パスワード等のマスタ情報を管理する。

出典：島根県防災部防災危機管理課資料



図 7-4 島根県総合防災情報システム全体イメージ

出典：「第 4 期島根県総合防災情報システム調達業務計画書」

### 7.3.2 ハザードマップ

ハザードマップは、洪水時の破堤・氾濫等により浸水の予測される区域や避難所・避難経路など、避難行動をとる際に必要な情報を地図にまとめたものであり、平常時からの住民の防災意識の啓発と災害時における円滑かつ迅速な避難行動の促進によって、人的被害の軽減を図ることを主な目的としている。

江の川水系下流支川域においては、現在すべての関係市町によりハザードマップ(防災マップ)が作成・公表されており、適宜改訂も行われている。

表 7-5 ハザードマップ公表状況

(令和3年7月現在)

市町名	名称	公表状況	
大田市	防災ハザードマップ	令和2年3月改訂	全戸配布・HP公開
江津市	防災マップ	令和3年3月改訂	全戸配布・HP公開
川本町	江の川洪水・土砂災害ハザードマップ	令和2年9月改訂	全戸配布・HP公開
邑南町	ハザードマップ	WEB版:令和3年4月改訂	全戸配布 <sup>※1</sup> ・HP公開
美郷町	洪水ハザードマップ	平成30年6月改訂	全戸配布・HP公開
飯南町	土砂災害ハザードマップ	令和3年4月改訂	全戸配布・HP公開 <sup>※2</sup>

※1 紙版(改訂版)は令和3年度中に全戸配布予定。

※2 HP(改訂版)は更新予定。



図 7-5 ハザードマップ(江津市)

出典: 江津市 HP

## 8. 水利用の現状

### 8.1 流況

江の川水系下流支川域では、都治川のみ流量が観測されているため、ここでは、都治川について記載する。都治川では、図 8-1 に示すとおり都治橋基準地点において、昭和 57 年より水位観測及び流量観測を実施している。

昭和 57 年から令和 2 年までの平均低水流量は  $0.56\text{m}^3/\text{s}$ 、平均渇水流量は  $0.29\text{m}^3/\text{s}$  であり、これを大きく下回る年として、平成 6 年や平成 8 年などがある。特に、平成 6 年の渇水は農業へ影響を与えた。

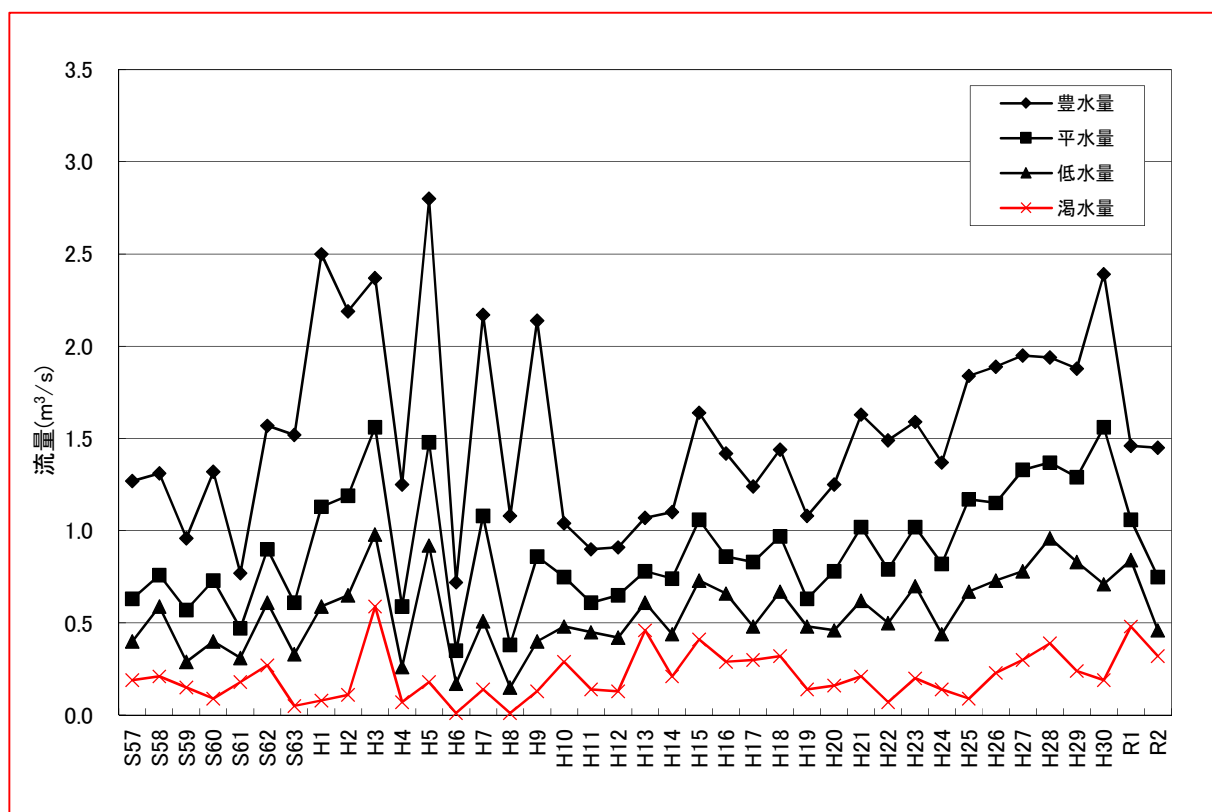


図 8-1 都治川（都治橋地点）の流況

表 8-1 都治川（都治橋地点）の流況

年	最大流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	豊水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	平水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	低水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	渇水量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	最小流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )	平均流量 ( $\text{m}^3/\text{s}$ )
昭和57年	43.38	1.27	0.63	0.40	0.19	0.19	1.68
昭和58年	(109.08)	(1.31)	(0.76)	(0.59)	(0.32)	(0.21)	(2.64)
昭和59年	46.39	0.96	0.57	0.29	0.17	0.15	1.56
昭和60年	(58.91)	(1.32)	(0.73)	(0.4)	(0.13)	(0.09)	(2.67)
昭和61年	28.98	0.77	0.47	0.31	0.22	0.18	1.57
昭和62年	(22.64)	(1.57)	(0.9)	(0.61)	(0.35)	(0.27)	(1.59)
昭和63年	139.70	1.52	0.61	0.33	0.09	0.05	2.00
平成1年	(65.54)	(2.50)	(1.13)	(0.59)	(0.25)	(0.08)	(1.60)
平成2年	16.68	2.19	1.19	0.65	0.15	0.11	2.02
平成3年	18.02	2.37	1.56	0.98	0.63	0.59	2.20
平成4年	(11.62)	(1.25)	(0.59)	(0.26)	(0.12)	(0.07)	(1.07)
平成5年	41.72	2.80	1.48	0.92	0.26	0.18	2.86
平成6年	5.73	0.72	0.35	0.17	0.03	0.01	0.59
平成7年	51.04	2.17	1.08	0.51	0.19	0.14	2.26
平成8年	46.95	1.08	0.38	0.15	0.02	0.01	1.48
平成9年	75.98	2.14	0.86	0.40	0.16	0.13	3.18
平成10年	8.49	1.04	0.75	0.48	0.30	0.29	0.94
平成11年	26.00	0.90	0.61	0.45	0.20	0.14	0.93
平成12年	15.80	0.91	0.65	0.42	0.18	0.13	0.89
平成13年	11.80	1.07	0.78	0.61	0.49	0.46	0.98
平成14年	7.29	1.10	0.74	0.44	0.24	0.21	0.98
平成15年	18.11	1.64	1.06	0.73	0.43	0.41	1.66
平成16年	26.02	1.42	0.86	0.66	0.37	0.29	1.68
平成17年	10.04	1.24	0.83	0.48	0.34	0.30	1.17
平成18年	58.53	1.44	0.97	0.67	0.36	0.32	1.86
平成19年	25.86	1.08	0.63	0.48	0.26	0.14	1.33
平成20年	13.51	1.25	0.78	0.46	0.27	0.16	1.15
平成21年	28.18	1.63	1.02	0.62	0.36	0.21	1.74
平成22年	111.73	1.49	0.79	0.50	0.31	0.07	1.43
平成23年	111.39	1.59	1.02	0.70	0.40	0.20	1.68
平成24年	(5.11)	(1.37)	(0.82)	(0.44)	(0.25)	(0.14)	(1.07)
平成25年	183.11	1.84	1.17	0.67	0.21	0.09	2.25
平成26年	36.02	1.89	1.15	0.73	0.34	0.23	1.58
平成27年	52.85	1.95	1.33	0.78	0.47	0.30	1.71
平成28年	237.71	1.94	1.37	0.96	0.63	0.39	2.03
平成29年	30.75	1.88	1.29	0.83	0.44	0.24	1.64
平成30年	109.93	2.39	1.56	0.71	0.26	0.19	2.17
平成31年／令和1年	65.35	1.46	1.06	0.84	0.61	0.48	1.50
令和2年	(56.78)	(1.45)	(0.75)	(0.46)	(0.35)	(0.32)	(2.08)
平均	52.92	1.52	0.91	0.56	0.29	0.21	1.69
<比流量： $\text{m}^3/\text{s}/100\text{km}^2$ >	<120.28>	<3.45>	<2.06>	<1.27>	<0.66>	<0.48>	<3.83>
渇水	第1位/36年				0.02		
	第2位/36年				0.03		
	第3位/36年				0.09		

注) 最大流量：日平均流量の年間最大値

豊水量：1年を通じて95日はこれを下らない流量

平水量：1年を通じて185日はこれを下らない流量

低水量：1年を通じて275日はこれを下らない流量

渇水量：1年を通じて355日はこれを下らない流量

最小流量：日平均流量の年間最小値

平均流量：日平均流量の1年の総計を当年日数で除した流量

( )内は欠測が1ヶ月のうち20日以内の年、網掛は欠測が1ヶ月以上の年を示す。

欠測年の流況は、年間の資料存在日数に各流況の年間比率を乗じた当該日の値を示す。

例えば昭和58年(欠測1日)の渇水量は $355/365 \times 364 = 354.0 = 354$ 日目の流量を示す。

平均は欠測が1ヶ月以上ある平成元年、平成24年、令和2年を除く36ヶ年平均値を示す。

平均下段の<>内は、比流量( $\text{m}^3/\text{s}/100\text{km}^2$ )を示す(都治橋地点の流域面積 $A=44\text{km}^2$ )。

## 8.2 水利権

江の川水系下流支川域の各河川における許可・慣行水利権一覧表は表 8-2 に示すとおりであり、水道用水や発電用水としての利用があるほか、農業用水としての利用が大部分を占めている。

表 8-2 水利権一覧表【1/2】

河川名	許可水利権				慣行水利権			
	農業		その他		農業		その他	
	件数 (件)	灌漑面積 (ha)	件数 (件)	用途	件数 (件)	灌漑面積 (ha)	件数 (件)	用途
本町川								
太田川								
都治川	2	11.700			19	90.423		
北川								
中正路川					14	8.450		
奥谷川					3	7.200		
上津井川					7	4.390		
長良川	1	1.700			2	1.420		
養路谷川								
小谷川					19	35.859		
長戸路川			1	養魚	11	9.300		
小谷川放水路								
榎谷川					18	1.830		
久井谷川					5	0.730		
田津谷川					1	3.830		
渡川					2	3.100	3	生活用水
坂本川								
鹿賀谷川								
濁川					24	97.500		
井原川			2	水道、消雪	30	55.160		
馬野原川					11	13.710		
緩木川	1	0.500						
新山川					30	8.380		
茅場川					13	17.540		
森夷川					16	51.000		
大畑谷川					13	14.000	1	工業用水
力沢谷川					11	24.800		
柚ノ木谷川					12	31.200		
木谷川								
日向川					7	3.530		
玉繰川					10	3.840		
矢谷川					31	23.118		
三谷川					18	33.908		
奥三俣川					3	5.300		
林谷川								
祖式川	6	13.010			13	17.400		
馬野原川					16	6.150		
君谷川	1	3.000			33	39.593		
河木谷川								
河木谷川放水路								
火打谷川					1	0.397		
尻無川					10	5.792		
早水川			2	発電	19	31.540		
久保川					12	11.611		
渋谷川	1	0.150			7	9.584		
南谷川								

表 8-2 水利権一覧表【2/2】

河川名	許可水利権				慣行水利権			
	農業		その他		農業		その他	
	件数 (件)	灌漑面積 (ha)	件数 (件)	用途	件数 (件)	灌漑面積 (ha)	件数 (件)	用途
沢谷川			1	水道	26	63.347		
千原川					2	15.334		
三反谷川					22	9.322		
二多合川					14	6.832		
日平川					5	7.645		
猪谷川	1	5.000			23	16.250		
山根川					7	1.250		
高梨川	1	2.000			6	3.810		
響谷川					9	9.540		
塩谷川			3	水道1、発電2	19	72.999		
新造路川			1	水道	9	6.437		
角谷川	2	3.480	2	水道、発電	15	55.373		
宮内川					6	13.540		
長源寺川					6	12.920		
天羽川								
後谷川								
宇都井谷川								
金井谷川								
後山川								
細貝川								
長瀬川					12	12.150		
黒瀬川					5	2.400		
計	16	40.540	12		627	980.732	4	

出典：島根県土木部河川課資料

### 8.3 漁業権

江の川水系下流支川域においては、江川漁業協同組合による第5種協同漁業権が設定されている。免許状況は以下のとおりであり、対象とする区域は江の川本流及び各支流となっている。

江の川水系下流支川域内ではアユ漁をはじめとした漁業・遊漁が行われており、特にアユについては解禁の季節になると県内外から釣り客が訪れる。

表 8-3 内水面漁業権免許状況

受有者	種 類	対象漁業	漁場の区域
江川漁業協同組合 (内共第5号)	第五種 共同漁業権	あゆ漁業、うなぎ漁業、 こい漁業、うぐい漁業、 おいかわ(はえ)漁業、 やまめ(あまご並びに降海型やまめ 及びあまごを含む)漁業、 ごぎ(いわなを含む)漁業、 もくずがに漁業、 すずき漁業	江の川本流 及び支流 (八戸ダムより 上流域を除く)



## 9. 水環境の概要

### 9.1 河川水質

江の川水系下流支川域の各支川は、水質汚濁に係る環境基準の類型指定は行われていないが、江の川本川は河川 A 類型に指定されている。

各観測地点での水質について、BOD75%値でみると、すべての地点において河川 A 類型の環境基準値（BOD：2mg/l以下）を満足しており、良好な水質であるといえる。

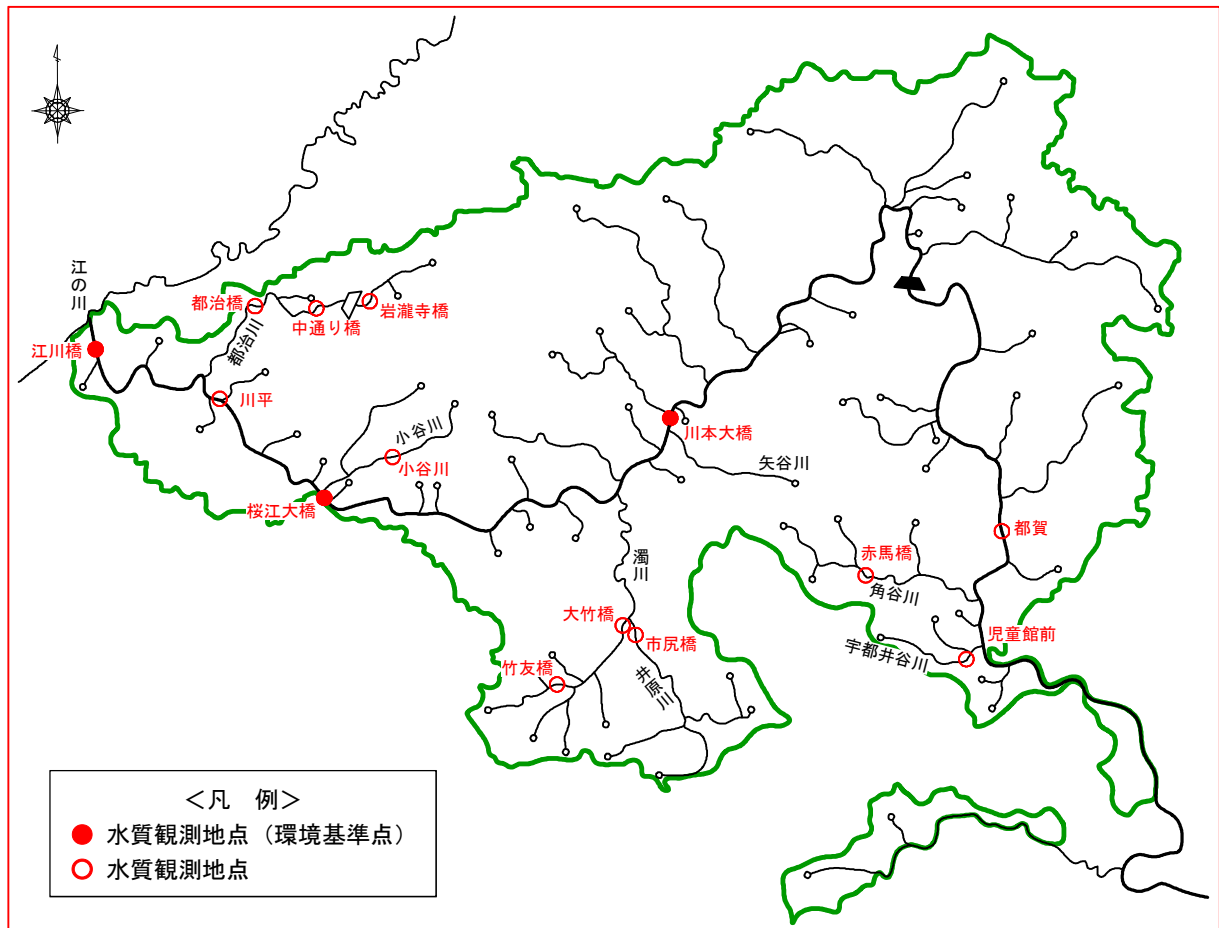


図 9-1 水質観測地点位置図

#### 【水質調査項目】

- 水素イオン濃度（pH）：水が酸性であるか、アルカリ性であるかを示す。  
pH=7 が中性、pH <7 は酸性、pH >7 はアルカリ性を示す。
- 溶存酸素量（DO）：水中に溶けている酸素の量。温度が低いほど酸素は水によく溶け込む。
- 生物学的酸素要求量（BOD）：微生物が水中の有機汚濁物質を分解するのに要する酸素量をいう。  
水の汚れの指標となり、値が大きいほど水が汚れていることを意味する。
- 浮遊物質（SS）：粒径 2mm 以下の水に溶けない懸濁性の物質をいう。浮遊物質は水の濁りの原因になるもの。

表 9-1 水質調査結果一覧

類型	地点	項目	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
河川A類型	都賀	pH	-	7.4	7.4	7.4	7.3	7.5	7.3	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4	7.4
		DO	mg/l	10	10	10	10	9.9	9.8	10	9.9	9.6	10	9.7	9.8
		BOD	mg/l	0.6	0.8	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7	0.7
		SS	mg/l	3	2	3	2	2	3	3.6	2.3	3	2	2	2
	川本大橋※	pH	-	7.4	7.4	7.4	7.3	7.5	7.3	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4	7.4
		DO	mg/l	9.9	9.8	10	9.8	9.8	9.7	9.8	9.8	9.9	10	9.7	9.7
		BOD	mg/l	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
		SS	mg/l	2	2	2	2	2	2	2.2	2.2	3	2	2	1
	桜江大橋※	pH	-	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4	7.3	7.4	7.3	7.3	7.3	7.3	7.4
		DO	mg/l	9.9	9.8	10	9.8	9.7	9.7	10	9.8	10	9.9	9.7	9.6
		BOD	mg/l	0.6	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8
		SS	mg/l	3	2	2	2	2	2	2.4	2	3	2	2	1
	川平	pH	-	7.4	7.4	7.4	7.4	7.5	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
		DO	mg/l	10	9.9	10	9.8	9.8	9.8	10	9.9	9.9	9.9	10	9.8
		BOD	mg/l	0.6	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7
		SS	mg/l	2	2	2	2	2	2	2.8	2	3	2	1	1
江川橋※	pH	-	7.3	7.6	7.7	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.6	7.7	7.7	
	DO	mg/l	9.8	9.6	10	9.8	9.4	9.7	10	9.8	9.7	10	9.9	9.4	
	BOD	mg/l	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	<0.5	0.8	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	
	SS	mg/l	3	1	2	2	2	2	2	1.9	2	2	1	2	
未指定	濁川	大竹橋	pH	-	7.7	7.4	7.6	7.6	8.0	7.8	7.8	7.6	8.0	7.7	7.7
			DO	mg/l	10	10	9.8	10	11	10	10	9.9	10	10	10
			BOD	mg/l	0.8	1.3	1.3	1.9	1.1	1.9	1.0	1.4	1.5	1.3	2.0
			SS	mg/l	1	2	2	1	1	1	<1	<1	<1	<1	1
	濁川	竹友橋	pH	-	7.5	7.4	7.5	7.5	7.6	7.6	7.6	7.5	7.6	7.6	7.6
			DO	mg/l	9.7	9.8	9.9	9.7	9.8	9.8	9.9	9.4	9.4	10	9.8
			BOD	mg/l	1.2	1.1	1.4	1.0	0.8	1.5	0.7	1.1	1.2	0.9	1.3
			SS	mg/l	1	1	2	2	<1	1	<1	1	<1	1	<1
	井原川	市尻橋	pH	-	7.2	7.1	7.2	7.1	7.3	7.2	7.2	7.3	7.2	7.2	
			DO	mg/l	9.8	10	10	10	11	10	10	9.9	9.9	10	10
			BOD	mg/l	0.6	1.2	0.9	0.5	1.0	1.5	0.8	1.1	1.1	0.8	0.9
			SS	mg/l	1	<1	1	<1	<1	<1	1	<1	<1	<1	<1
小谷川	小谷川	pH	-	8.0	7.4	7.5	7.2	7.4	7.4	7.4	7.4	7.3	7.5		
		DO	mg/l	6.8	7.1	7.9	8.5	8.1	7.2	7.7	7.6	7.9	8.2		
		BOD	mg/l	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		
		SS	mg/l	1	<1	<1	1	1	1	1	1	1	1		
角谷川	赤馬橋	pH	-	7.4	7.1	7.2	7.2	7.4	7.3	7.3	7.2	7.2	6.9		
		DO	mg/l	9.1	9.8	10	10	11	11	10	9.9	9.9	10		
		BOD	mg/l	0.6	1.2	0.8	0.5	0.6	1.7	0.7	1.0	1.2	0.7		
		SS	mg/l	<1	1	1	<1	1	<1	<1	<1	<1	<1		
宇都井谷川	児童館前	pH	-	7.3	7.3	7.3	7.3	7.4	7.3	7.3	7.3	7.2			
		DO	mg/l	10	10	11	11	11	11	10	9.9	10			
		BOD	mg/l	<0.5	0.9	1.0	<0.5	1.0	1.6	0.8	1.0	1.2			
		SS	mg/l	1	2	2	3	1	<1	<1	<1	<1			
都治川	都治橋	pH	-	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4	7.3	7.5	7.4	7.4			
		DO	mg/l	10.4	10.3	10.5	10.2	10.3	10.3	10.8	10.5	10.4			
		BOD	mg/l	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	0.5	1.1	0.9	0.6			
		SS	mg/l	2.9	2.8	2.4	5.0	3.3	2.4	5.7	11.5	2.4			
	中通り橋	pH	-	7.5	7.5	7.4	7.5	7.5	7.4	7.4	7.5	7.6			
		DO	mg/l	10.3	10.2	10.3	10.1	10.4	10.5	10.9	10.4	10.8			
		BOD	mg/l	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6			
		SS	mg/l	4.4	4.5	4.4	4.3	5.1	3.3	8.3	6.1	2.6			
	岩瀧寺橋	pH	-	7.5	7.6	7.5	7.5	7.6	7.5	7.6	7.6	7.6			
		DO	mg/l	10.3	10.1	10.3	10.1	10.4	10.3	10.7	10.5	10.1			
		BOD	mg/l	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.5	1.0	0.9	0.7			
		SS	mg/l	2.4	3.1	4.9	4.7	5.8	4.1	42.3	37.6	4.4			

注 1) ※印は環境基準点

注 2) BOD は 75%値 (年間の n 個の日間平均値を水質の良いものから並べた時、 $0.75 \times n$  番目にくる数字をいう。 $0.75 \times n$  が整数でない場合は、その数を超える最小の整数番目の数値。)、その他の項目は平均値である。BOD については、環境基準点において、75%値が環境基準値を満足することをもって、環境基準に適合しているとみなされる。

注 3) 都治川の岩瀧寺橋において、平成 26 及び 27 年度の SS の値が高いのは、それぞれ 1 月と 2 月に近傍工事の影響によると思われる濁りが発生したためである。

出典：公共用水域・地下水水質測定結果報告書、波積ダム水質検査結果

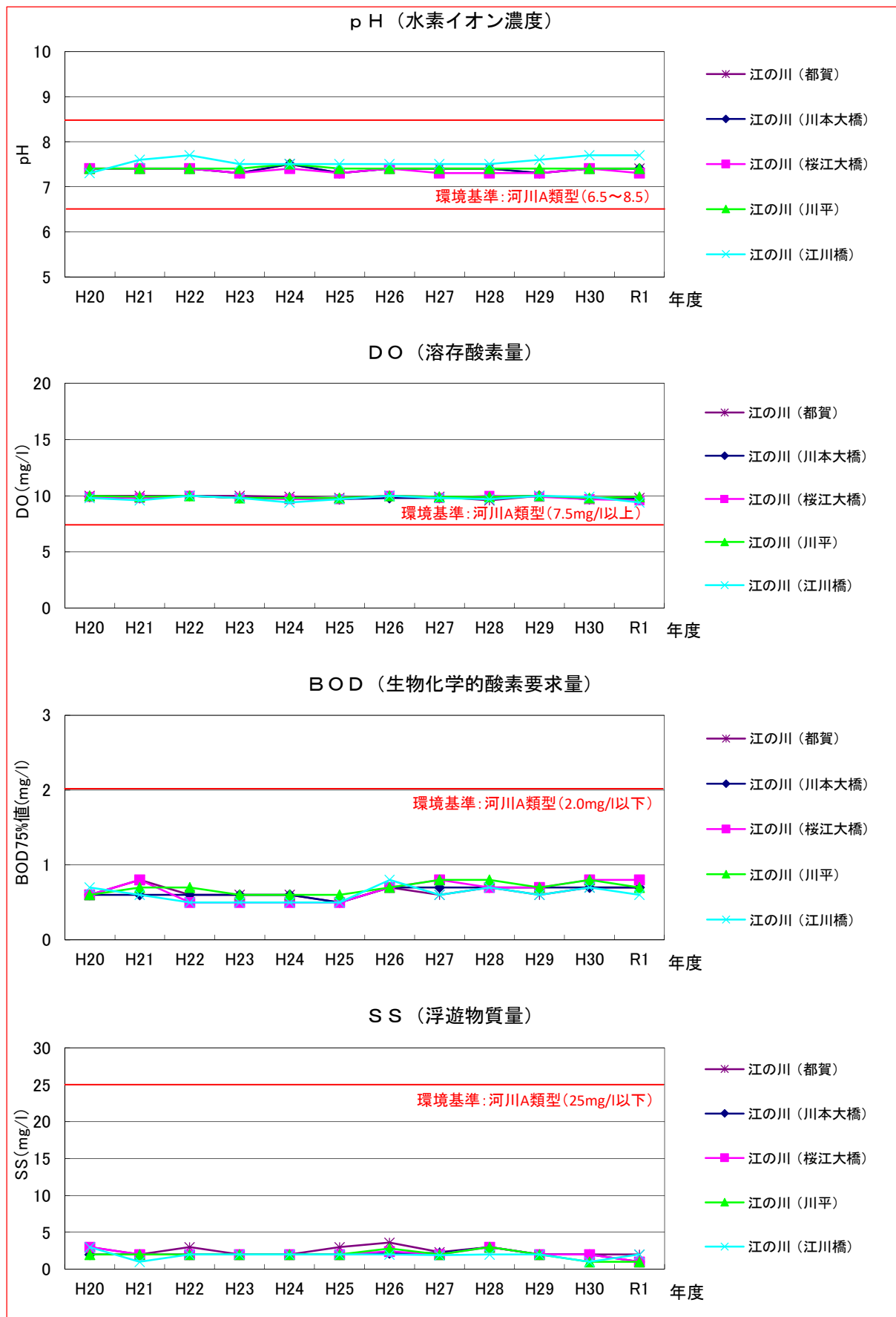


図 9-2 水質経年変化図 (江の川)

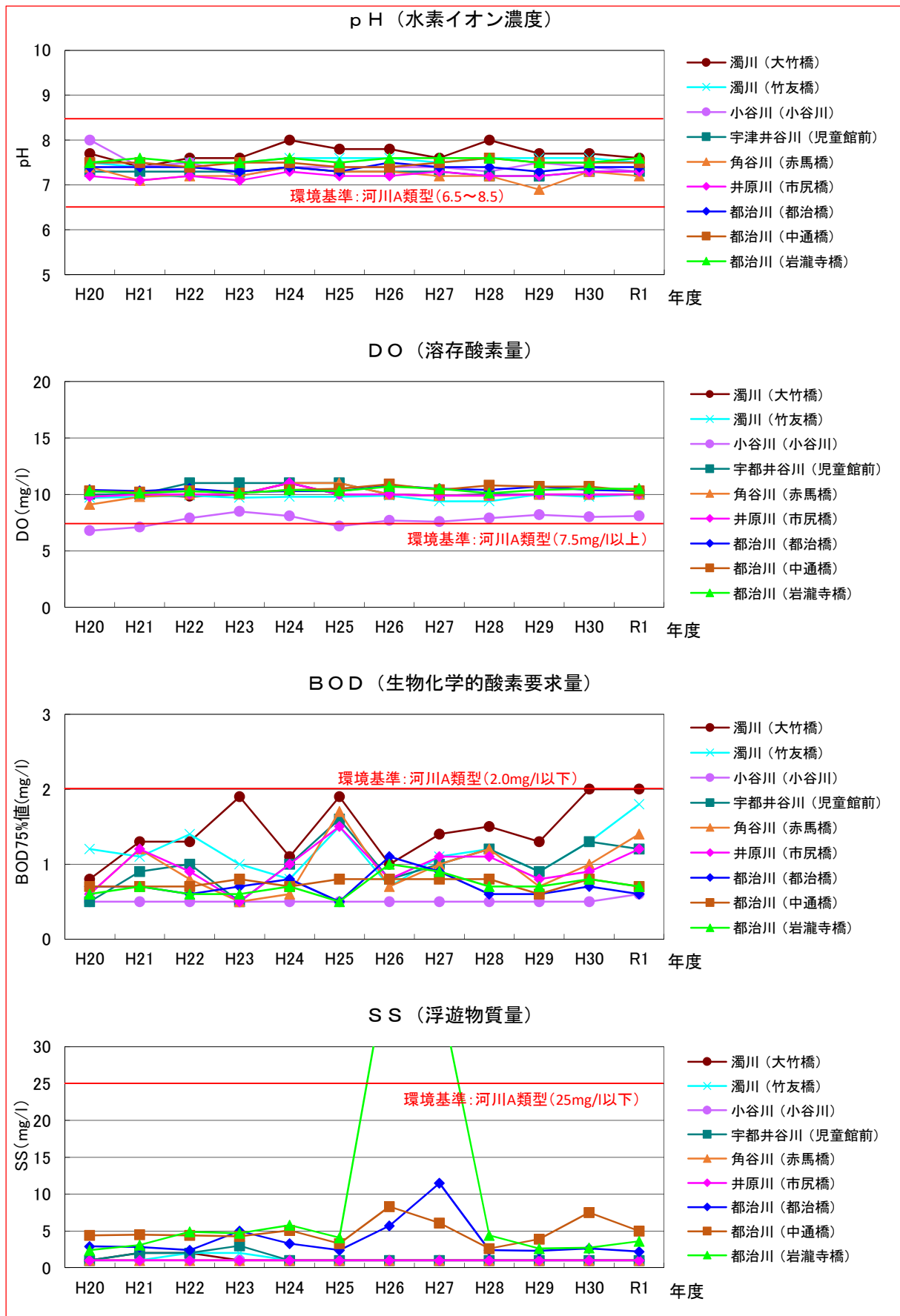
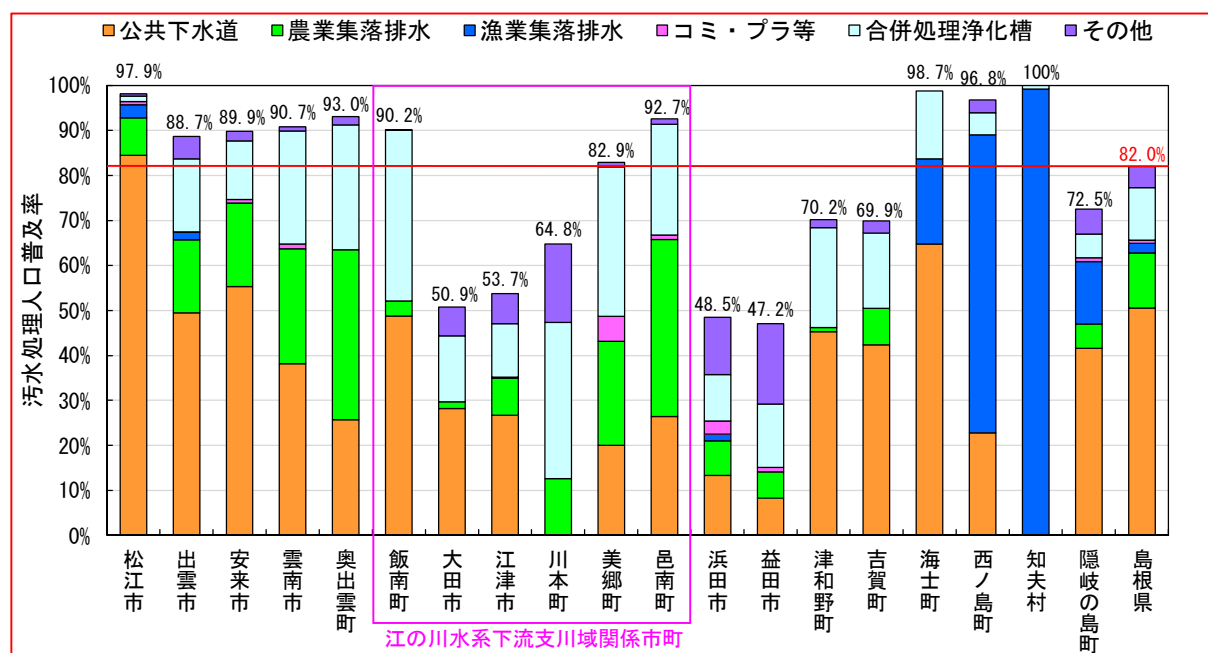


図 9-3 水質経年変化図 (支川)

## 9.2 汚水処理施設の整備状況

江の川水系下流支川域における汚水処理は、主に公共下水道、農業集落排水、小規模集合排水、合併浄化槽によって行われている。このうち下水道事業については、環境基準を達成するための下水道整備に関する総合的な基本計画である「江の川流域別下水道整備総合計画」が定められている。

流域関係市町の汚水処理人口普及率は、令和2年度末現在で大田市 50.9%、江津市 53.7%、川本町 64.8%、邑南町 92.7%、美郷町 82.9%、飯南町 90.2%であり、邑南町、美郷町、飯南町で普及率が高いものの、大田市、江津市、川本町では島根県全体の普及率 82.0%と比べると整備が遅れている。



※汚水処理人口普及率＝各市町村汚水処理人口／行政人口（令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口）

図 9-4 汚水処理人口普及率 (令和2年度末)

出典：島根県土木部下水道推進課資料（一部加工）

表 9-2 江の川流域別下水道整備総合計画

区 分	江の川流域総計画	
調査年度	平成2年度	
策定(見直し)年度	平成11年度	
流域面積	3,870 km <sup>2</sup> (広島県分を含む)	
関係市町村名	大田市、江津市、浜田市、飯南町、川本町、 美郷町、邑南町 (三次市、庄原市、安芸高田市、世羅町、北広島町)	
整備計画年度	平成22年	
流域人口	50.6千人 (島根県分のみ)	
処理場箇所数	公共下水道	6
	流域下水道	—

出典：島根県土木部下水道推進課 HP

表 9-3 江の川水系下流支川域内の公共下水道事業一覧 (令和 2 年度末現在)

種別	市町村名	処理区	処理場名	全体計画		整備状況		事業着手	供用開始年月日	備考
				計画面積 (ha)	人口 (人)	処理面積 (ha)	処理人口 (人)			
公共下水道	江津市	江津西	江津西 浄化センター	685.1	11,730	194.1	5,394	H14	H18.4.1	
特定環境 保全公共 下水道	美郷町	邑智	邑智 浄化センター	51.0	1,400	51.0	890	H6	H10.4.1	H13 完了
	邑南町	石見	石見 浄化センター	209.5	2,690	204.0	2,713	H5	H11.4.1	H24 完了

出典：島根県土木部下水道推進課 HP

表 9-4 江の川水系下流支川域内の農業集落排水事業一覧

(令和 2 年度末現在)

市町村名	地区名	実施年度	処理人口 (人)
大田市	元井田	H6~H8	206
江津市	桜江中央	H9~H13	1,450
	川越	H14~H18	436
川本町	三原	H10~H12	398
邑南町	口羽	H9~H12	397
美郷町	都賀行郷	H2~H5	116
	乙原	H6~H8	121
	築瀬	H8~H11	98
	都賀西	H8~H11	198
	栗原	H9~H11	55
	都賀本郷	H12~H6	445

※処理人口：令和 2 年度末処理区域内定住人口

出典：島根県農林水産部農村整備課資料

表 9-5 江の川水系下流支川域内のその他排水処理施設一覧

種別	市町村名	地区名
小規模集合排水	邑南町 美郷町	八色石
		亀村
		別府
		明塚
		港
		湯抱
		別府下
		やなしお
簡易排水	邑南町	吾郷
		石原
	邑南町	百石

出典：邑南町下水道事業経営戦略、美郷町下水道計画図、  
第 4 次邑智郡総合事務組合一般廃棄物処理基本計画

## 10. 河川空間の利用

### 10.1 景観形成ガイドライン

公共事業等景観形成指針は、「ふるさと島根の景観づくり条例（平成4年 島根県条例第34号 9第21条第1項）」の規定に基づき策定されたものである。

この指針によると、江の川水系下流支川域が該当する『川本地域』及び『浜田地域』における景観特性と景観形成の方向性は以下のとおりである。

表 10-1 景観特性と景観形成の方向性（川本地域）

区分		川本地域	
景観の特性	対象市町村	江津市、美郷町、川本町、邑南町	
	地域の景観印象	○豊富な水量を有しゆったりした流れを見せる江の川と、河川敷に連担する農地や小樹林地が織りなす景観。 ○緑濃い山並みに囲まれた農地と特徴的な石州瓦の家並みが織りなす、穏やかな盆地農村集落の景観。 ○1,000m級の山々が連なる山岳や、山間の河川に展開する変化に富んだ溪谷等の自然性の高い景観	
	主な展望地と景観資源	展望地	1)丸山、2)赤城山、3)空山、4)仙岩寺、5)野間、6)湯抱、7)浜原ダム、8)惣森、9)都賀西、10)伴蔵山、11)宮尾山、12)二つ山、13)総南山、14)いこいの村島根、15)断山、16)平野山、17)渡り山、国道(261号、375号)、中国自動車道、J R、三江線、主要地方道 等
		自然	1)江川水系県立自然公園の自然的資源(青杉ヶ城山、ガニ山、洞簫ヶ瀧、江の川宮尾山八幡宮東彼岸桜)、2)大亀山シイの森、3)大楨谷溪谷、4)蟠竜峡、5)志都の岩屋、6)赤馬瀧、7)滝ヶ谷、8)三滝の観音、9)千丈溪、10)断魚溪、11)観音滝、12)龍頭ヶ滝、13)枕ヶ滝、14)木路原天満宮のムクノキ、15)妙用寺のサクラ、16)西蓮寺タラ葉、17)八幡神社御旅所のマツ、18)前土居のヒイラギ、19)四つ土居のキャラボク、20)今田水神の大ケヤキ、21)八戸大元神社のムクノキ、22)香木の森 等
		歴史的・文化的	1)賀茂神社、2)諏訪神社、3)長江寺、4)正蓮寺及び桜門、5)甘南備寺、仙岩寺、西蓮寺、6)野伏原古墳、7)順庵原1号古墳、8)割田古墳、9)谷戸古墳、10)木谷石塔、11)丸山城跡、12)二つ山城跡、13)市山城址、石見銀山街道、渡り山 等
		人工的・都市的	1)川本公園、2)金比羅公園、3)因原公園、4)千原桜公園、5)八幡城歴史公園、6)鴨山公園、7)ゴールデンユートピア、8)ふれあい広場(美郷町)、9)リゾートセンター(邑南町)、10)川下橋、11)あけぼの橋、12)信喜橋、13)高梨橋、14)大浦橋、15)宇津井大橋、16)瑞穂大橋、17)桜江大橋、18)鮎観橋、19)カヌー博物館、20)八戸ダム(桜井湖)、浜原ダム 等
生活・産業	1)川角集落、2)上田集落、3)平佐の石垣、4)志谷集落、阿須那町通り、於保知盆地 等		
景観形成方針	全体テーマ	『豊かな自然資源の保全と、これらに含まれた穏やかな地域景観の形成を図る』	
	個別方針	○緑濃い山々と石州瓦の家並みが織りなす特徴ある盆地景観を活かし、これと調和した地域整備を進める。 ○多様な”顔”を見せる江の川等の河川景観、断魚溪等の溪谷景観の自然性を保全するとともに、これらのすぐれた水辺の景観と身近に接する場の整備に努める。	
	大規模行為実施に際しての地域別留意事項	○江の川沿川の雄大で自然性の高い河川景観を呈する地域においては、流域部の景観特性を十分考慮し、適正な開発規模(建築物等の高さ・配置、造成範囲の選定)や工法の検討を行う。 ○本地域の景観を特徴づける山間の盆地部においては、緑濃い山並みや河川等がその景観の骨格を成す重要な要素となっている。従って、大規模な造成行為等の実施に際しては、敷地の選定、工法、修景措置等を十分勘案の上行うよう配慮する。 ○浜田自動車道のIC周辺部においては、既存の町並みや山並みが織りなす地域景観を十分考慮し、適正な開発規模(建築物等の高さ・配置、造成範囲の選定)や工法の検討を行う。 ○千丈溪等県立自然公園地域を中心とした良好な自然景観を呈する地域においては、その良好な自然環境の保全を図るとともに、周辺状況を十分に勘案の上、景観的に調和のとれた計画の立案を行う。	

表 10-2 景観特性と景観形成の方向性（浜田地域）

区分		浜田地域
景観の特性	対象市町村	江津市、浜田市
	地域の景観印象	○江の川河口部に展開する江津市街地や工場群の活気のある景観。 ○主要幹線道路沿道に展開する、浜田市街地の動的な景観。 ○背後地に山地が迫り、変化に富んだ岩質海岸や美しい砂浜海岸が連続する海辺の景観。 ○緑濃い山並みに囲まれた、特徴的な石州瓦の家並みと田園の景観。 ○自然性の高い冠山山地脊梁部の山並みの景観。
	展望地	1)大麻山、2)三階山、3)宝神山、4)鳥の星山山頂、5)弥畝山(ブナ林遊歩道、牧場)、6)権現山山頂、7)天狗石山、8)家古屋山、9)高城山、10)石見海浜公園 11)島根県立国際短期大学、国道(9号、9号バイパス)、中国横断自動車道、J R (山陰本線、三江線)、主要地方道 等
	自然	1)西中国山地国定公園の自然的資源(雲月山、天狗石山等)、2)浜田海岸県立公園の自然的資源(石見ヶ浦、浜田海岸、折居海岸、瀬戸ヶ島、外ノ浦海岸等)、3)三階山、4)大麻山、5)弥畝山、6)高城山、7)石南峽、8)岩瀧寺の滝、9)小猿の滝、10)甚左衛門堤、11)早水峡谷、12)旭峽、13)松ヶ谷峡谷、14)菰沢池、周布川、下府川、浜田川、敬川、江の川、都治川、三隅川、15)波子海岸、16)田の浦海岸、17)三隅海岸、18)多陀寺(クスノキ、ヒノキ、シイ、タブ林)、19)伊甘神社(ムク、イチョウ)、20)山本(白枝垂桜、紅梅) 21)都野津の人麿の松、22)上有福のイチョウ、23)上敬川のチシャノキ、24)福田八幡宮(イチイガシ、自然林)、25)高倉山八幡宮の境内林、26)久保川のクロガネモチ、27)福城寺の松柏群、28)常磐山のスギ、29)長安本郷の八幡宮並木杉、30)三隅大平桜、31)三浦家のモミ、32)ピロウドシダ群生地、岩瀧寺の自然林、弥畝山のブナ林・遊歩道、大麻山のスギ・ヒノキ 等
	歴史的・文化的	1)山辺神社、2)多鳩神社、3)三隅神社、大麻山神社、伊甘神社、4)心覚院、5)龍雲寺、正蓮寺、多陀寺、7)周布古墳、8)片山古墳、9)ツヅラヤブ古墳、10)石見国分寺跡、石見国分尼寺跡、石見国分寺瓦窯址、11)下府廃寺塔跡、12)浜田城跡、13)鳶巣城跡、14)松原城下跡、15)本明城跡、16)波佐一本松城跡 17)オヶ峠の石畳道、18)小川庭園、19)笠松峠の石畳路、20)安楽寺庭園、21)寺尾用水隧道 等
	人工的・都市的	1)石見海浜公園、2)三階山公園、3)宝幢寺山公園、4)東公園、5)昭三公園、6)栗島公園、7)江津中央公園、8)抱月の里かなぎグリーンパーク、9)旭公園、10)道猿坊公園、11)ふるさと体験村、12)三隅公園、13)田の浦公園、14)三隅中央公園、城山公園、抱月公園、15)浜田大橋、16)二段橋、17)浜田ダム、18)御都ダム、19)木都賀ダム、20)箸立、21)桑田、島根県立国際短期大学、22)浜田港、23)生湯港、24)松原湾、25)外の浦湾、26)江津港、27)三隅港、28)吉浦港、29)浜田カントリー、30)重富バスストップ 31)旭 I C 周辺、駅前区画整理、青山団地、宮山団地江津バス、中央公園通り、会津屋八右衛門碑 等
生活・産業	1)畦畔(宇津井地区、一ノ瀬地区)、2)西条柿園、3)ブドウ畑(下府、久代)、4)山之内梨園、5)都川地区、6)浜田漁港、7)唐鐘漁港(漁村集落)、8)津摩漁港、9)古湊漁港、10)福浦漁港、11)須津漁港、12)都野津町石見瓦民家群、13)有福温泉街、14)旭温泉街、15)長田地区集落、牧場(畜産基地)景観 等	
景観形成方針	全体テーマ	『“海・川・山”の豊かな自然環境を保全し、これらと調和のとれた穏やかな地域景観の形成を図る』
	個別方針	○緑濃い山々と石州瓦の家並みが織りなす特徴ある盆地景観を活かし、これと調和した地域整備を進める。 ○美しい海岸線(岩質海岸、砂浜海岸)の景観を保全する。 ○雄大な日本海の眺めや石州瓦などの地域性に彩られた幹線道路沿道の魅力ある街並みの景観形成に努める。 ○江の川河口部に展開する江津市街地や工場群等については、雄大な水の景観(日本海、江の川等)と調和のとれた都市景観の形成に努める。
	大規模行為実施に際しての地域別留意事項	○浜田海岸県立自然公園地域や石見海浜公園を中心とした特徴的な海岸景観を呈する海岸部においては、その自然性や主要な展望地からの日本海への良好な眺望を阻害しないよう、建築物の規模等に配慮するとともに、一体的に景観を形づくる背後の山並みの地形状況を保全するよう、開発行為地の選定等も十分に配慮する。 ○江の川沿川の穏やかな河川景観を呈する地域においては、その景観特性を十分考慮し、適正な開発規模(建築物等の高さ・配置、造成範囲の選定)や工法の検討を行う。 ○西中国山地国定公園地域を中心とした阿佐山から大佐山にかけての自然性の高い山地脊梁部においては、その良好な自然環境の保全を図るとともに、大規模な開発行為は極力抑える。



## 10.2 河川空間の利用状況

市民団体や河川愛護団体などの活動により、江の川水系下流支川域では河川清掃や草刈りなどが行われているほか、地元小学校の総合的学習で各支川の環境調査も行われている。また、江川漁業協同組合と地元保育所の園児による稚アユ放流なども行われている。

川本町<sup>いんぼら</sup>因原では、毎年産卵のために濁川にサケが遡上してくる時期に併せて、観察指導員の説明を聞きながら川沿いをウォーキングする「鮭の観察会と芋煮会&健康ウォーキング」が開催されている。

美郷町<sup>べっぶ</sup>別府地域では、6月初旬頃から尻無川沿川でホタルが飛びはじめ、毎年「別府ほたる祭り」が開催されるほか、期間限定で地元住民によるほたる茶屋がオープンする。

美郷町<sup>さわだに</sup>沢谷地域では、夏限定企画として沢谷川での川遊びや生物観察を楽しむ「沢谷シャワークライミング」が開催されている。

美郷町<sup>むらのごう</sup>村之郷の蟠龍峡では、毎年夏に「サマーフェスティバル」が開催され、そうめん流しやアユのつかみ取り、つり橋からの大声大会などのユニークな企画が行われている。

また、江津市桜江町では、毎年夏に「水の国」をスタート地点、「風の国」をゴール地点とし、江の川やその沿川をコースとするマラソンとウォーキングの大会である「ピクニックラン桜江」が開催される。

近年では、美郷町の江の川沿川において、風光明媚な江の川流域の良さを体感できるファンランイベントである「江の川エンジョイソロマラソン」や、観光誘客型のサイクリングイベントである「江の川桜サイクリング」といった新たな取り組みも始まっている。



図 10-1 別府ほたるまつり  
写真出典：美郷町観光協会 HP



図 10-2 沢谷シャワークライミング  
写真出典：美郷町観光協会 HP



図 10-3 蟠龍峡サマーフェスティバル  
写真出典：美郷町観光協会 HP



図 10-4 ピクニックラン桜江  
写真出典：江津市 HP

### 10.3 官民協働の取り組み

現在、島根県が管理する道路や河川においては、**1,361 団体（令和 2 年度末現在）**の登録により、草刈りや清掃などのボランティア活動が行われている。島根県としては、このような社会貢献活動を応援するため、平成 21 年度から「ハートフルしまね」という支援制度を作り、従来、道路などの一部のボランティア活動が対象であったものを、島根県が管理する道路・河川・海岸・公園・砂防施設・港湾・空港施設における活動にまで対象を拡げ、さらに新たな取り組みも行うこととしている。

# 『ハートフルしまね』の創設

## ～ 愛護活動支援制度の拡充 ～



現在、島根県が管理する道路や河川においては、約 900 団体（約 6 万 4 千人）の皆さんの登録により、草刈りや清掃などのボランティア活動が行われています。NPO やボランティア団体などによる官民協働の取り組みは年々増加しており、期待も高まっています。島根県としては、このような社会貢献活動を応援するため、平成 21 年度から「ハートフルしまね」という支援制度を作り、従来、道路などの一部のボランティア活動が対象であったものを、島根県が管理する道路・河川・海岸・公園・砂防施設・港湾における活動にまで対象を拡げ、さらに新たな取り組みも行います。

河川



道路



砂防



海岸



公園



**交付金による助成制度**

無償ボランティア活動における必要経費に対し、機械の燃料費や消耗品費などの実費程度を県が負担します。交付する費用は、活動により以下のとおりです。

- ◆草刈り
  - 道路、臨港道路・・・1 平方メートルあたり 15 円
  - 河川、海岸、砂防施設・1 人活動時間当たり 200 円
- ◆清掃・植樹・・・消耗品等の購入費（上限 1 万円）

なお、市町村からの助成金等との重複はできません。

**傷害保険制度**

活動の際の負傷等、万一の事故に備えた傷害保険への加入手続き及び保険料を県が負担します。

**功労者知事表彰制度**

特に功績のあった団体を知事表彰する制度を設けています。表彰は、道路・公園部門、河川・砂防部門、海岸・港湾部門の 3 つの部門毎に行い、毎年 5 月頃から募集し、7 月頃に表彰を行います。表彰に該当する団体がありましたら自薦、他薦を問わず応募して下さい。



**刈草を飼料として提供します！**

草刈りにより発生した刈草を有効利用するため、畜産飼料用として梱包・ラッピングし、畜産農家に引き取ってもらう取り組みを始めます。来年度は、松江市、大田市において試行的に実施する予定ですが、その他の地域で刈り草をそのまま受け入れていただける農家がありましたらお近くの県土整備事務所へ連絡して下さい。

**団体登録をお願いします！**

「ハートフルしまね」による支援を受けるためには、活動団体として登録する必要があります。登録料、会費等は一切ありません。既に活動されている団体はもちろんのこと、これから活動を始められる団体も気軽に登録して下さい。登録方法は、下欄のホームページをご覧ください。お近くの県土整備事務所へお問い合わせ下さい。

島根県土木部道路維持課 ☎ 0852-22-6046

河川課 ☎ 0852-22-5196

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/>

図 10-5 ハートフルしまねチラシ

表 10-3 江の川水系下流支川域の河川愛護団体（令和 2 年度末現在）

事務所名	市町村名	分類	愛 護 団 体 名	構成人員	登録年度
大田	大田市	任意団体	早水川清流の会	36	H22
浜田	江津市	任意団体	谷住郷まちづくり協議会すみえ草刈隊	15	H29
県央	川本町	任意団体	邑智の川を美しくする会	72	H18
		その他	(株)小畑建設	7	H19
		その他	(株)江ノ川開発	20	H19
		その他	(有)才木建設	7	H19
		その他	新和建設(有)	2	H19
		その他	第一建設(有)	4	H19
		その他	(有)出合組	8	H19
		その他	(有)的場組	16	H19
		その他	(有)三明工務店	10	H19
		その他	株式会社 オーサン	26	H19
		その他	平成建設(有)	10	H19
		その他	松井土建(有)	7	H19
		自治会	谷町自治会	150	H22
		その他	大鵬建設有限会社	5	H22
		任意団体	古市環境の会	22	H23
	邑南町	その他	日向実行組合	30	H16
		その他	(有)河野建材	11	H19
		その他	(有)小林建設	14	H19
		その他	(有)寺本建設	19	H19
		その他	(有)福井建設	11	H19
		その他	(有)町田土建	15	H19
		その他	(有)森脇組	12	H19
		その他	(有)森商建設	9	H19
		その他	(有)増田住建	20	H19
		その他	坂之上建設(株)	9	H19
		その他	羽須美建設(株)	10	H19
		その他	(有)白川建設	8	H19
		その他	(有)左右田建設	6	H19
		その他	(有)寺本建設	7	H19
		その他	(有)浜工務店	7	H19
		その他	(有)堀田土木事業所	4	H19
		その他	(株)溝辺組	23	H19
		その他	(有)三宅建設	9	H19
		その他	(有)和田組	6	H19
		その他	飯田土建	5	H19
		その他	石見工業(株)	44	H20
		自治会	宇都井区自治会	35	H22
		美郷町	その他	漆谷建設(株)	17
	その他		(有)西村土木	8	H19
	その他		(株)日高組	14	H19
	その他		(有)三上建設	5	H19
	その他		和田建設	5	H19
その他	(有)磯野組		22	H19	
その他	上原土木(有)		11	H19	
その他	邑東建設(有)		12	H19	
その他	置名土木(有)		14	H19	
その他	岡山産業(有)		15	H19	
その他	神崎建設(有)		8	H19	
その他	大社建設(株)		19	H19	
その他	大五建設(有)		15	H19	
その他	坂東建設		6	H19	
その他	(有)福間工務店		16	H19	
その他	村上建設	5	H19		
県庁	全県	その他	島根県建設技術協会	400	H23
合 計			56 団体	1,323	—